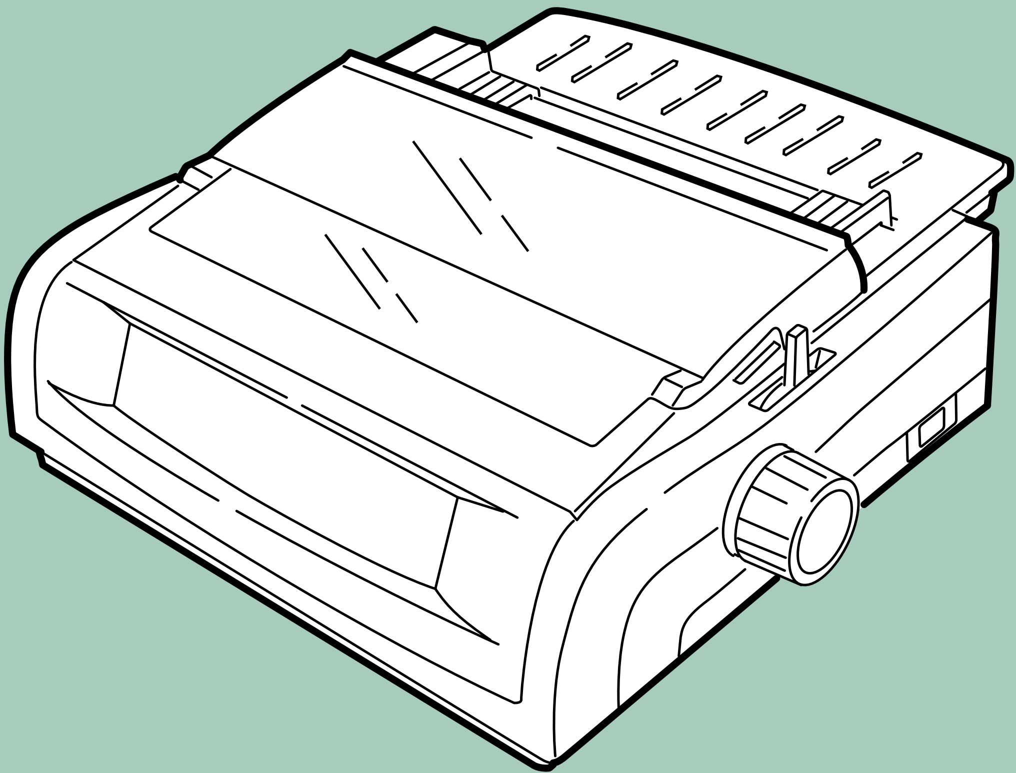
PRINTING SOLUTIONS



MICROLINE 80HU／50HU　ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

シリアルプリンタ
MICROLINE 80HU／50HU

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

はじめに

このたびは、沖データのMICROLINE 80HU/50HUをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
このユーザーズマニュアルは、MICROLINE 80HU/50HUの操作方法について述べたものです。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい使用方法をご理解いただきますようお願いいたします。

このユーザーズマニュアルは、必ず保管してください。万一、ご使用中にわからないことが起きたとき、きっとお役に立ちます。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

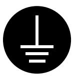
⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。



△記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。
△の中に具体的な警告内容が描かれています。
（左図の場合は、「感電注意」を表します。）



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、「分解禁止」を表します。）



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、「アースを接続してください。」を表します。）

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波電流について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2適合品」です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

※ML50HUにつきましては、国際エネルギースタープログラム基準のVersion1.1に適合しておりません。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品を廃棄する場合の注意

本製品を廃棄する場合は、関係国内法、および各地方の廃棄物処理基準に従って廃棄してください。

使用許諾契約

プリンタに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社 沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。

2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   （1） 本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
   （2） 本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   （3） 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
   お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

4. お客様が本契約の条件に違反した場合には､沖データは､お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。

5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   （1） 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   （2） 本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
   （3） 第三者の権利を侵害していないこと。
   （4） 特定の目的に適合していること。
   またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

各会社名, 製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/Pは、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
MICROLINEは株式会社沖データの商標です。

本文中の略語について

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 80HU → ML80HU
- MICROLINE 50HU → ML50HU
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版)※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版)※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP※
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows 95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP には 64bit 版も含みます。

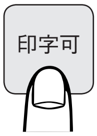
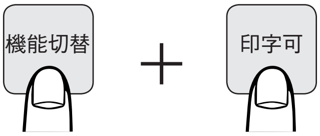
マニュアルの版権について

本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の6つの構成になっています。

第1章〜第3章	ご使用上の注意, プリンタの設置からテスト印刷, ホストコンピュータとの接続について説明しています。プリンタの基本的な使い方がわかります。
第4章〜第5章	いろいろな用紙の印刷のしかたと、知っていると便利ないろいろな機能について説明します。
第6章	オプション品の取り付けから操作方法, 使用方法について説明します。
第7章	リボンカートリッジの交換方法, 困ったときの処置方法について説明します。
第8章	プリンタおよびカットシートフィーダの定期清掃のしかたについて説明します。
付録	このプリンタの仕様、文字コード表、制御コードの一覧表、アフターサービスについて説明します。

図の表記のしかた

	「印字可」スイッチを押します。
	「機能切替」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。

本書での説明のマーク

注	プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。 誤った操作をしないため、必ずお読みください。
参考	プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。 お読みになることをおすすめします。

安全上の注意 , 表示の説明が別途2ページに記載してありますので、お読みください。

目　次

1　ご使用前に必ずお読みください

MICROLINE 80HU/50HUの特長

◎用紙を自動的にセットします

オートロードにより、連続紙や単票を自動的に印字位置にセットします。

◎いろいろな用紙に印刷できます

連続紙や単票をはじめ、はがき，ロール紙，伝票などの複写紙，その他いろいろな用紙に印刷できます。

◎単票，はがきを自動給紙します

オプションのカットシートフィーダを装着すると、単票，はがきを自動給紙します。

◎バーコードを印刷できます

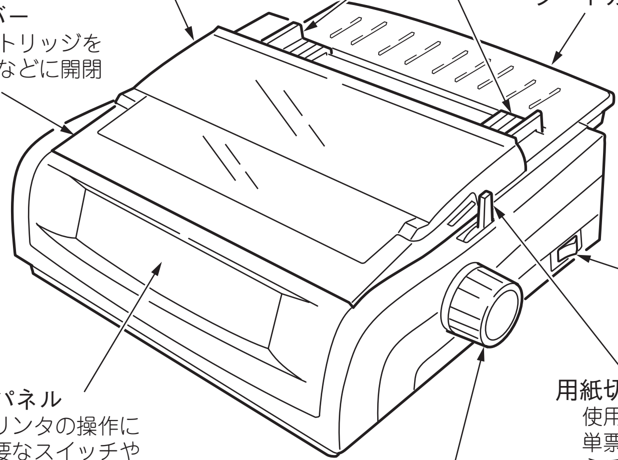
JAN, NW7, CODE_39, カスタマバーコードなど、7種類のバーコードが印刷できます。

◎2種類の連続紙をセットできます

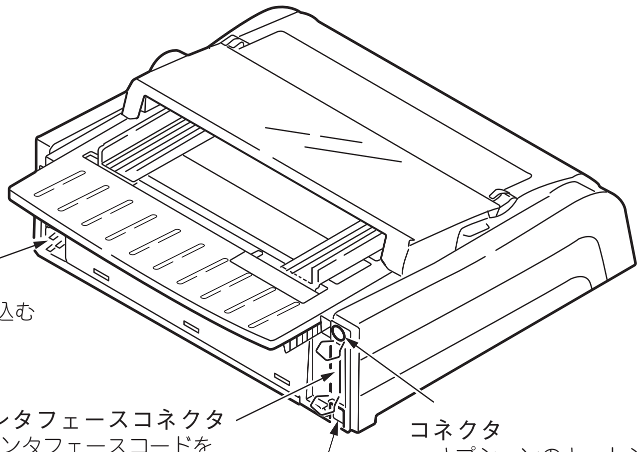
オプションのボトムトラクタを装着すると、連続紙をプリンタの下からも給紙できます。標準装備のピントラクタと合わせて、2種類の連続紙を使い分けられます。

各部の名称と機能

〔前面〕



〔背面〕



1
章

設置の条件

●動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　：　5〜35°C
  周囲湿度　：　30〜80%RH（相対湿度）
- 結露しないように注意してください。

●設置に関する注意

⚠警告

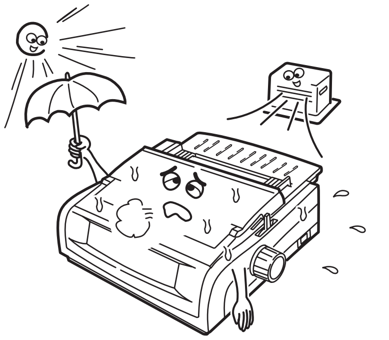
- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

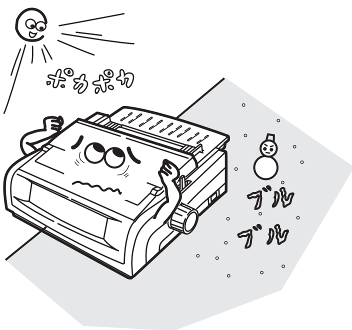
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビの画面ゆれにつながりますので､モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。

設置場所について

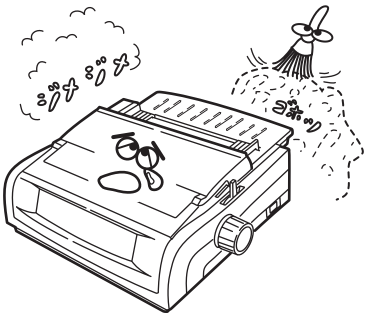
◎直射日光のあたる場所やヒータなどの熱器具の近くは避けてください。



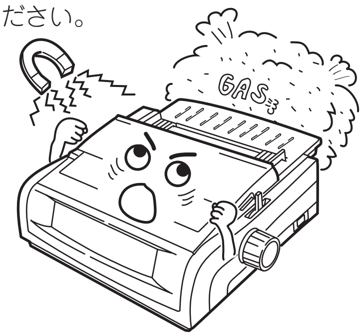
◎急激な温度変化のある場所は避けてください。



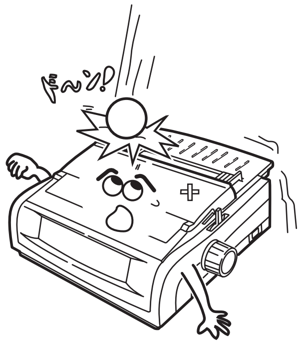
◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。



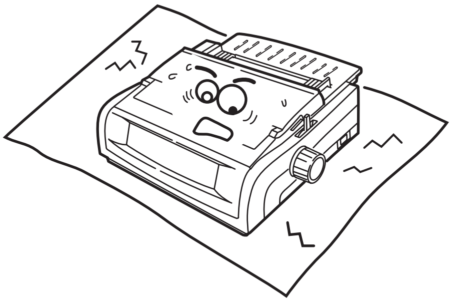
◎強い電磁界, 腐食性ガスの発生する場所は避けてください。



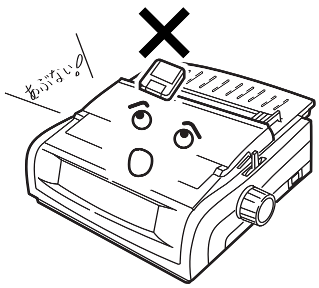
◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。



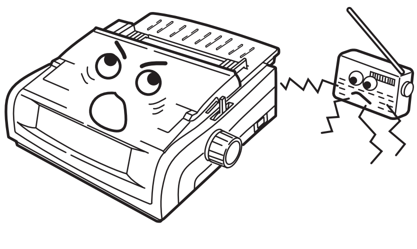
◎じゅうたんを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。



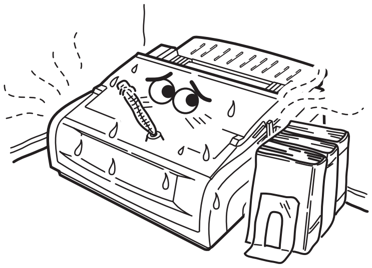
◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。



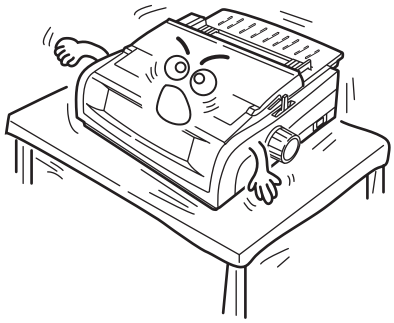
◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。



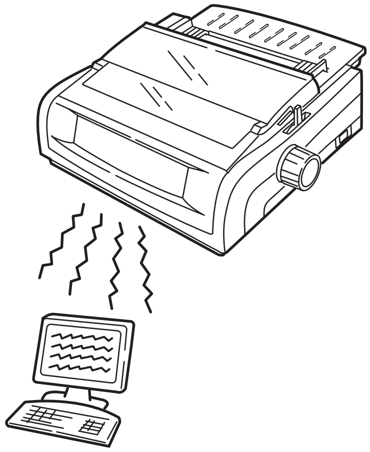
◎プリンタの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。



◎プリンタを設置する台，机は、プリンタの振動で動く場合がありますので､キャスター付きのものは避けてください。



◎CRTの近くは避けてください。
電磁界の影響により、画面に歪みが発生することがあります。



電源の条件

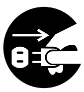
●動作環境

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V±10%
  電源周波数　：　50Hzまたは60Hz±1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は約350Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

●電源に関する注意

⚠警告

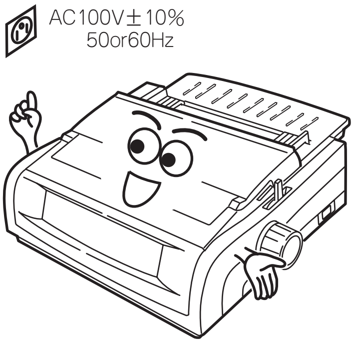
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格12A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- プリンタの電源スイッチをOFFにしてから再びONするときには、5秒以上待ってからONしてください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。



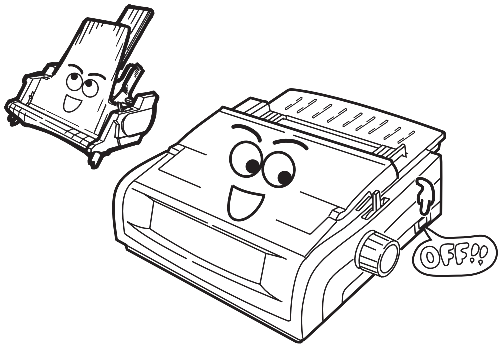
電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

電源について

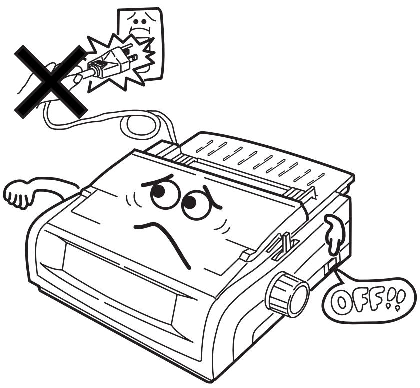
◎電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。



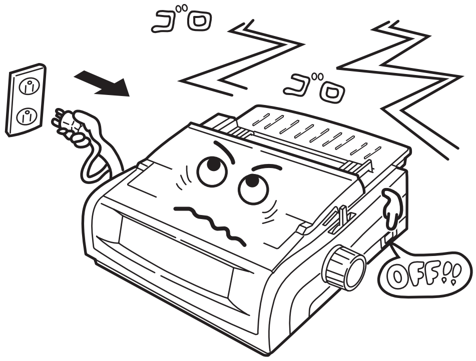
◎オプションを取り付けるときは、電源を「OFF」してください。



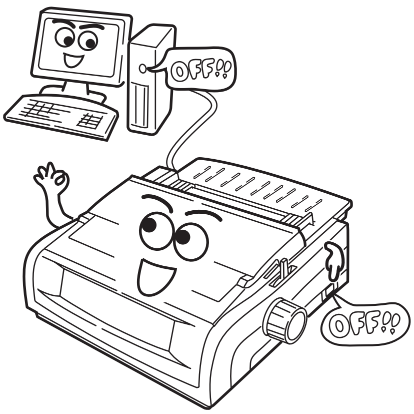
◎電源コードの抜き差しは、必ず電源を「OFF」し、電源プラグを持って行ってください。
絶対に電源コードを引っ張らないでください。



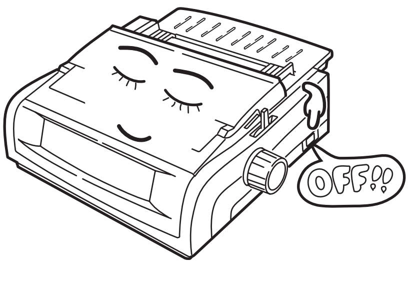
◎雷が鳴っているときは電源を「OFF」し、電源プラグを抜いてください。



◎プリンタとホストコンピュータを接続するときは､両方の電源を「OFF」してください。

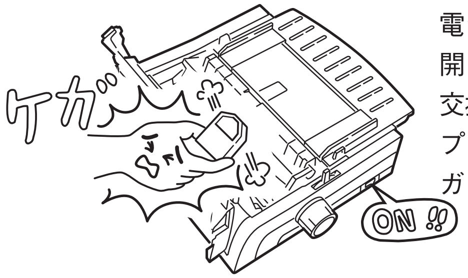


◎長時間プリンタを使用しないときは、電源を「OFF」してください。



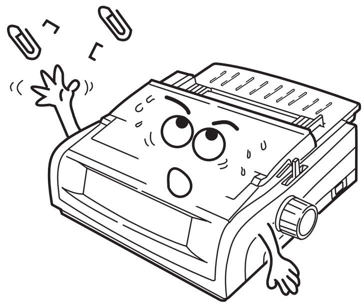
ご使用時の注意

⚠注意	ケガをする恐れがあります。



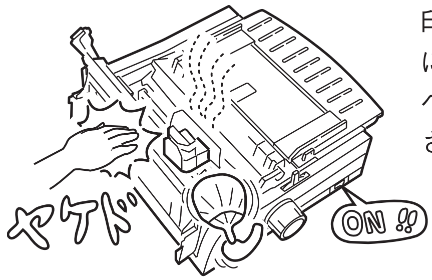
電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

⚠注意	装置が壊れる恐れがあります。



プリンタ内部にクリップなどの異物を落とさないでください。もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センター（281ページ）かお買い上げ販売店にご連絡ください。ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

⚠注意	やけどの恐れがあります。



印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

1章

注 ◎用紙やリボンカートリッジが無い状態では、絶対に印字させないでください。また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。

◎リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

◎インクリボンは寿命内であっても、印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。

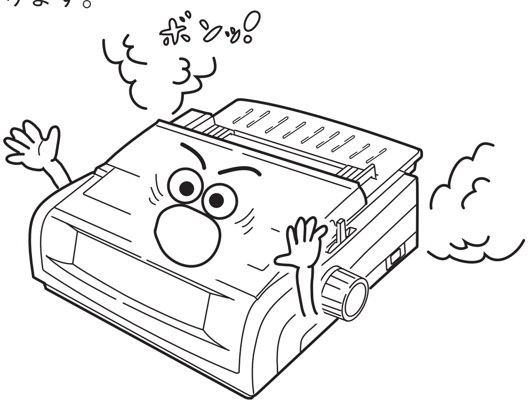
◎リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
詳細は、「リボンカートリッジを取り付ける」（28ページ）を参照してください。

◎用紙は、仕様に合ったものを使用してください。詳細は、「付録　用紙規格および印字範囲」（244ページ）を参照してください。

故障や異常のときは

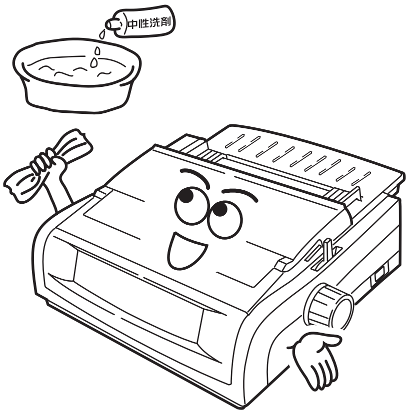
⚠警告	故障や感電の原因になります。	

故障や異常（においがしたり、煙が出たり、熱くなった）に気付いたときは、すぐに電源を「OFF」し、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センター（281ページ）か、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。



プリンタのお手入れ

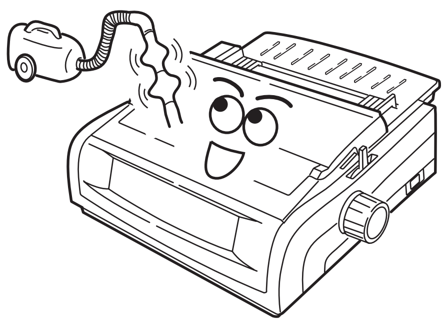
◎プリンタカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。



◎堅い布やアルコール, シンナー , ベンジンなどでふかないでください。



◎プリンタ内部にごみやほこり、紙粉が目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。



注 ごみやほこり、紙粉がたまると、センサの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。

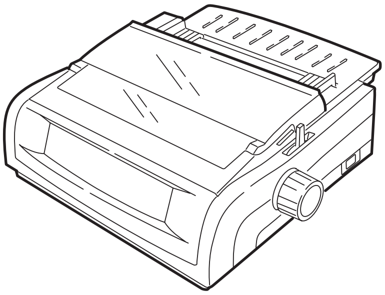
（MEMO）

2 プリンタの準備

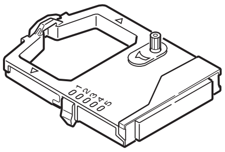
～箱を開けてからテスト印刷するまで～

梱包を開く

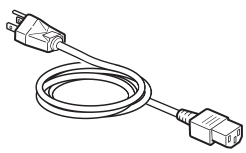
プリンタの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い求めの販売店にご連絡ください。



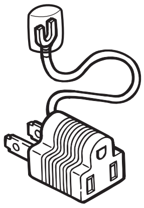
プリンタ



リボンカートリッジ



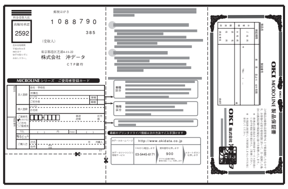
電源コード



電源用プラグ



ユーザーズマニュアル



保証書・ご愛用者登録カード



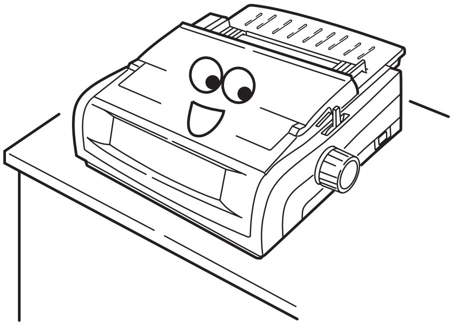
プリンタソフトウェア
CD-ROM

注

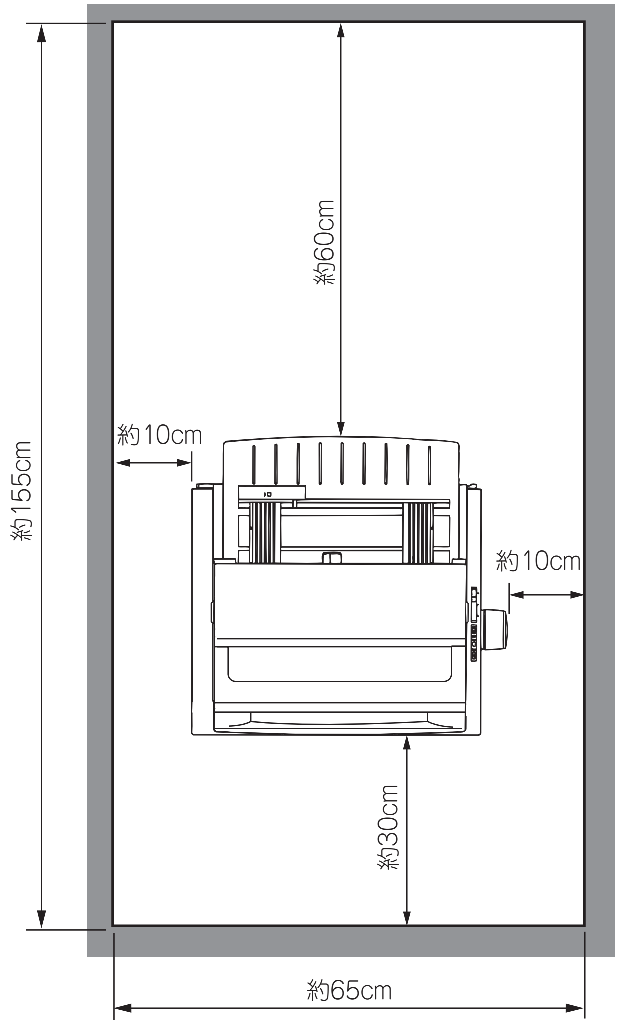
- 保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
  正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 梱包箱, 梱包材は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。
- インタフェースケーブルは添付されておりません。お使いのコンピュータに合わせて別途購入してください。

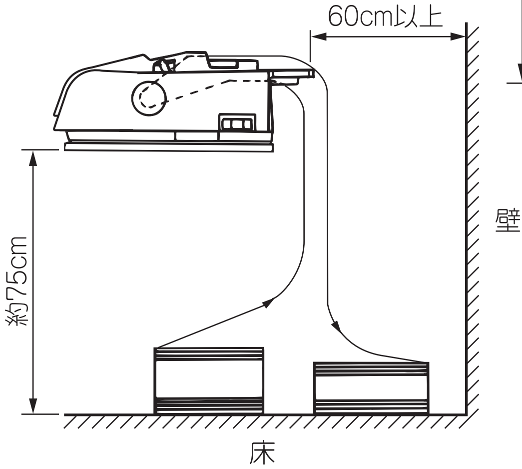
プリンタを設置する

プリンタは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作, 日常の点検および消耗品の交換など、プリンタの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。



設置スペース



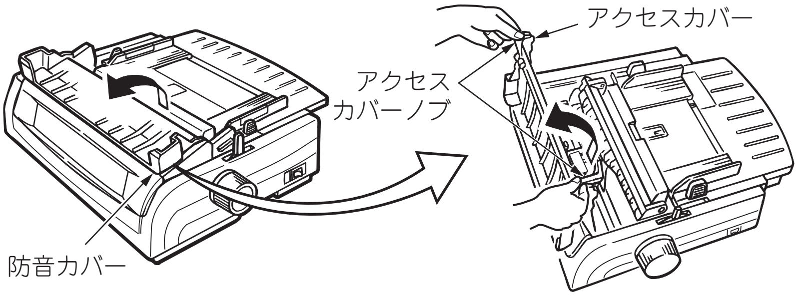


固定具を取り除く

輸送時の振動などによる破損を防ぐため、印字ヘッドはストッパで固定してあり、シートガイドなどにはプロテクタ（保護具）が取り付けられてあります。
ご使用になる前に、このストッパとプロテクタ（保護具）を外してください。

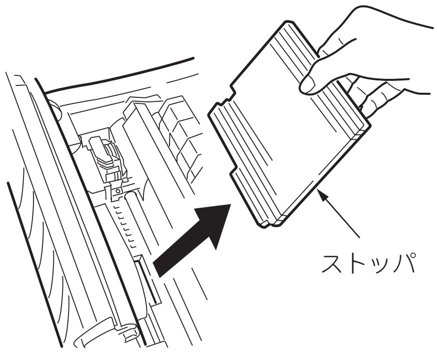
注 輸送時には印字ヘッドを左側に寄せてストッパで固定してください。

1 防音カバーとアクセスカバーを両手で開きます。

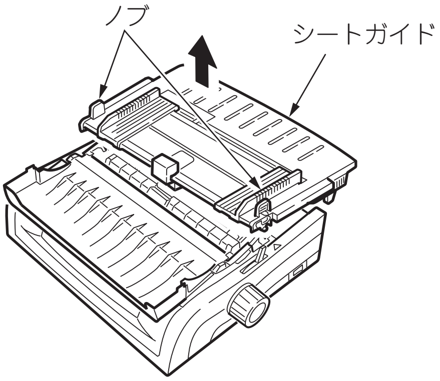


注 アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

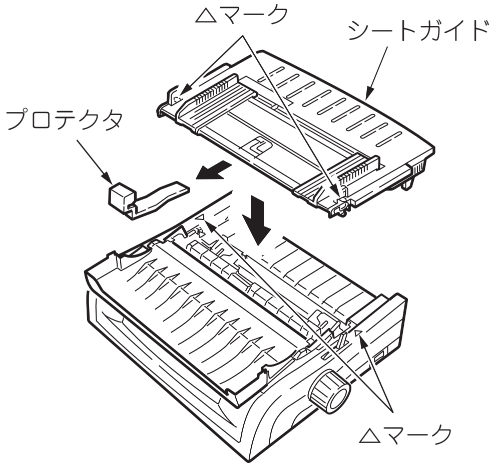
2 ストッパを外します。



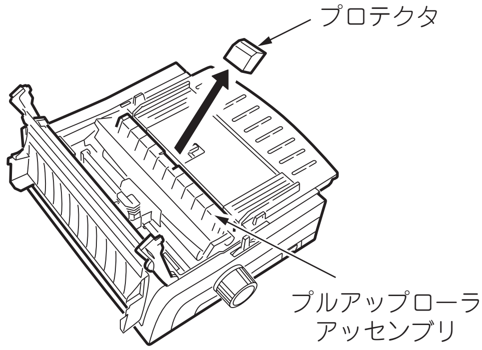
3 ノブをつかんでシートガイドを外します。



4 プロテクタを外し、シートガイドとアッパカバーの△マークを合わせてシートガイドを取り付けます。



5 プルアップローラアッセンブリからプロテクタを外します。



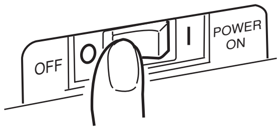
6 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

リボンカートリッジを取り付ける

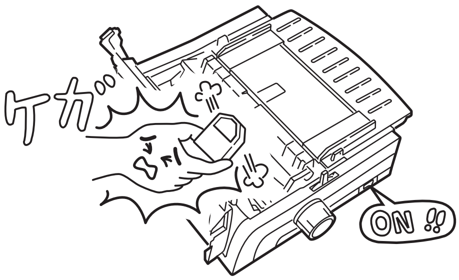
最初にリボンカートリッジを取り付けます。

注 リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

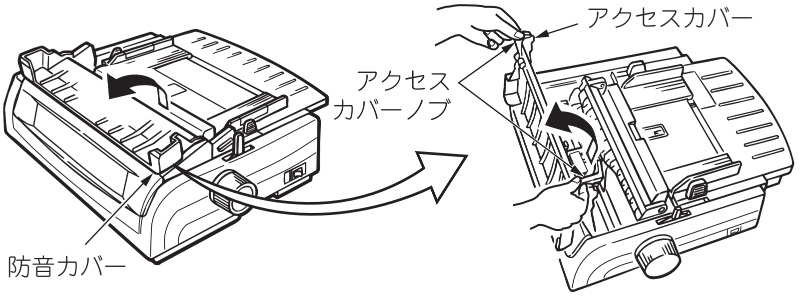


⚠注意	ケガをする恐れがあります。



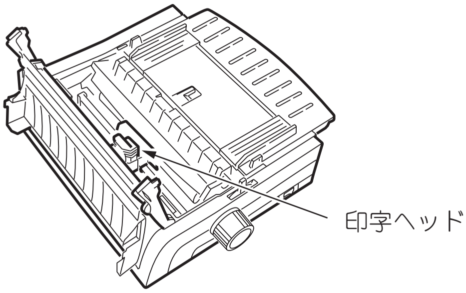
電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 防音カバーとアクセスカバーを両手で開きます。

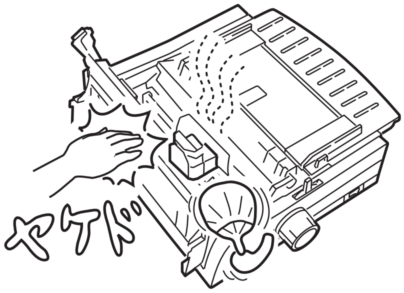


注 アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

3 印字ヘッドを、プリンタの中央へ手で移動させます。

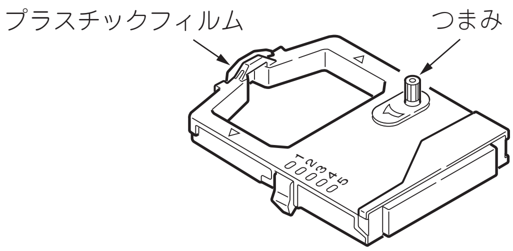


⚠注意	やけどの恐れがあります。	



印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

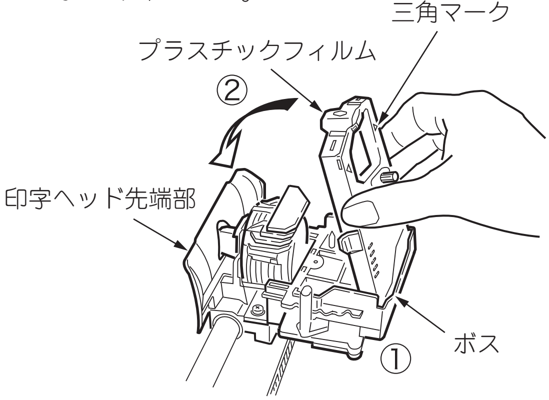
4 リボンカートリッジを袋から出し、つまみを矢印方向に回して、インクリボンのたるみを取ります。



注 リボンカートリッジの先端についているプラスチックフィルムは、リボンカートリッジの一部ですので取り外さないでください。

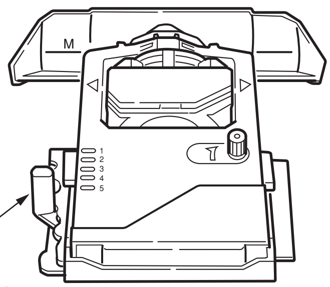
2章

5 リボンカートリッジ両側の三角マーク（◁, ▷）の部分を持ち、溝部にボスを引っ掛け（①)、そのまま下に押し込みます（②)。
このとき、印字ヘッド先端部でプラスチックフィルムを変形させないでください。

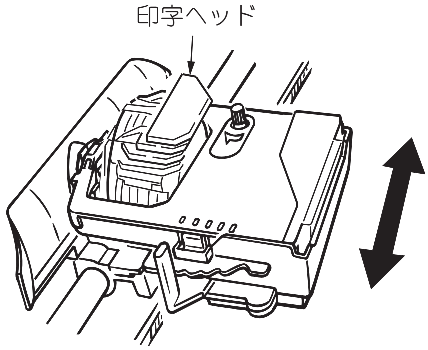


6 用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。



7 リボンカートリッジをセット後、印字ヘッドがスムーズに移動することを確認してください。

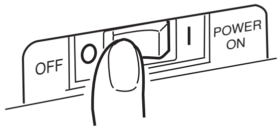


8 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

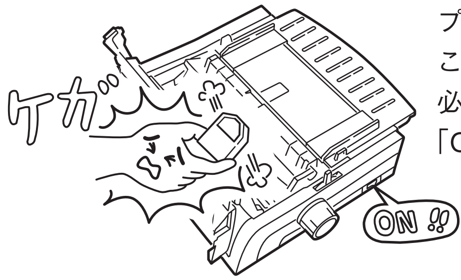
電源コードを取り付ける

電源コードとアース線を接続します。

1 電源スイッチが「**OFF**」(○側)になっていることを確認します。

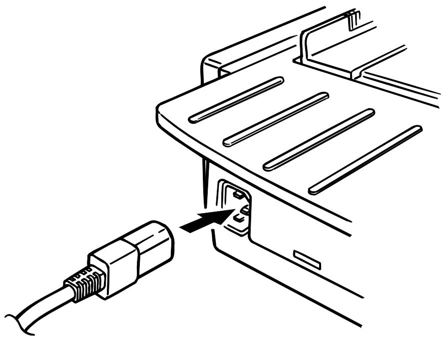


⚠注意	ケガをする恐れがあります。	



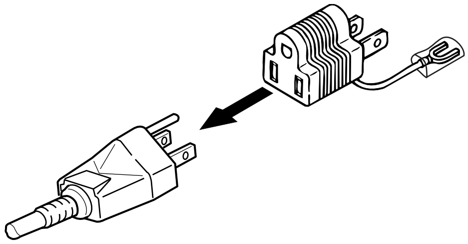
プリンタが突然動作することがあります。
必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。

2 電源コードをプリンタのACコネクタに接続します。



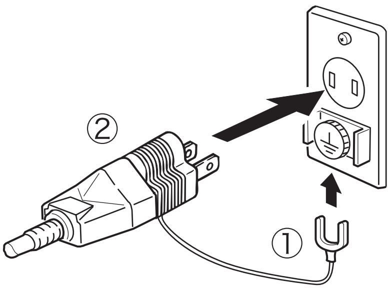
3 電源コードに電源用プラグを差し込みます。

コンセントが3極の場合は、電源用プラグは不要です。



4 アース線をアース端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠警告	感電の恐れがあります。	⚡



万一の危険防止のため、アースは必ず接続してください。ガス管には絶対に接続しないでください。
電源プラグのアースが接続できない場合は、電気工事店へご相談ください。
電源プラグを外すときは逆の手順で行ってください。

注

- アース線をコンセントに一緒に差し込まないでください。
- 電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。
- 電源を入れたとき、一瞬大きな電流が流れます。
  電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンタは、ドット密度の高い印字（黒ベタ印字など）を行うと、最大4Aの電流が流れます。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。
  タコ足配線は、絶対しないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードを使用してください。他の製品用の電源コードは使用しないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードは、本プリンタ専用です。他の製品には使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」してから、電源プラグを持って行ってください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保障していません。故障のおそれがあります。無停電電源およびインバータは使用しないでください。

テスト印字をする

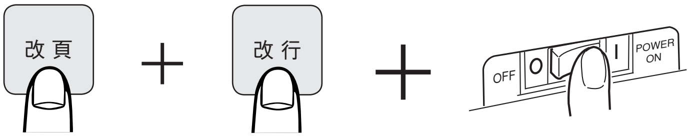
プリンタが正確に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4サイズ以上の単票の縦置、または10インチ幅の連続紙を使用します。
（MICROLINE 80HUの場合には、15インチ幅の連続紙を使用します。）
ここでは、A4サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。

3 アクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせ、アクセスカバーを閉じます。

4 「**改頁**」＋「**改行**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」します。



5 単票をセットします。

単票の左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
単票のセット方法は、「単票をセットする」（114ページ）を参照してください。

6 「**ロード退避**」スイッチを押します。

単票が自動的に吸入されます。

7 「**印字可**」スイッチを押すと、テスト印字を開始します。

「印字可」スイッチを押して、印字を中断します。
もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

8 「**改頁**」スイッチを押して、単票を排出します。

9 電源スイッチを「**OFF**」にします。

注 テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、「こんなときには」（218ページ）を参照してください。

（MEMO）

3 ホストコンピュータに接続する

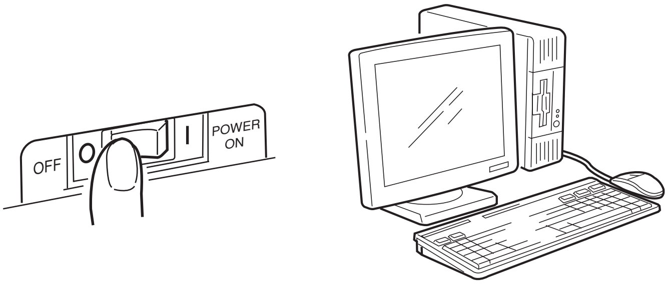
注 本章の記述は、MICROLINE 50HUを例にしています。

USBインタフェースでホストコンピュータに接続する

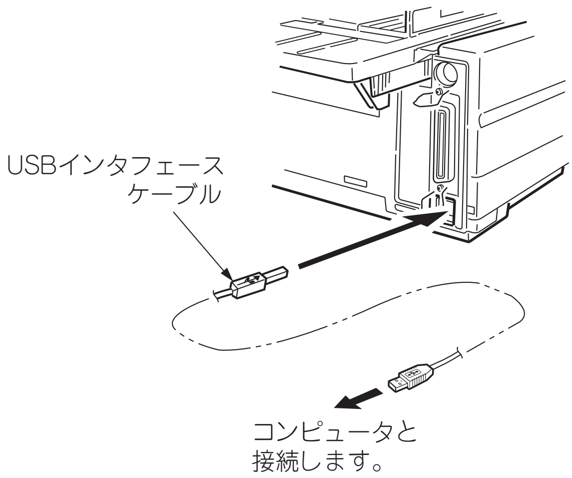
USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様のインタフェースケーブルをご用意ください。USBインタフェースのケーブル詳細および信号線ピン配列は、「USBインタフェース」（240ページ）をご覧ください。

注 USBインタフェースでホストコンピュータに接続した場合、パラレルインタフェース、シリアルインタフェース（オプション）との同時接続はできません。同時に複数のインタフェースから印刷を行った場合、正しく印刷できないことがあります。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「**OFF**」にします。



2 USBインタフェースケーブルを接続します。



3 コンピュータにUSBインタフェースケーブルを接続します。

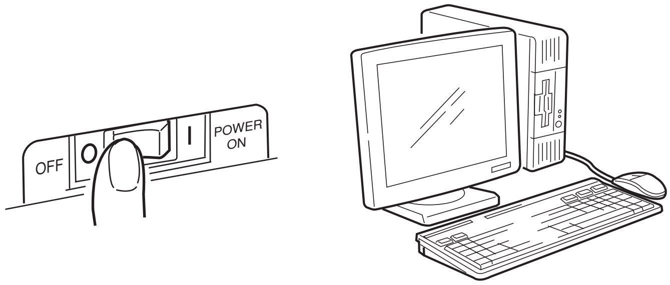
詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

パラレルインタフェースでホストコンピュータに接続する

パラレルインタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータに合わせてIEEE std1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルをご用意ください。
パラレルインタフェースの信号線ピン配列は、「パラレルインタフェース信号」(236ページ)をご覧ください。

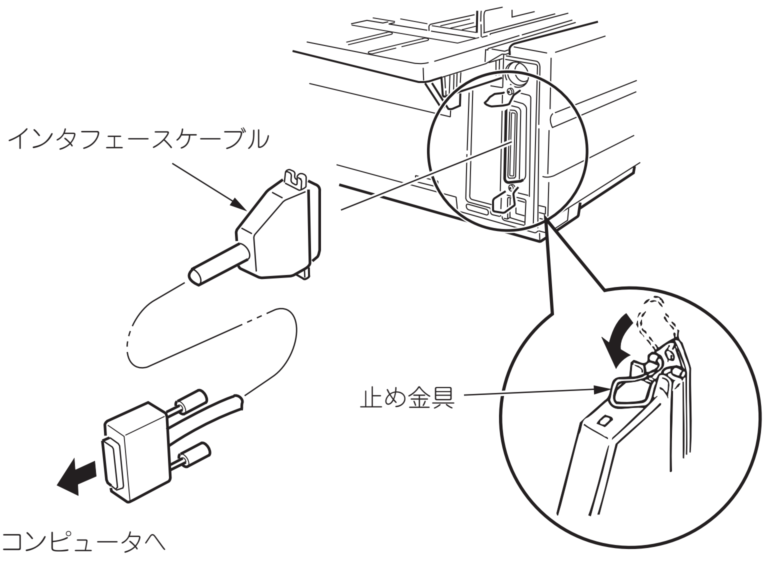
注 パラレルインタフェースでホストコンピュータに接続した場合、USBインタフェース、シリアルインタフェース（オプション）との同時接続はできません。同時に複数のインタフェースから印刷を行った場合、正しく印刷できないことがあります。

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「OFF」にします。



2 パラレルインタフェースケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンタ側の止め金具で固定します。



3 コンピュータにパラレルインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

3
章

Windows Vista 環境で使用する

●プリンタの設定

Windows Vista から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145 ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェース/双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外の OS には対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administrator の権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。

［USB インタフェースケーブルを使用します］

注
- 『プリンタ』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

1. プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。
2. USB ケーブルを接続します。
3. プリンタの電源を「ON」にします。
4. Windows Vista を起動します。
すでに Windows Vista が起動している場合は、再起動してください。

   プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

注 セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

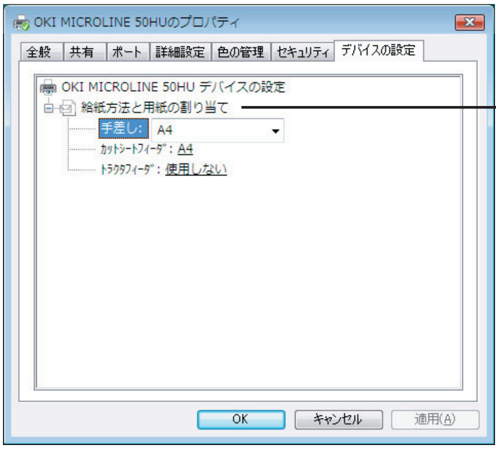
1. プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。
2. パラレルケーブルを接続します。
3. プリンタの電源を「ON」にします。
4. Windows Vista を起動します。
すでに Windows Vista が起動している場合は、再起動してください。

   プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

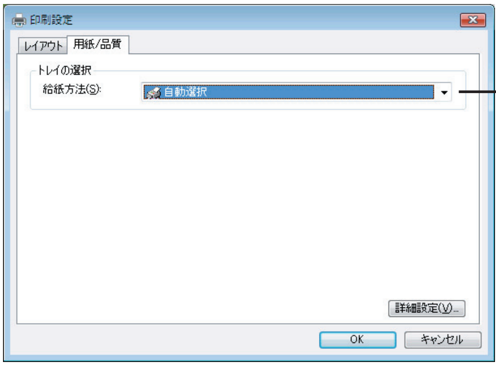


給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。



給紙方法

給紙方法を選択します。
- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」あるいは「BOT」にしてください。

●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

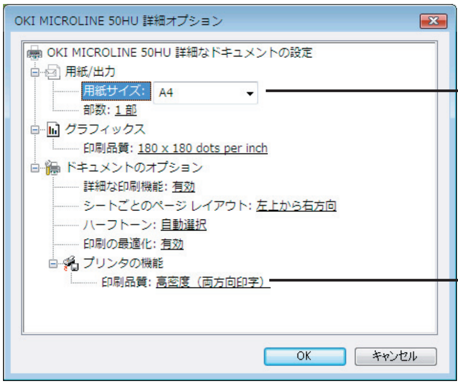
●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

注 実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。



用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

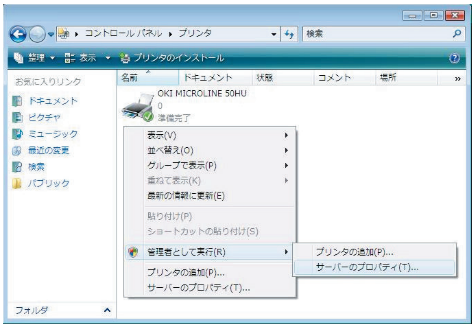
- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

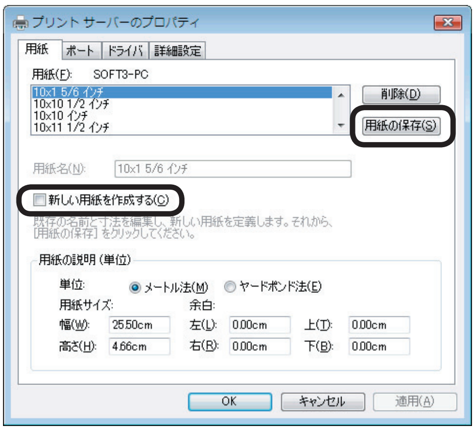
注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。



1 『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』を開き、画面上で右クリック後、さらに、『管理者として実行』-『サーバのプロパティ』を選択します。



2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の5種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsServer2003環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsServer2003から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsServer2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェース/双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

［USBインタフェースケーブルを使用します］

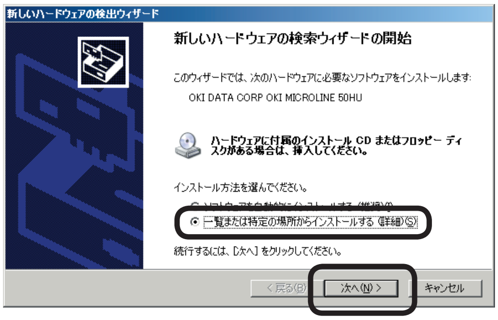
注

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。『プリンタとFAX』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

1　プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

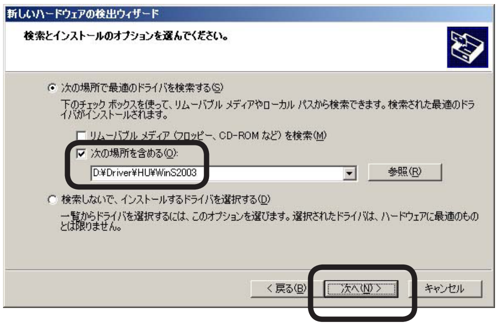
2　WindowsServer2003を起動します。
すでにWindowsServer2003が起動している場合は、再起動してください。

3　『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする（詳細）』をチェックして、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、8へ進みます。



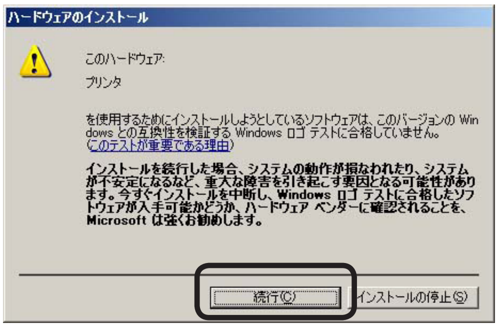
4　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『次の場所を含める』のみをチェックして次のように入力し、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
　　D:¥Driver¥HU¥WinS2003



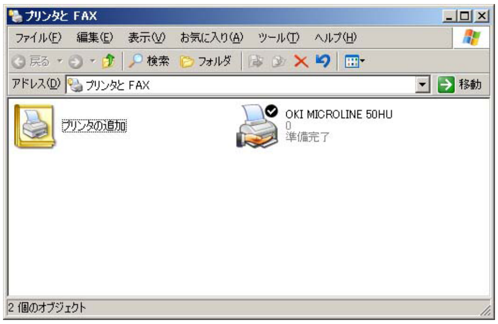
5　『ハードウェアのインストール』画面で、「Windowsとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



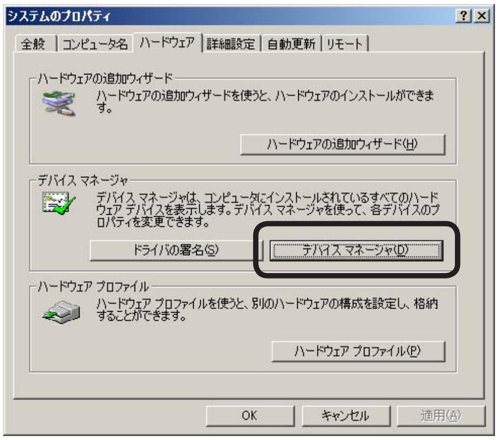


6　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で『完了』をクリックします。



7　『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

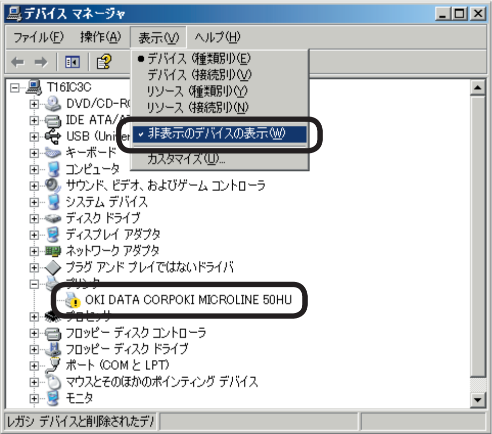


8　『スタート』－『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

9　『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。



10　『その他のデバイス』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 50HU』または『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 80HU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。



11 『その他のデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 50HU』または『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 80HU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

12 『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

13 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

14 Windowsを再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』開始画面から再セットアップします。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

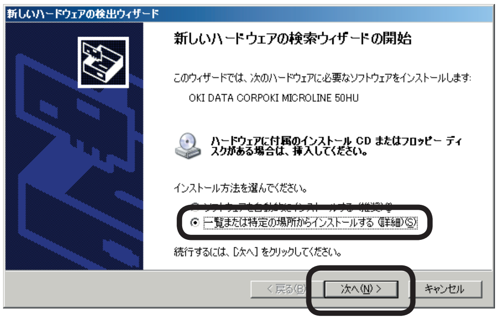
注

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースでWindowsServer2003と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsServer2003を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

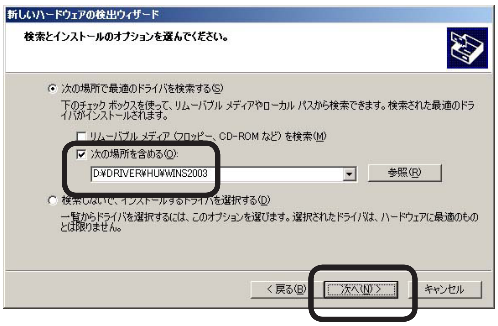
1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。



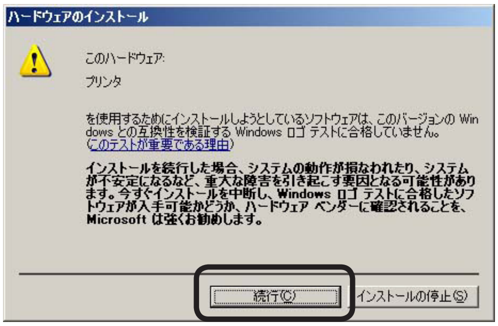
4 WindowsServer2003を起動します。
すでにWindowsServer2003が起動している場合は、再起動してください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。



5 『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、次のように入力して『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Driver¥HU¥WinS2003

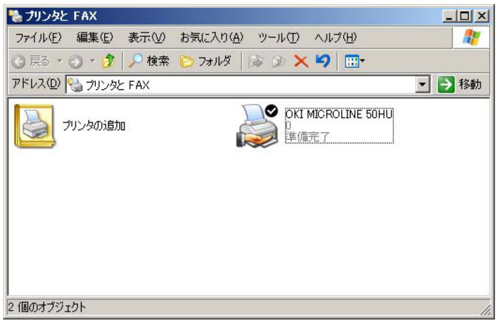


6　『ハードウェアのインストール』画面で「Windowsとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



7　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

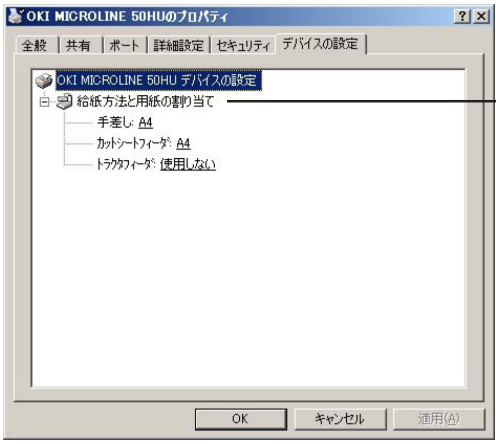


8　『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

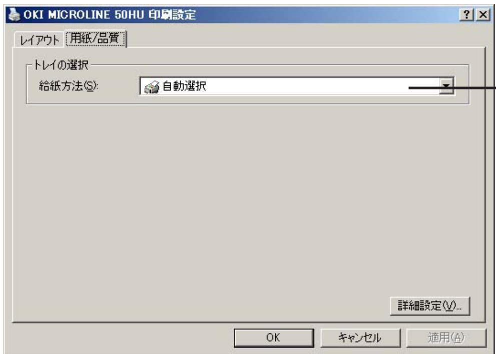


給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。



給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」あるいは「BOT」にしてください。

●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

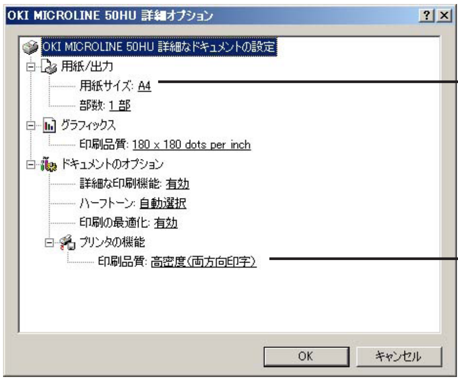
●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

注 **実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。**

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。



用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

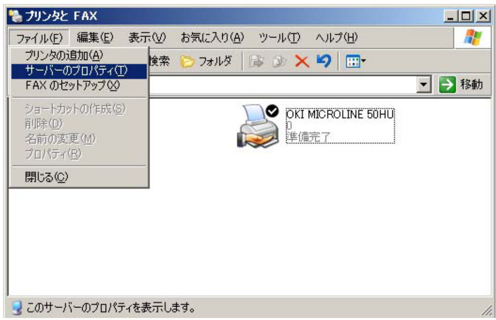
- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

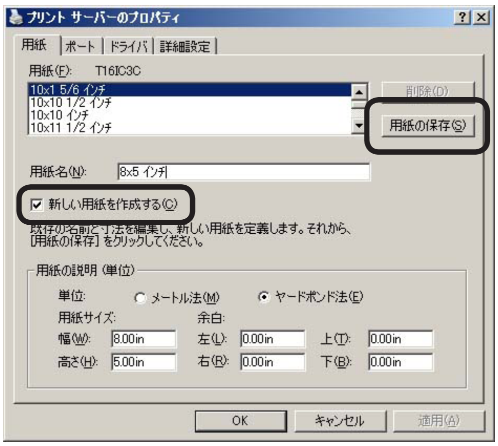
注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。



1 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。



2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の5種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsXP環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsXPから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェース/双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

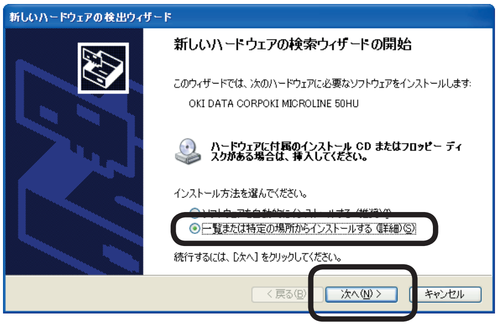
［USBインタフェースケーブルを使用します］

注

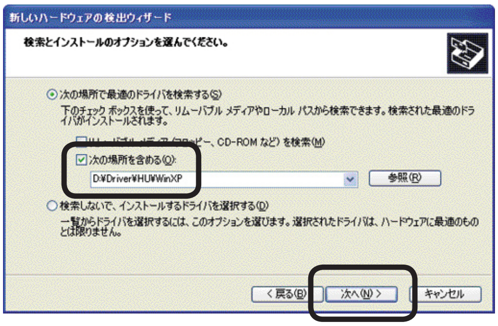
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。『プリンタとFAX』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

1 プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

2 WindowsXPを起動します。
すでにWindowsXPが起動している場合は、再起動してください。

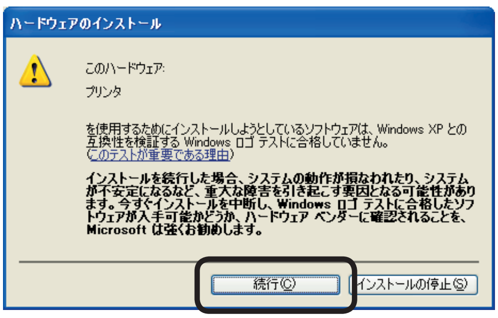


3 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする（詳細）』をチェックして、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、8へ進みます。



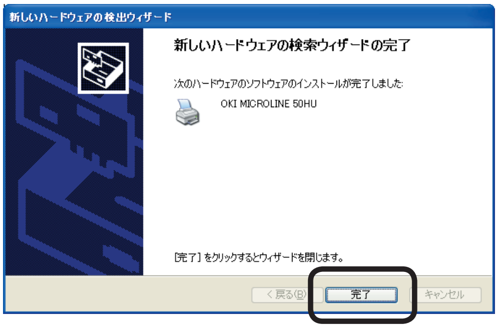
4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『次の場所を含める』のみをチェックして次のように入力し、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Driver¥HU¥WinXP

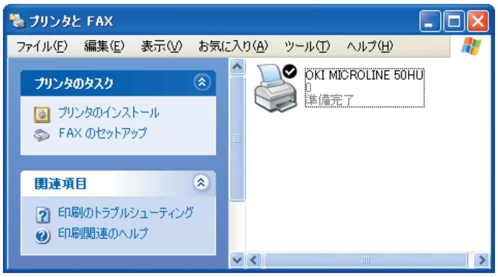


5 『ハードウェアのインストール』画面で、「WindowsXPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



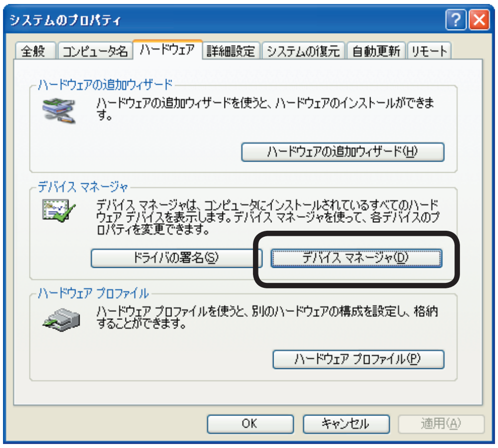
6　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で『完了』をクリックします。



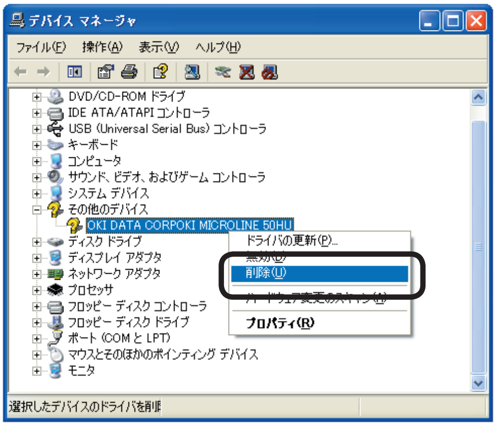
7　『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

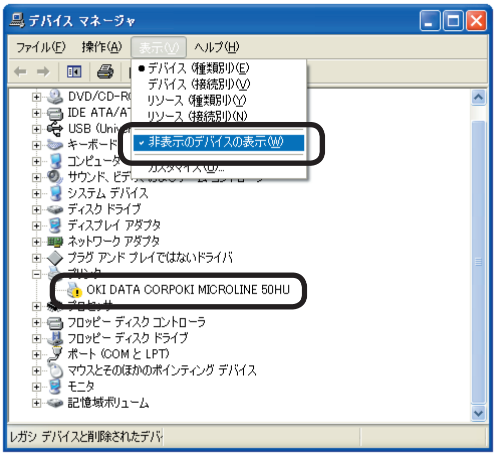
8　『スタート』－『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。



9　『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。



10　『その他のデバイス』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 50HU』または『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 80HU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。



11 『その他のデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 50HU』または『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 80HU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

12 『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

13 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

14 Windowsを再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』開始画面から再セットアップします。

3章

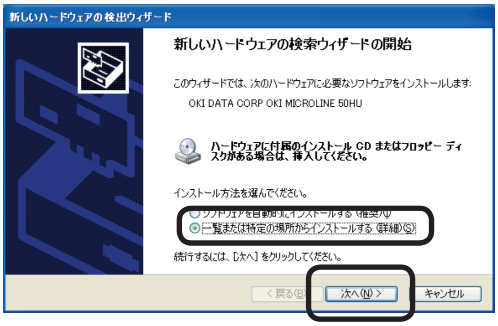
［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

注
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースでWindowsXPと接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsXPを起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

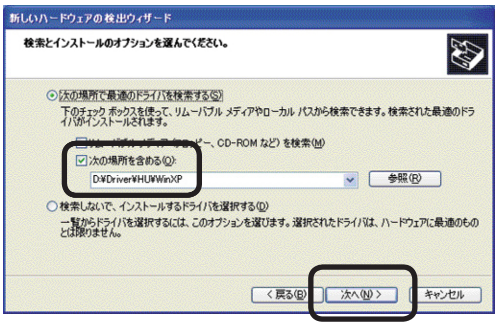
1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。



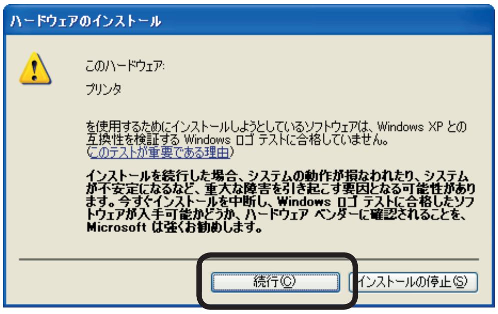
4 WindowsXPを起動します。
すでにWindowsXPが起動している場合は、再起動してください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。



5 『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、次のように入力して『次へ』をクリックします。

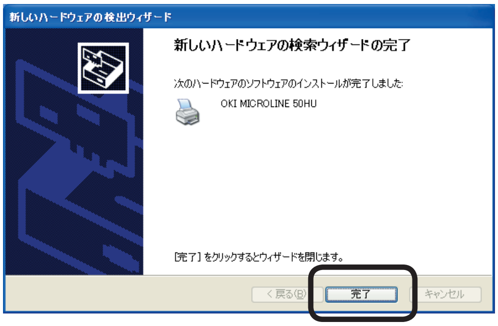
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　D:¥Driver¥HU¥WinXP



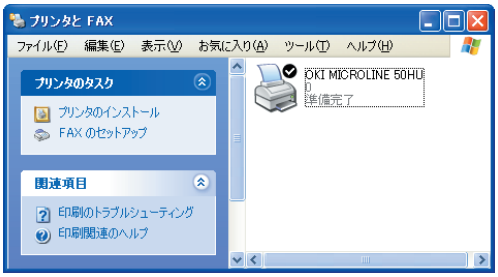
6　『ハードウェアのインストール』画面で「WindowsXPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

3
章



7　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。



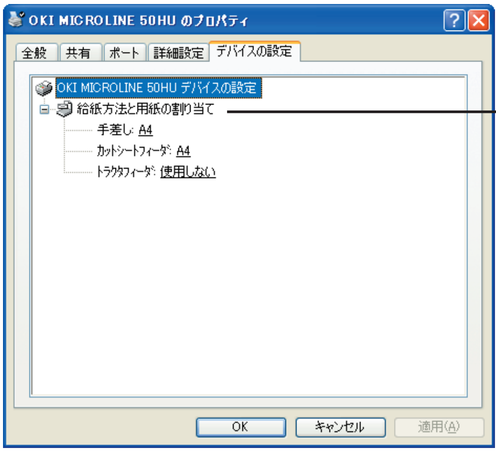
8　『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

3章

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

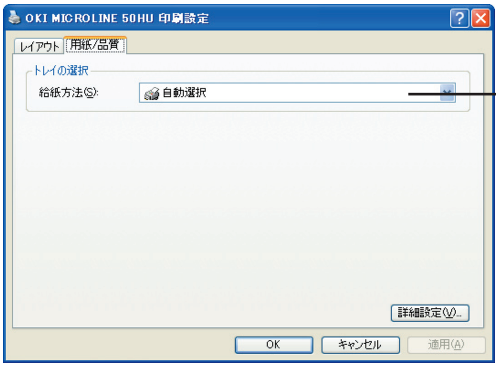


給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。



給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択（使用できません）

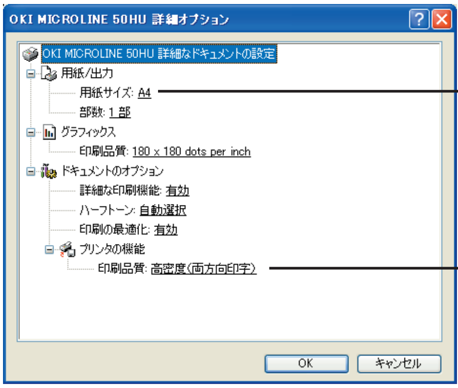
●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。
●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」あるいは「BOT」にしてください。
●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。
●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

注　**実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。**

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。



用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

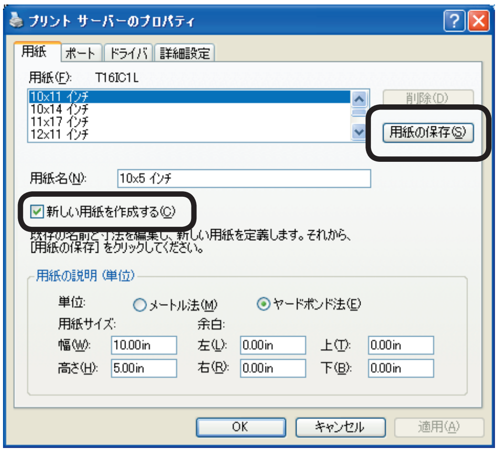
注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。



1 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。



2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の5種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows2000環境で使用する

●プリンタの設定

Windows2000から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

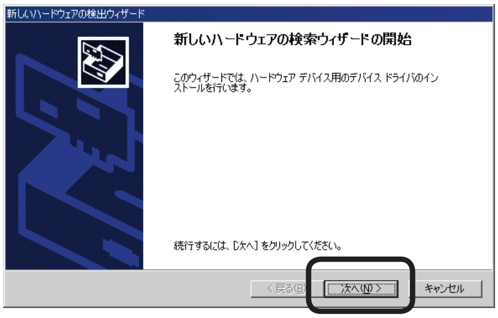
［USBインタフェースケーブルを使用します］

注
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3章

1　プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

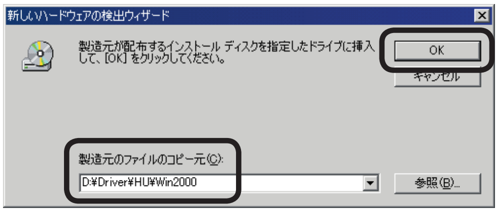
2　Windows2000を起動します。
すでにWindows2000が起動している場合は、再起動してください。



3　『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、11へ進みます。

4　『デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

5　『場所を指定』のみをチェックして、『次へ』をクリックします。



6　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「製造元のファイルのコピー元:」に次のように入力して、『OK』をクリックします。

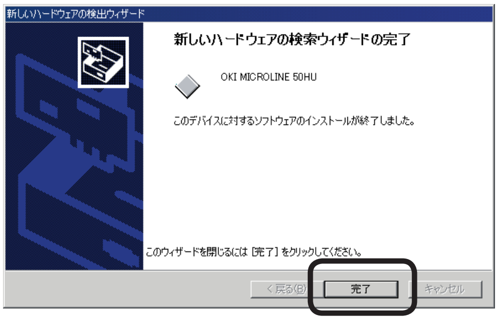
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　D:¥Driver¥HU¥Win2000

7　『ドライバファイルの検索』画面で『次へ』をクリックします。



8　『デジタル著名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



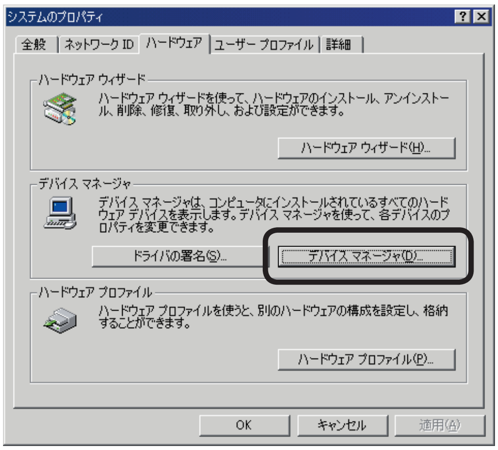
9　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。



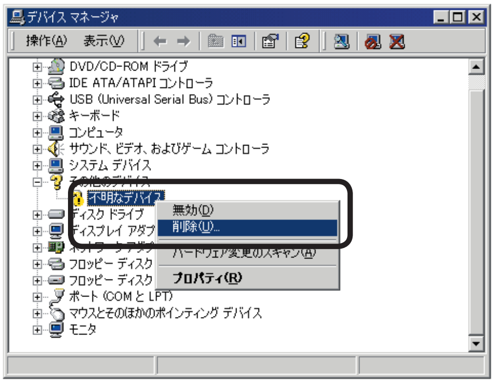
10　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

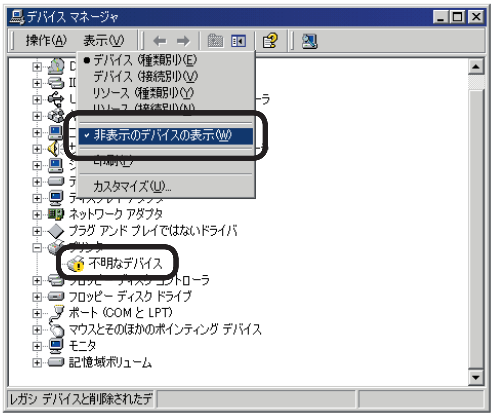
11　『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。



12　『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。



13 『その他のデバイス』の『不明なデバイス』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。



14 『その他のデバイス』に『不明なデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『不明なデバイス』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

15 『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

16 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

17 Windowsを再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面から再セットアップします。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

注

- プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

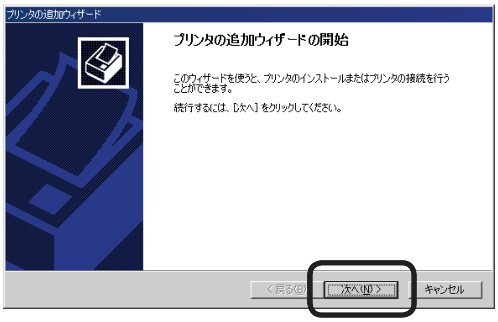
1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 Windows2000を起動します。

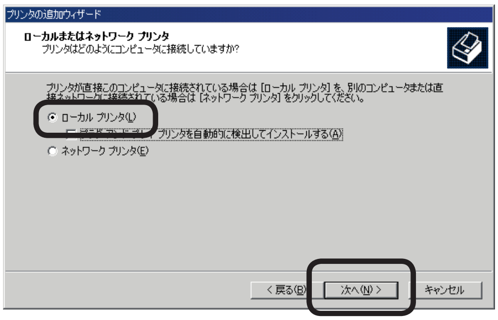
4 プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面が表示された場合は、『キャンセル』をクリックします。

5 『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、セットアップしようとしているプリンタアイコンがすでにある場合は、右ボタンでクリックし、『削除』を選択します。



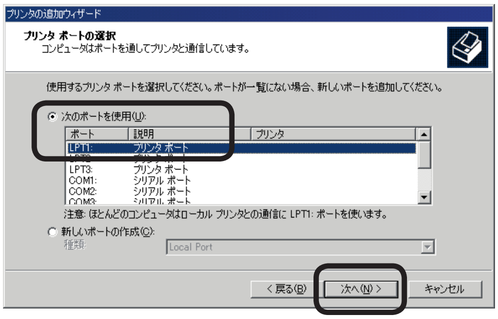
6 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

7 『プリンタの追加ウィザードの開始』画面で、『次へ』をクリックします。



8 『ローカルプリンタ』を選択し、『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外して、『次へ』をクリックします。

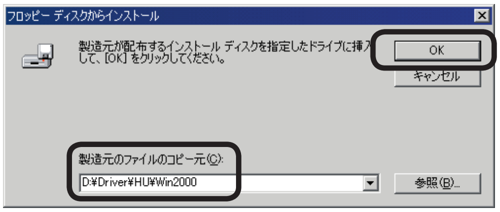
注　必ず『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外してください。



9 『次のポートを使用』を選択して、『LPT1:プリンタポート』を選択し、『次へ』をクリックします。



10 『ディスク使用』をクリックします。

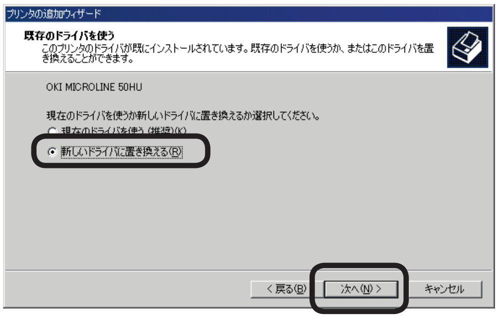


11 『インストール』画面が表示されたら、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「製造元のファイルのコピー元：」に次のように入力して『OK』をクリックします。

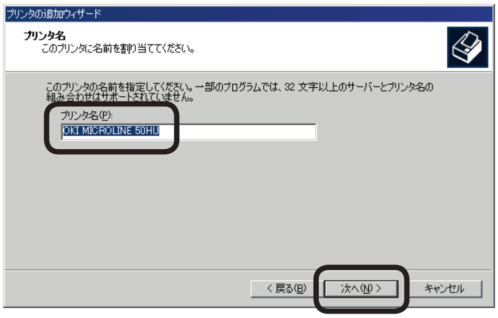
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥HU¥Win2000



12 『プリンタ』でプリンタの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。



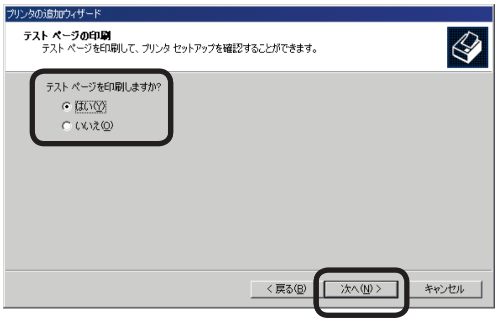
13 『既存のドライバを使う』画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。



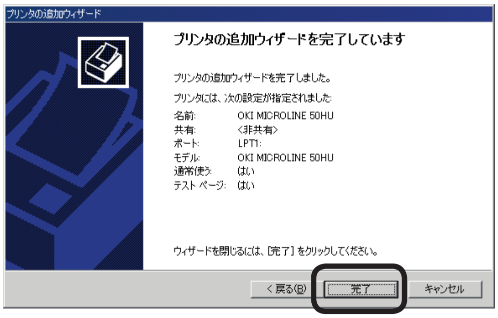
14 『プリンタ名』を確認し、『通常使うプリンタ』で『はい』を選択し、『次へ』をクリックします。



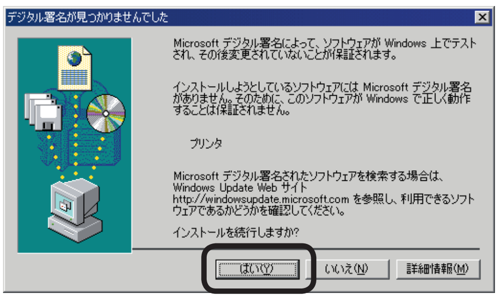
15 『このプリンタを共有しない』を選択し、『次へ』をクリックします。



16 テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『次へ』をクリックします。



17 『プリンタの追加ウィザードを完了しています』画面で、『完了』をクリックします。



18 『デジタル署名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

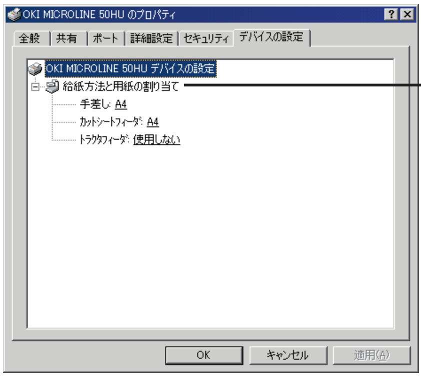


19 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

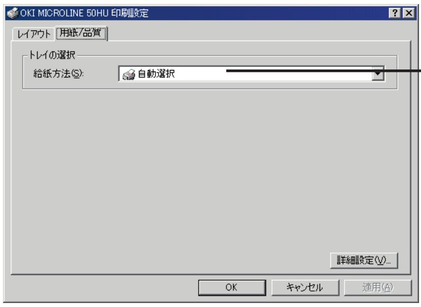


給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。



給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「」あるいは「」にしてください。

●MICROLINE 50HUでロールペーパースタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「」にしてください。

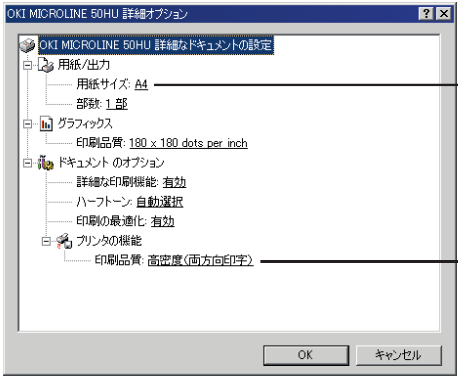
●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパースタンドについては6章を参照してください。

注　**実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。**

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。



用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

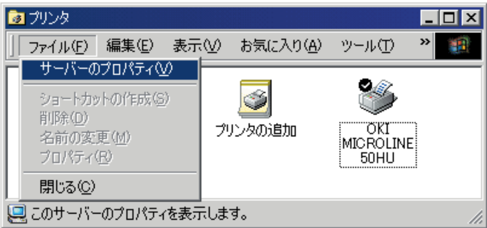
- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

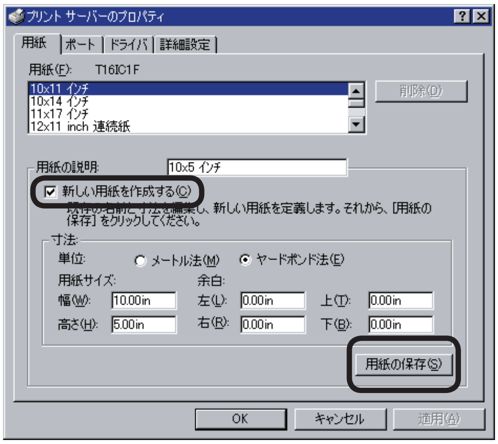
●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。





1 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 5 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsMe環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsMeから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsMe日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

［USBインタフェースケーブルを使用します］

注

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

1 プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

2 WindowsMeを起動します。
すでにWindowsMeが起動している場合は、再起動してください。



3 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、14へ進みます。



4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

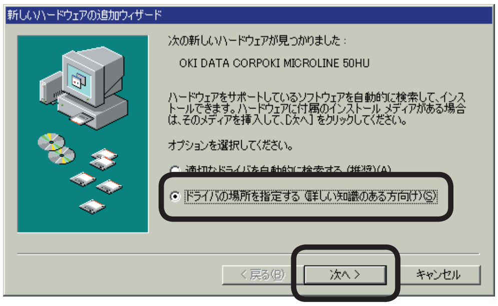
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥WinMe



5 USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。



6 『インストールが完了しました』で、『完了』をクリックします。



7 再度『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されるので、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して、『次へ』をクリックします。

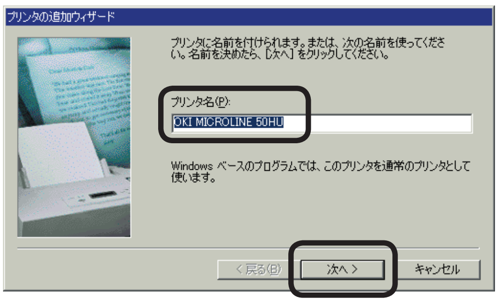


8 プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

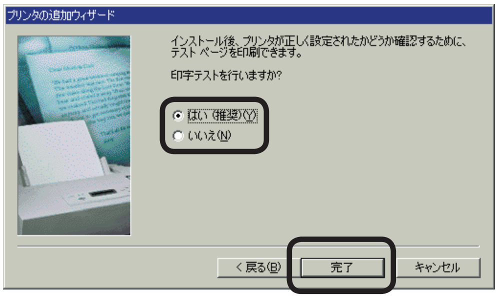
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥WinMe



9 『デバイス用のドライバファイルの検索』と表示されたら、『次へ』をクリックします。



10 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



11 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。



12『完了』をクリックします。

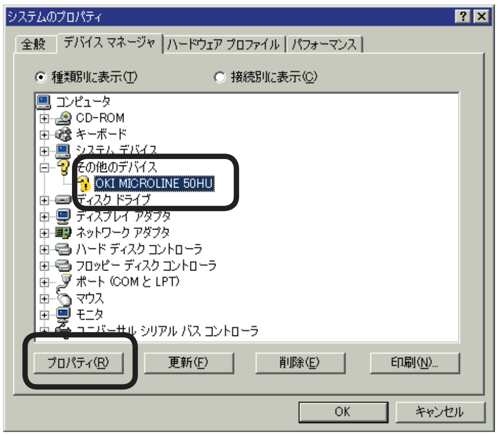


13『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

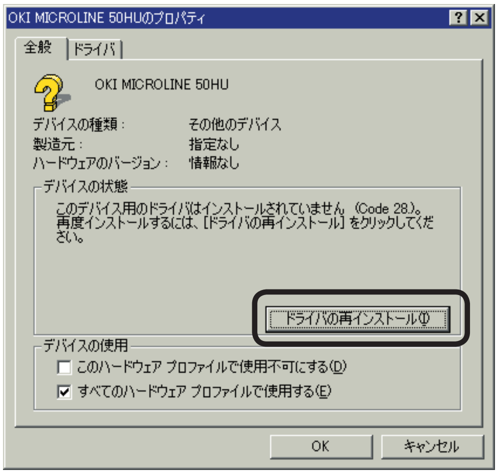
『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合

14『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

15『デバイスマネージャ』タブを開きます。



16『その他のデバイス』で『OKI MICROLINE 50HU』または『OKI MICROLINE 80HU』を選択し、『プロパティ』をクリックします。



17 『ドライバの再インストール』をクリックします。



18 『デバイスドライバの更新ウィザード』画面が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択し、『次へ』をクリックします。

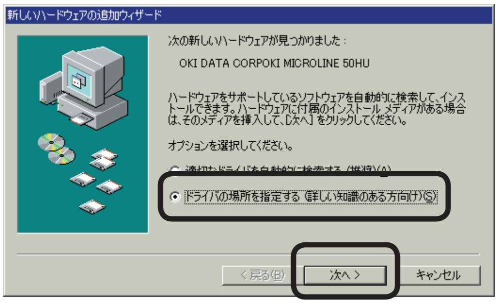


19 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
>
> D:¥Driver¥HU¥WinMe



20 USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。



21 『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択し、『次へ』をクリックします。



22 プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥HU¥WinMe

23 『デバイス用のドライバファイルの検索』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

24 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

25 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

26 『完了』をクリックします。

27 ドライバがインストールされたことを確認し、『完了』をクリックします。

28 『USB Printing Supportのプロパティ』画面で『閉じる』をクリックします。

29 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

注

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

1 プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。



2 WindowsMeを起動します。
すでにWindowsMeが起動している場合は、再起動してください。

3 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して『次へ』をクリックします。

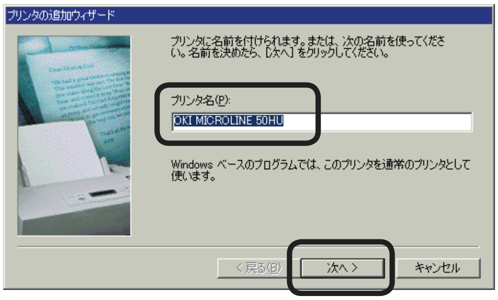


4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Driver¥HU¥WinMe



5 プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。



6　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



7　テストページを印刷する場合は『はい（推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。



8　『完了』をクリックします。



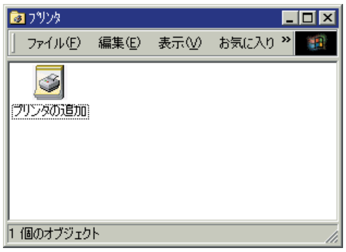
9　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『プリンタの追加』からのセットアップ

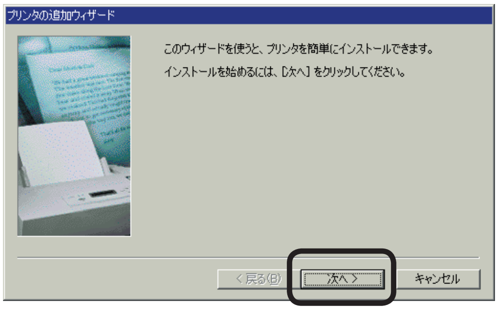
1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

2 コンピュータの電源をONにして、Windows Meを起動します。

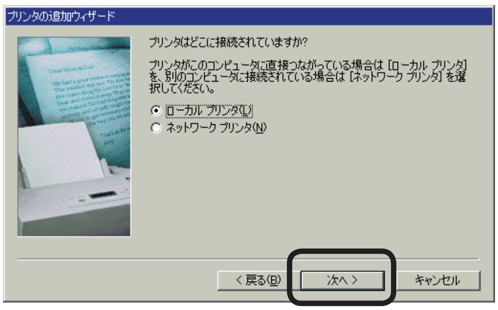
3 『スタート』―『設定』―『プリンタ』を選択します。



4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

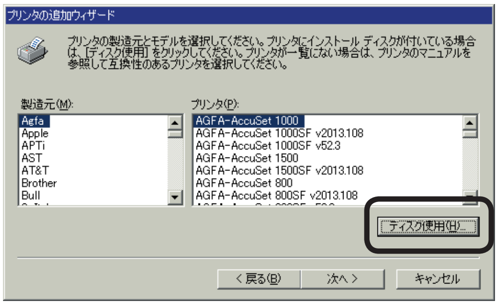


5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されますので、『次へ』をクリックします。

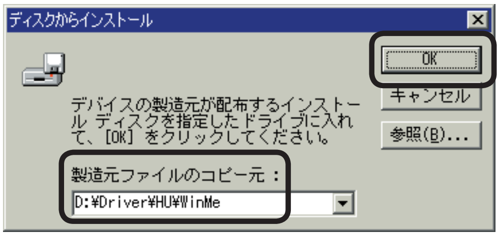


6 『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

3章

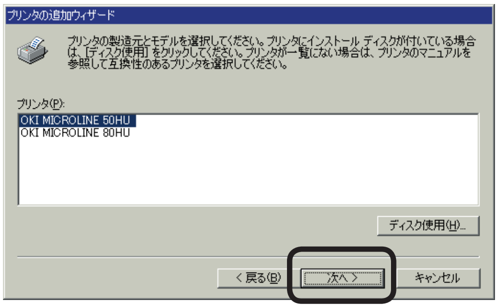


7 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

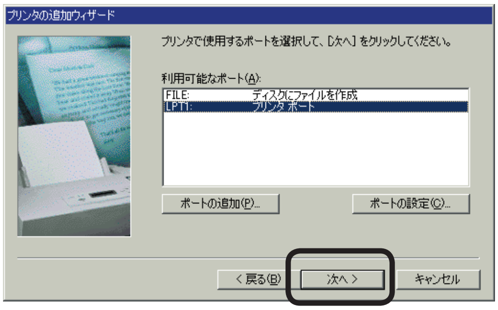


8 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

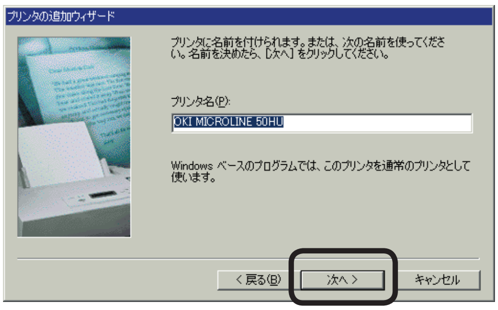
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥WinMe



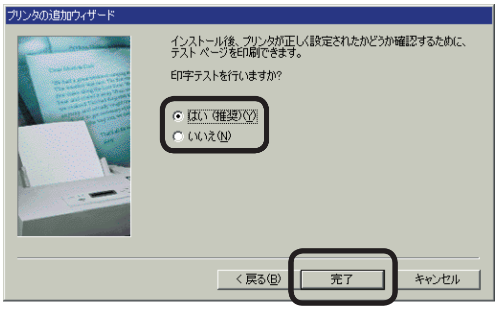
9 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。



10 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。



11 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



12 テストページを印刷する場合は『はい（推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。



13 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定



用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

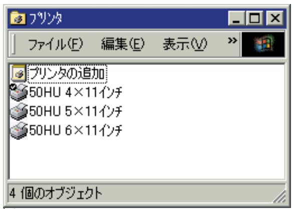
●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】



●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。



給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」あるいは「BOT」にしてください。

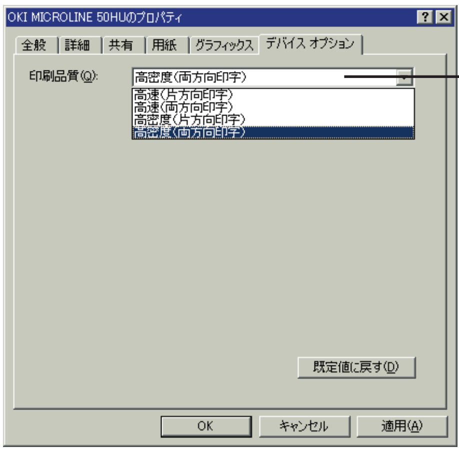
●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

注 実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

デバイスオプションタブでの設定



印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 5 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows98環境で使用する

●プリンタの設定

Windows98から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows98日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows98日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

［USBインタフェースケーブルを使用します］

注

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

1 プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

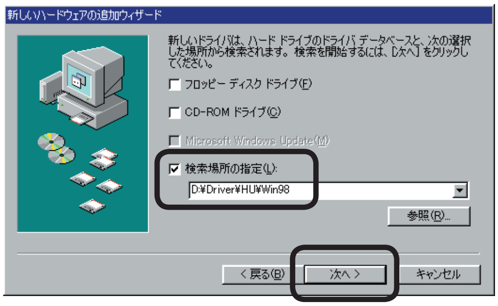
2 Windows98を起動します。
すでにWindows98が起動している場合は、再起動してください。



3 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、16へ進みます。



4 『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。



5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『検索場所の指定』のみにチェックして、次のように入力し、『次へ』をクリックします。

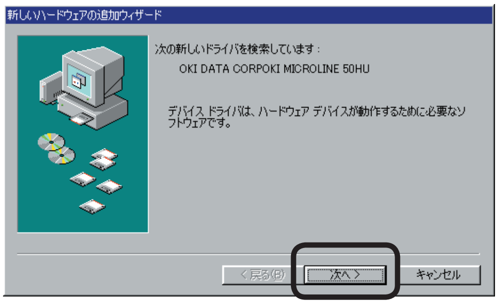
ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Driver¥HU¥Win98



6 USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。



7 『必要なソフトウェアがインストールされました』で、『完了』をクリックします。



8 再度『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されるので、『次へ』をクリックします。

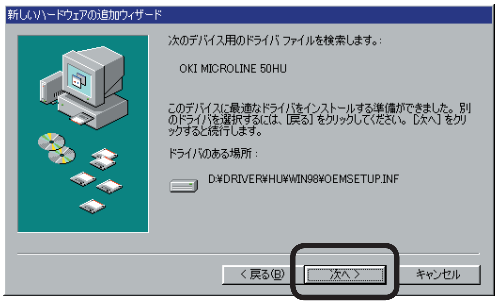


9 『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

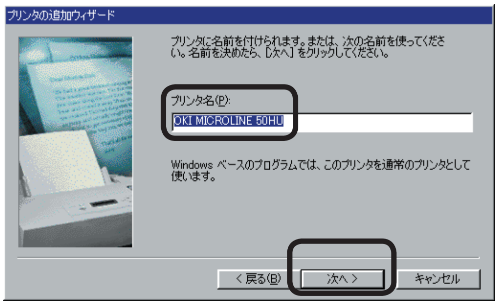


10 プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』のみにチェックして、次のように入力し、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥HU¥Win98



11 『次へ』をクリックします。



12 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



13 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）



14 『完了』をクリックします。



15 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

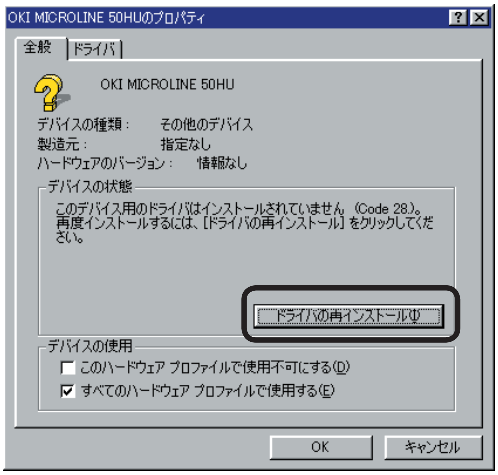
『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合

16 『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。



17 『デバイスマネージャ』タブを開きます。

18 『その他のデバイス』で『OKI MICROLINE 50HU』または『OKI MICROLINE 80HU』を選択し、『プロパティ』をクリックします。



19 『ドライバの再インストール』をクリックします。



20『デバイスドライバの更新ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。



21『現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。



22 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥Win98

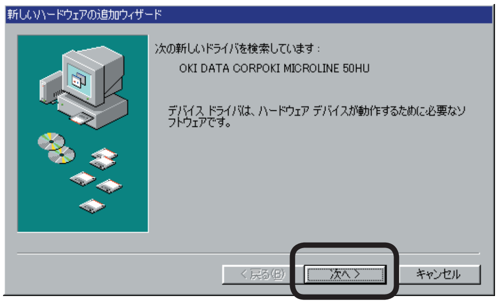


23 USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。



24『インストールが完了しました』で、『完了』をクリックします。

25『USB Printing Supportプロパティ』画面で『閉じる』をクリックします。



26『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。



27『使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。



28 プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥Win98

29 『次のデバイス用のドライバファイルを検索します』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

30 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

31 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD: の場合）と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）

32 『完了』をクリックします。

33 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

3章

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

注
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3章

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

1 プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

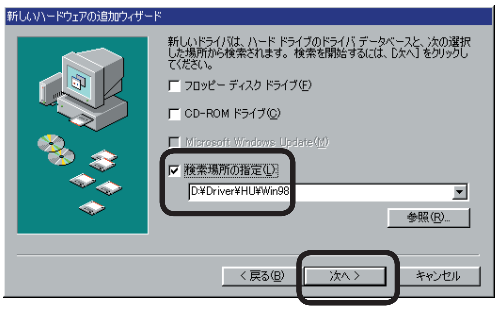
2 Windows98を起動します。
すでにWindows98が起動している場合は、再起動してください。



3 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。



4 『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択して『次へ』をクリックします。

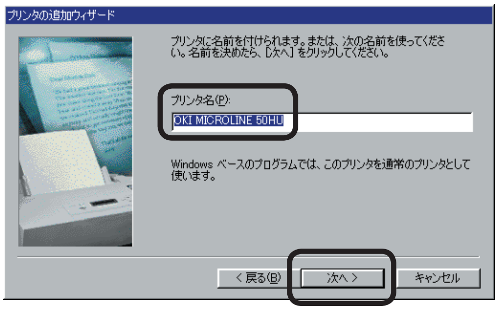


5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥Win98



6　プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。



7　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



8　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注　途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）



9　『完了』をクリックします。



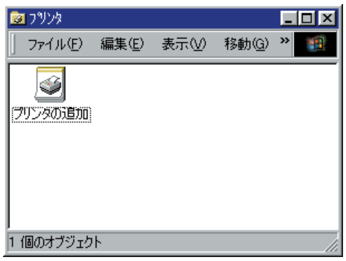
10 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『プリンタの追加』からのセットアップ

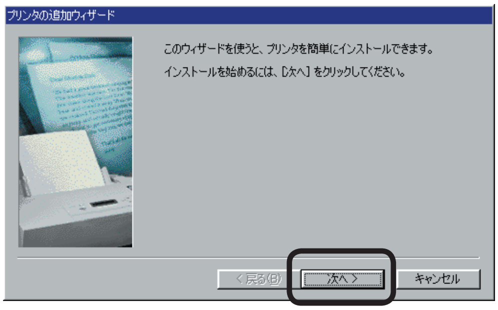
1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

2 コンピュータの電源をONにして、Windows98を起動します。

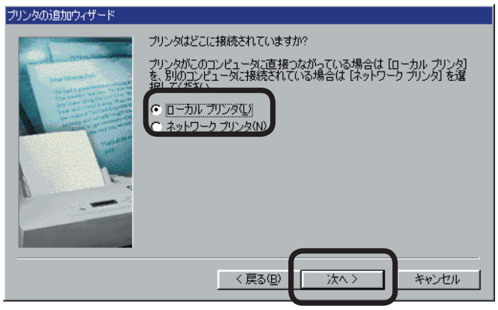
3 『スタート』－『設定』－『プリンタ』を選択します。



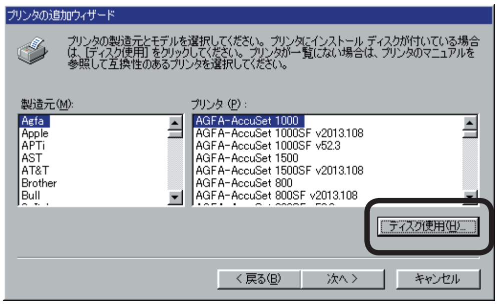
4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。



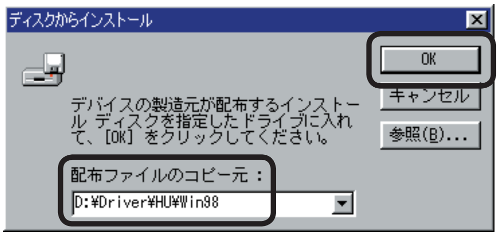
5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。



6　『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

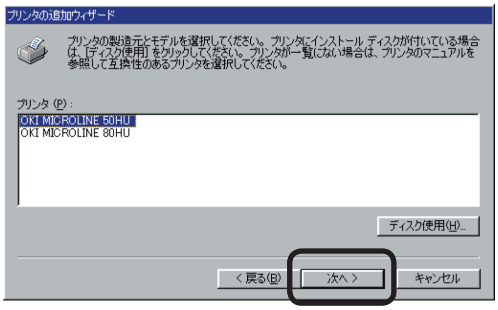


7　製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。



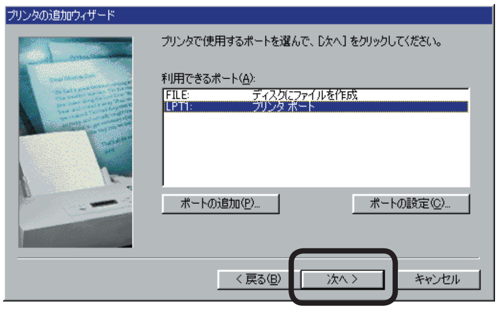
8　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥HU¥Win98

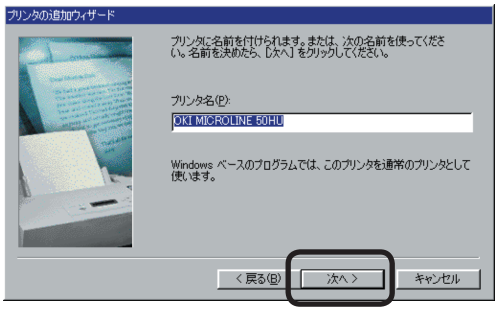


9　『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

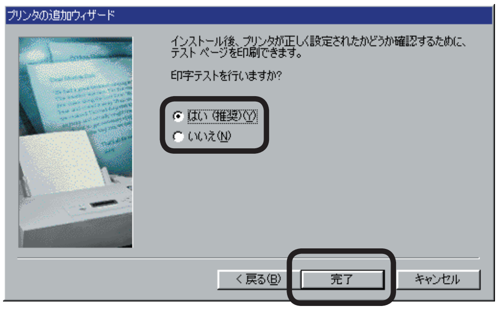
注　途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）



10 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。



11 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



12 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）



13 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定



用紙サイズ

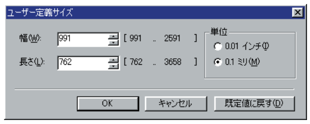
用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

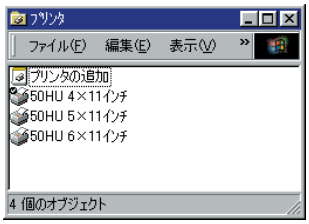
●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】



●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。



給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「 」あるいは「 」にしてください。

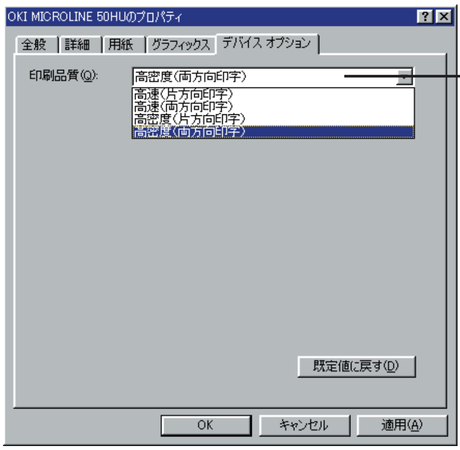
●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

注 実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

デバイスオプションタブでの設定



印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

3章

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 5 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows95環境で使用する

●プリンタの設定

Windows95から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows95日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- Windows95では、USBインタフェースをサポートしておりません。従って、USBインタフェースケーブルでのご使用はできませんので、［パラレルインタフェースケーブルをご使用の場合］に従ってセットアップしてください。
- Windows95のバージョンによってセットアップ手順、画面表示などが異なります。Windows95のバージョンは「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックし､「プロパティ」を選択すると表示されます。バージョンを確認の上､セットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows95日本語版オペレーションシステム（CD-ROMもしくはフロッピーディスク）

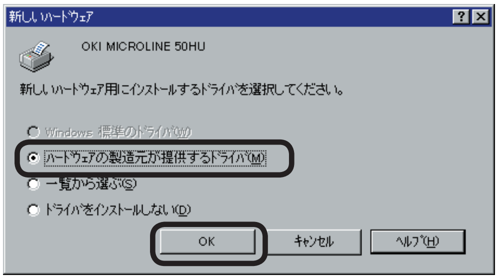
［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

注
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェア』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

Windows95のバージョン4.00.950または4.00.950 aの場合

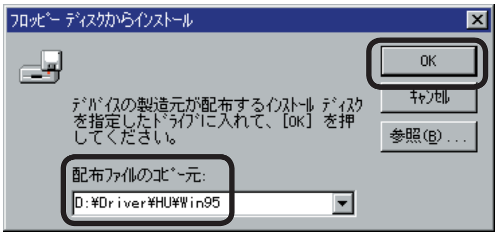
1 プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

2 Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は、再起動してください。



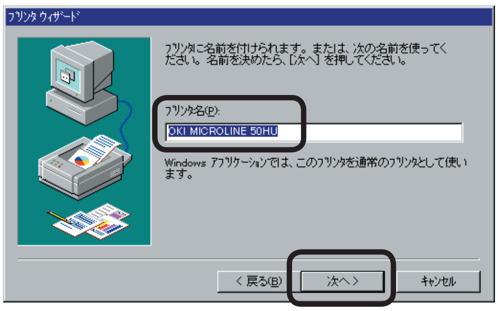
3 『新しいハードウェア』画面が表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

注 『デバイスドライバウィザード』が表示された場合は「Windows95のバージョン4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合」（101ページ）の手順にしたがってください。



4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「配布ファイルのコピー元：」に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 D:¥Driver¥HU¥Win95



5 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



6　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注　途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。
（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク（Disk XX）をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、「OK」をクリックします。）



7　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

Windows95のバージョン4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合

1　プリンタの電源を『ON』にします。

2　Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は、再起動してください。

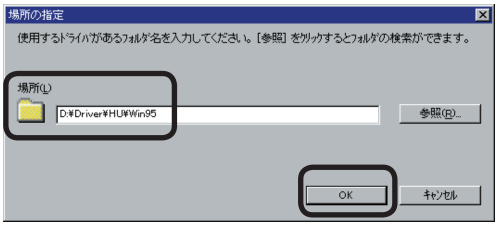


3　『デバイスドライバウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。



4　『場所の指定』をクリックします。

3
章

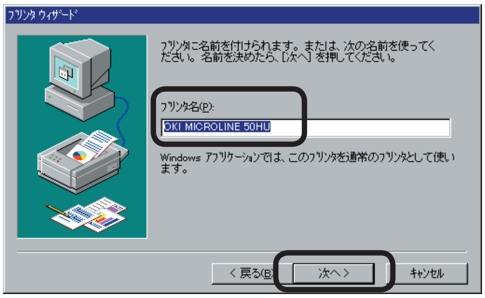


5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「場所」に次のように入力して、『OK』をクリックします。

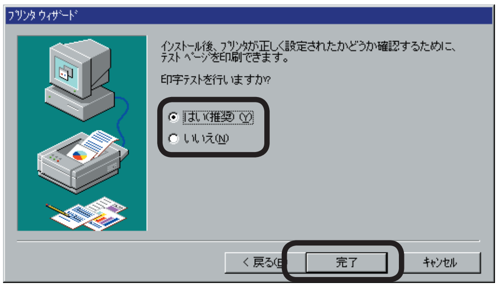
> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　D:¥Driver¥HU¥Win95



6 プリンタドライバが見つかったことを確認し、『完了』をクリックします。



7 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。



8 テキストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」ダイアログが表示された場合は、「OK」をクリックし、プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「D:¥Driver¥HU¥Win95」（CD-ROMドライブがD: の場合）と入力し、「OK」をクリックします。
更に「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」（CD-ROMドライブがD: の場合）と入力し、「OK」をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク（Disk XX）をフロッピードライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、「OK」をクリックします。）



9 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定



用紙サイズ

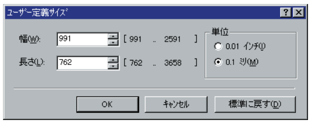
用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

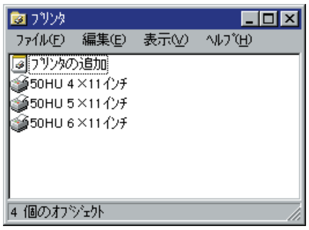
●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】



●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。



給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し､用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し､用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは､プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」あるいは「BOT」にしてください。

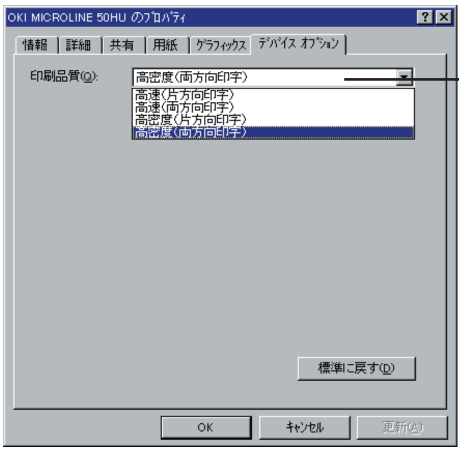
●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「TOP」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

注 実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

デバイスオプションタブでの設定



印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 5 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsNT4.0環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsNT4.0から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（145ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows NT Server4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注✔ 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注✔
- WindowsNT4.0では、USBインタフェースをサポートしておりません。従って、USBインタフェースケーブルでのご使用はできませんので、[パラレルインタフェースケーブルをご使用の場合] に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには、次のものをご用意ください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows NT Server4.0日本語版もしくはWindows NT Workstation4.0日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

なお、説明の中では、DOS/V PCでWindowsNT Workstation4.0日本語版を使用します。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

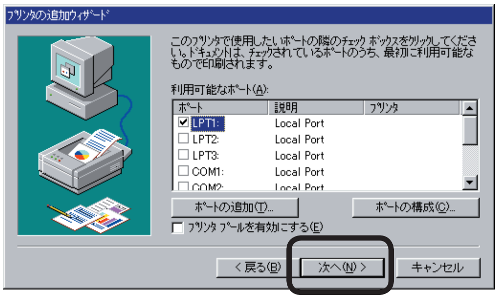
注

- プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。
  セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでに異なるバージョンのOKI MICROLINE HUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3章

1　プリンタウィザードを起動させます。
『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』で起動します。

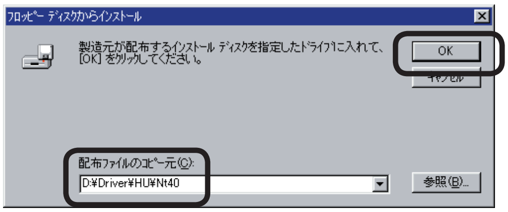
2　『このコンピュータ』をチェックし、『次へ』をクリックします



3　接続ポートを選び、『次へ』をクリックします。

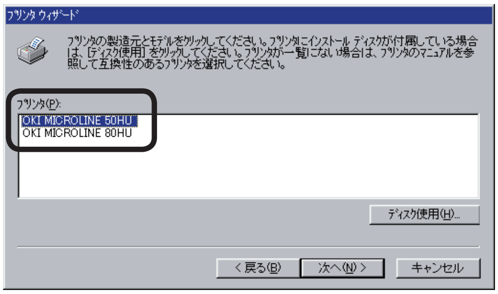


4　『ディスク使用』をクリックします。



5　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『配布ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥HU¥Nt40



6 プリンタの機種名を選びます。

7 引き続き、画面に表示される指示にしたがって、適切な項目を選びます。
ファイルのコピーが開始されます。

注　途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindowsNT4.0のCD-ROMをセットし、「コピー元」に、「D:¥i386」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、「OK」をクリックします。



8 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。



給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

ページ設定タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。
アプリケーションによっては、「ページ設定」タブでの設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。



用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタから取り外し、用紙切り替えレバーを単票「」にしてください。「カットシートフィーダ」を指定するときは、カットシートフィーダをプリンタに搭載し、用紙切り替えレバーを単票「」にしてください。
●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「」あるいは「」にしてください。
●MICROLINE 50HUでロールペーパスタンドを使用する場合には、「トラクタフィーダ」を指定し、用紙切り替えレバーを単票「」にしてください。
●プリンタの給紙方法の設定は4章を参照してください。カットシートフィーダ、ロールペーパスタンドについては6章を参照してください。

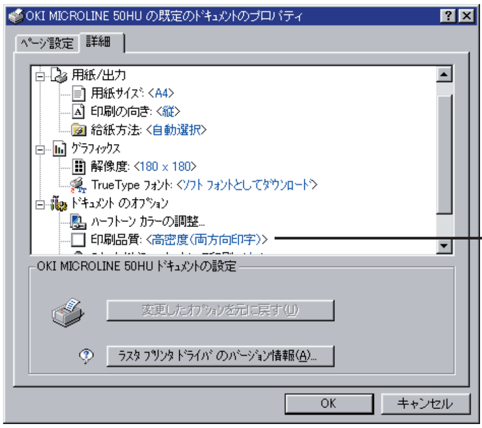
注　実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

3章

詳細タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示されます。



印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

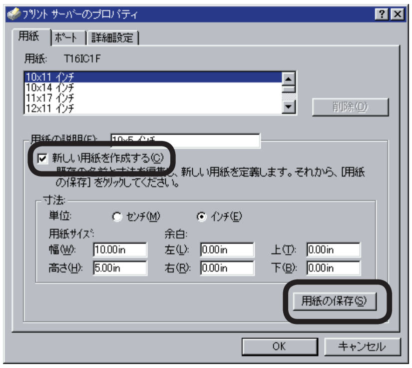
●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANKフォントは全て高速度ANKで印刷されます。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。





1 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の５種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

DOS環境で使用する

市販のアプリケーションソフトウェアのほとんどのものに、使用するプリンタを選択する項目があります。
印刷する前に、以下の優先順位に従って選択します。

優先順位	プリンタ名
1	MICROLINE 80HU/50HU
2	ESC/P 24-J84
3	VP-1000/3000
4	ESC/P 24-J83
5	VP135K/130K

注

- プリンタの選択方法は、それぞれのアプリケーションソフトウェアにより異なります。具体的な選択方法は、アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、正常に印字が行えない場合や、印字結果が異なる場合があります。
- アプリケーションソフトウェアによっては、本プリンタの機能の一部がサポートされていない場合があります。

（MEMO）

4　用紙の取り扱い

～いろいろな用紙をプリンタにセットします～

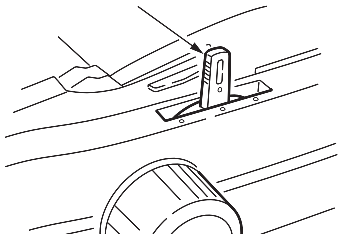
単票をセットする

●単票のセット

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

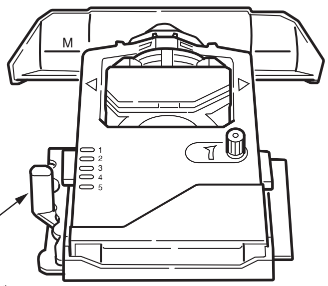
連続紙がセットされているときは、排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」（124ページ）を参照してください。

2 用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。



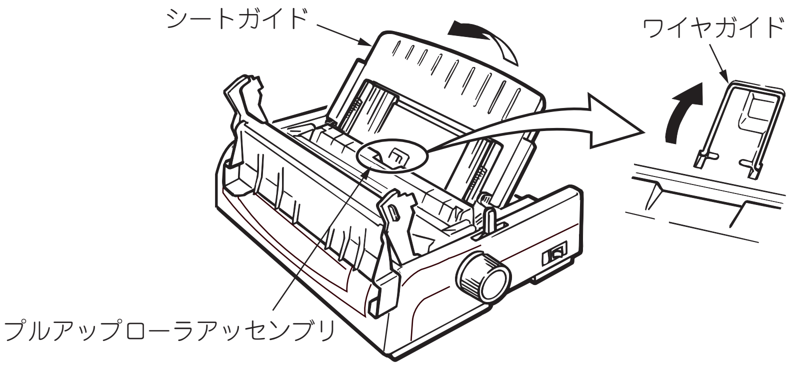
3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。

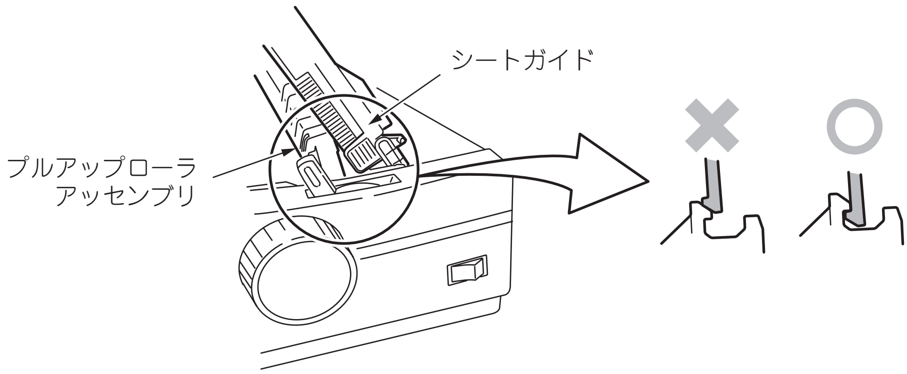


4 シートガイドを起こします。

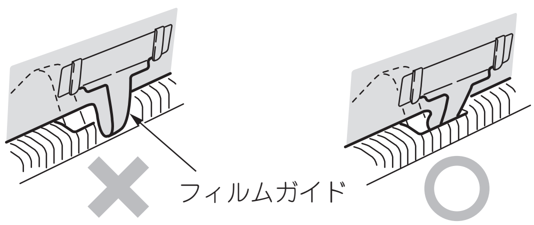
ワイヤガイドは、シートガイド側に倒しておきます。



注
- シートガイドを元に戻すときは、シートガイドを軽く上方に持ち上げてから倒してください。シートガイドに無理な力を加えると破損する恐れがあります。
- シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取り付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。

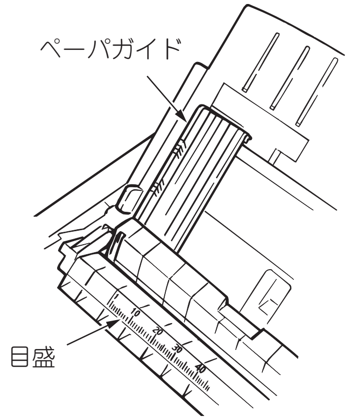


- プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。



5 左側のペーパガイドを単票の左端位置に合わせます。

目盛り上の「1」の位置が、横方向の1文字目の中心になります。



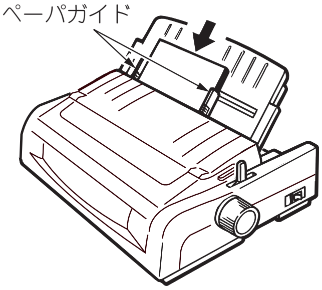
6 右側のペーパガイドを用紙の幅に合わせます。

7 アクセスカバーと防音カバーを閉じます。

8 電源スイッチを「**ON**」にします。

「印字可」ランプが消灯しているのを確認します。点灯している場合は「印字可」スイッチを押して消灯させます。

9 単票をペーパガイドに添って奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

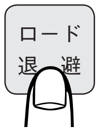


注

- 用紙吸入位置がずれる場合がありますので、ペーパガイドに沿って奥まで確実に突き当てるようにしてください。特に、厚紙（はがき）の場合は、ローラにかみ込むまで押し付けてください。
- はがき, 往復はがき, または、A5, A6用紙を使 用時は「機能切替」+「ロード退避」スイッチを押して、使用する用紙モードを設定（137ページ）してください。
  はがき縦/横または往復はがき縦/横の用紙モード中は、メニューの頭出し位置の変更は無効となり、1行目印字位置は6.35mmとなります。
- Windowsから印刷を行う場合は、プリンタドライバで用紙サイズを指定してください。この場合、スイッチによる用紙モードの設定は必要ありません。

10 「**ロード退避**」スイッチを押します。

1行目印字位置まで単票が自動的に送られます。

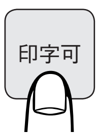


注

- 用紙が途中でつまってしまったときは、「用紙」ランプが点滅します。
  用紙を引いて「印字可」スイッチを押しアラームを解除します。アラーム解除後、用紙をセットし直してください。
- 用紙を引いても抜けなければ、用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」にしてつまった用紙を取り除いてください。このあと、用紙切り替えレバーを単票「TOP」に戻してから「印字可」スイッチを押すと、アラームが解除されます。
- 用紙が曲がってセットされたり、印字位置まで送られなかった場合には、「改頁」スイッチで用紙を排出するか、用紙切り替えレバーを連続紙「REAR」にして用紙を抜き取り、再度セットし直してください。
- 印刷済みの用紙をシートガイドにためないでください。

11 「**印字可**」スイッチを押します。

「印字可」ランプが点灯します。



●単票の排出方法

単票がプリンタ内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

2 「**改頁**」または「**ロード退避**」スイッチを押します。

用紙が自動的に排出されます。



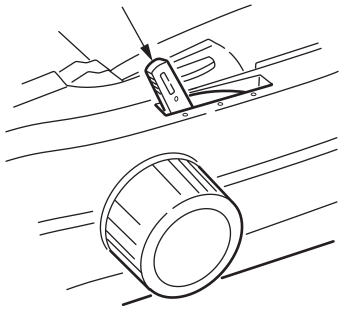
連続紙をセットする

●連続紙のセット

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

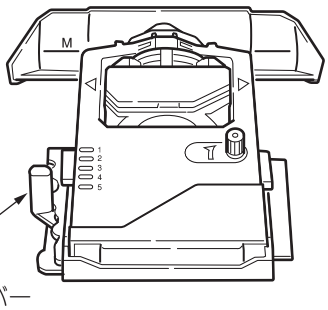
- 単票がセットされているときは、排出してください。
  詳細は「単票の排出方法」（118ページ）を参照してください。
- シートガイド上に単票が残っているときは、取り除きます。

2 用紙切り替えレバーを**連続紙**「REAR」（前方）にします。



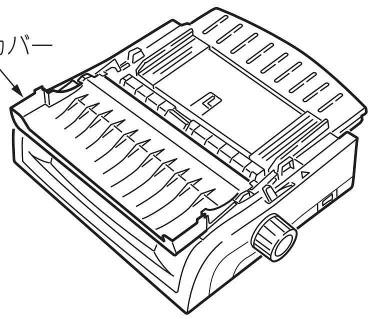
3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。

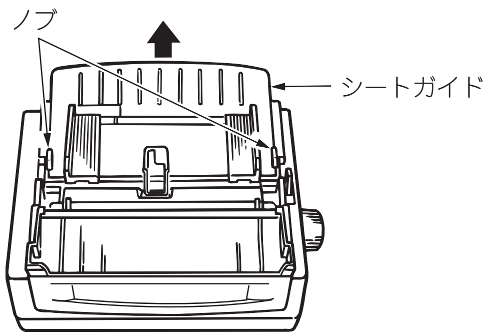


4 アクセスカバーを閉じます。

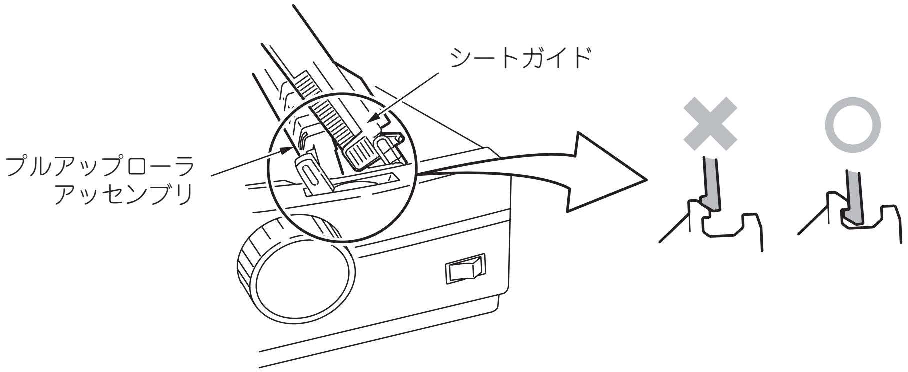
防音カバーは開いたままにしてください。



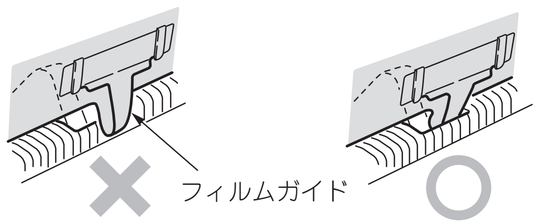
5 ノブを持ってシートガイドを取り外します。



注 • シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取り付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。

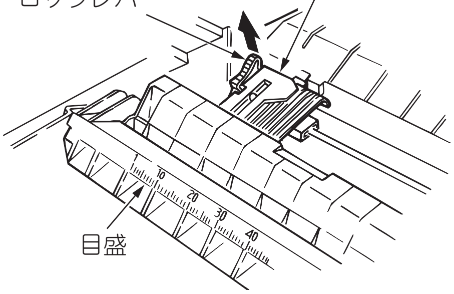


• プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。

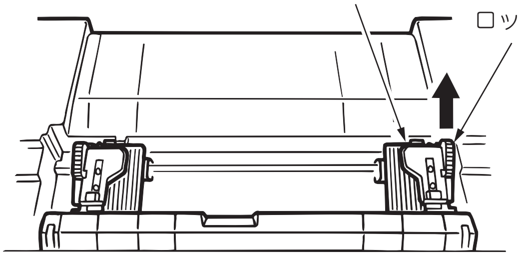


6 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

目盛上の「1」の位置が、横方向の1文字目の中心になります。

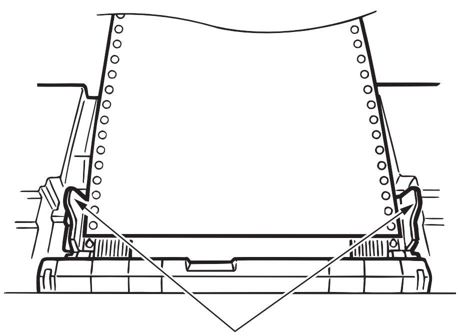


7 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。



8 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

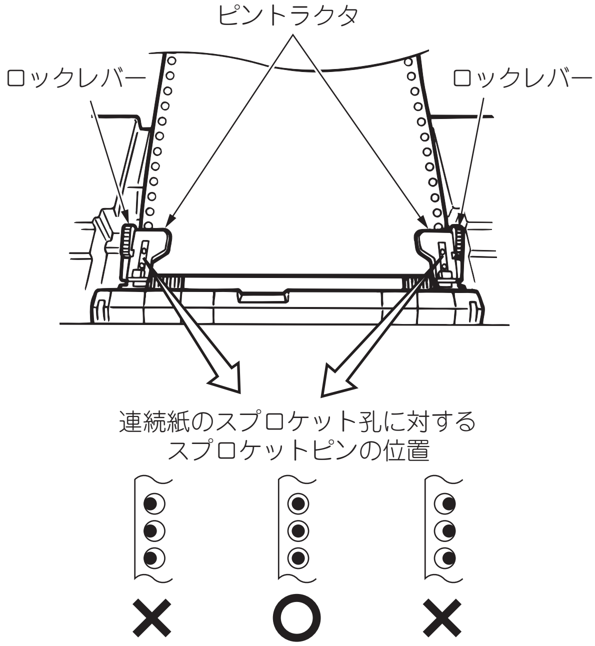
注
- 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。
- ピントラクタカバーは後側のみ開きます。



4
章

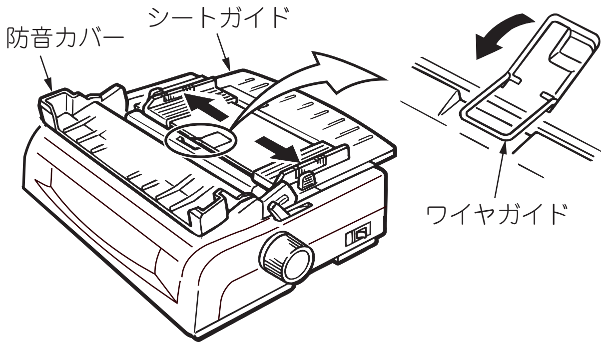
9 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。

注 用紙ジャムになる恐れがありますので、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。



10 シートガイドを取り付け、ペーパガイドを左右いっぱいに移動し、ワイヤガイドを手前側に倒します。

注 ワイヤガイドは、印刷済の連続紙がカールしてプリンタ内に入り込むのを防ぎます。

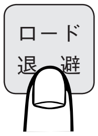


11 防音カバーを閉じます。

12 電源スイッチを「**ON**」にします。

13 「**ロード退避**」スイッチを押します。

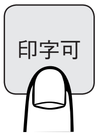
1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。



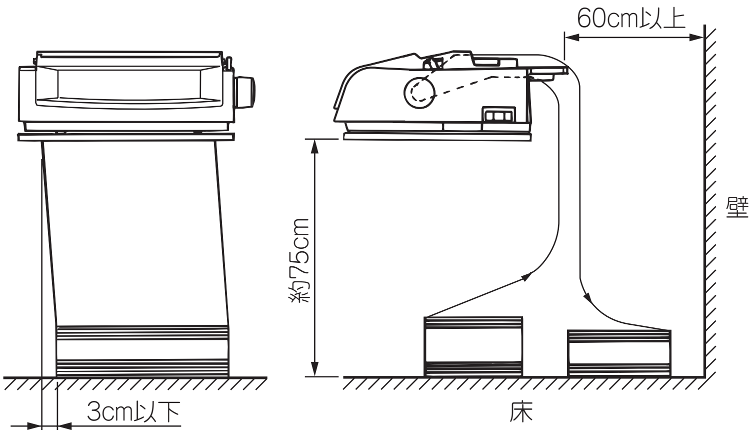
注
- メニューで「プルトラクタ」を「有り」に設定していると、本操作は無効になります。
- 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

14 「**印字可**」スイッチを押します。

印字可ランプが点灯します。



注 連続紙の置きかた
- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm以下にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。



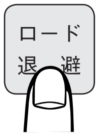
●連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

◆印刷済の連続紙を切り取るとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**ロード退避**」スイッチを押します。

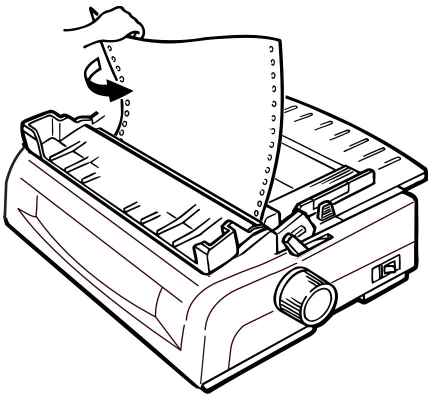
連続紙がシートガイド側に繰り出されます。



注 メニューで「プルトラクタ」を「有り」に設定していると、本操作は無効になります。

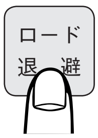
2 防音カバーを開きます。

3 アクセスカバーのカッタ部に連続紙のミシン目を合わせて切り取ります。



4 もう一度「**ロード退避**」スイッチを押します。

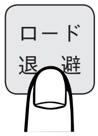
連続紙が元の位置に戻ります。



◆連続紙を外すとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**ロード退避**」スイッチを押します。

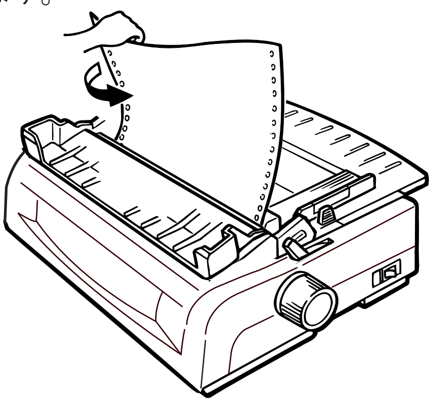
連続紙がシートガイド側に繰り出されます。



注 メニューで「プルトラクタ」を「有り」に設定していると、本操作は無効になります。

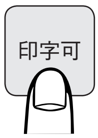
2 防音カバーを開きます。

3 アクセスカバーのカッタ部に連続紙のミシン目を合わせて切り取ります。



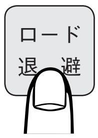
4 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

印字可ランプが消灯し、連続紙が元の位置に戻ります。



5 「**ロード退避**」スイッチを押します。

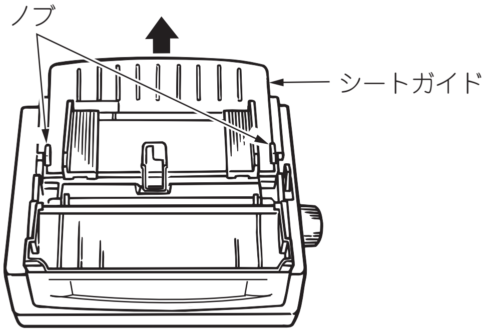
連続紙の先端がピントラクタまで後退します。



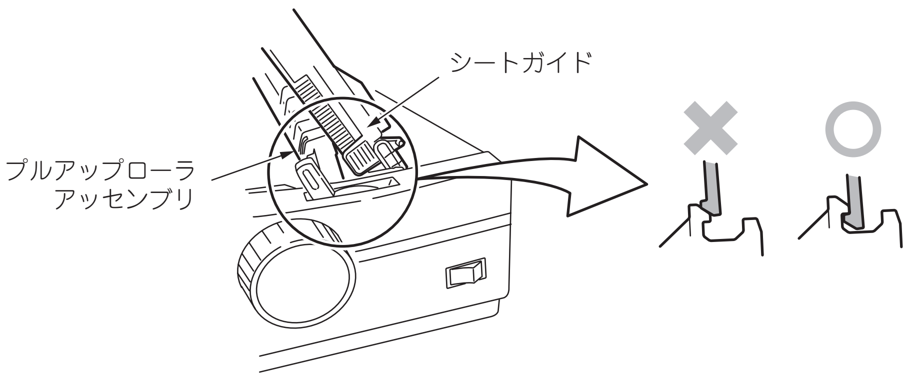
4
章

注 • 連続紙の後退量は最高22インチです。22インチ後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
• 連続紙の後退動作は、絶対に2回以上連続して行わないでください。

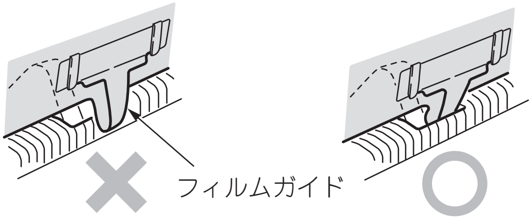
6 ノブを持ってシートガイドを取り外します。



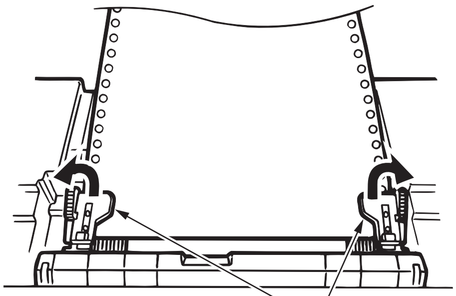
注 • シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取り付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。



• プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。



7 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。



8 ピントラクタカバーを閉じます。

9 シートガイドを取り付けます。ワイヤガイドはシートガイド側に倒します。

10 防音カバーを閉じます。

参考　ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁」スイッチを押して排出してください。

単票と連続紙の切り替え

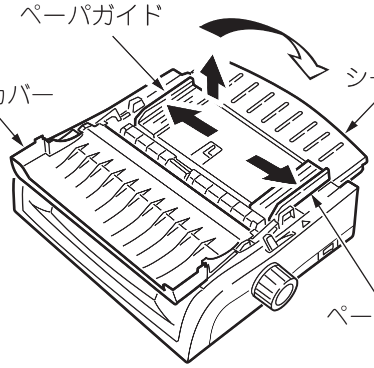
●単票から連続紙への切り替え

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

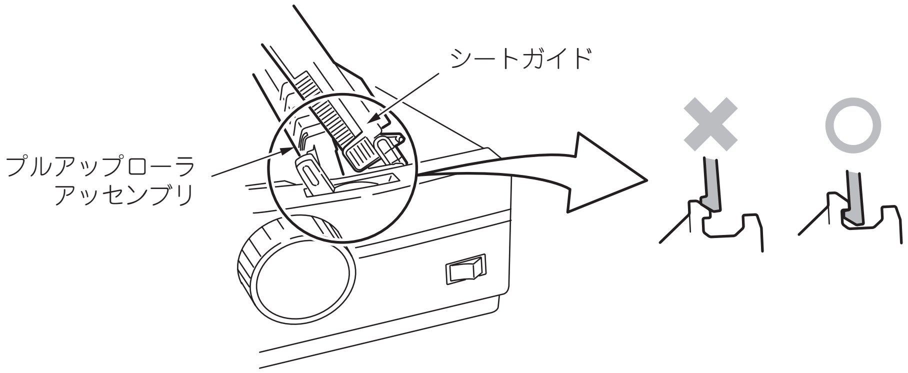
単票がセットされている場合は排出します。

2 防音カバーを開きます。

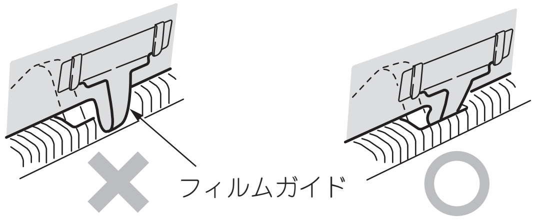
3 シートガイドを上へ持ち上げてから後方へ倒し、ペーパガイドを左右いっぱいに移動します。



注 • シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取り付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。



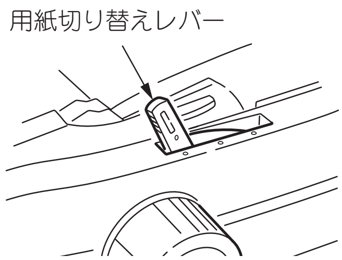
注 • プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。



4 ワイヤガイドを手前側に倒します。



5 用紙切り替えレバーを**連続紙**「REAR」（前方）にします。

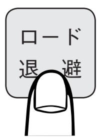


注 用紙挿入状態で用紙切り替えレバーを切り替えた場合、用紙レバーアラームになり、「用紙」ランプが点灯します。

6 防音カバーを閉じます。

7 「**ロード退避**」スイッチを押します。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。
連続紙のセット方法は「連続紙をセットする」（119ページ）を参照してください。



8 「**印字可**」スイッチを押し、オンラインにします。

●連続紙から単票への切り替え

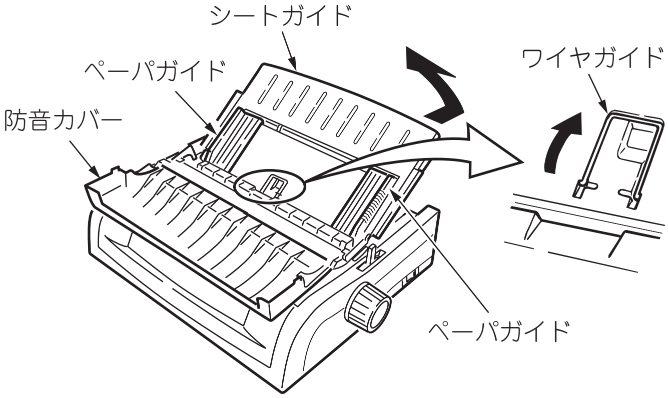
1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

連続紙がセットされている場合は、「ロード退避」スイッチを押して連続紙の先端をピントラクタまで後退します。

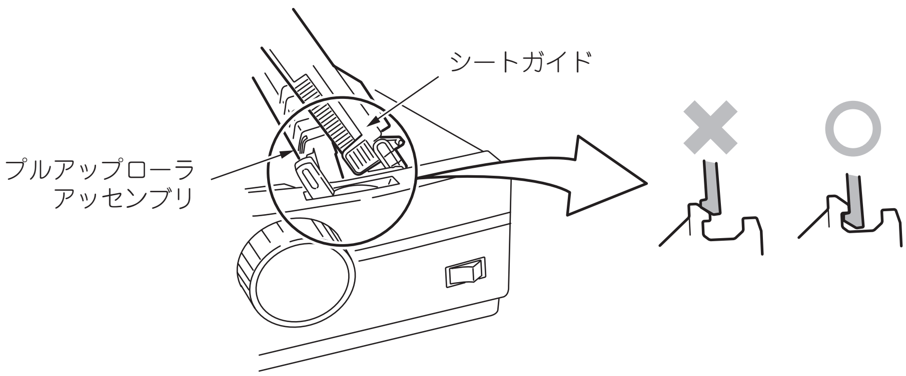
2 防音カバーを開きます。

3 シートガイドを起こし、ペーパガイドを用紙の幅に合わせて移動します。

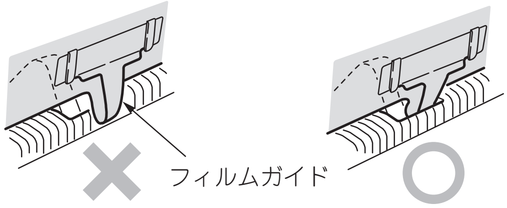
ワイヤガイドは、シートガイド側に倒しておきます。



注 • シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取り付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。

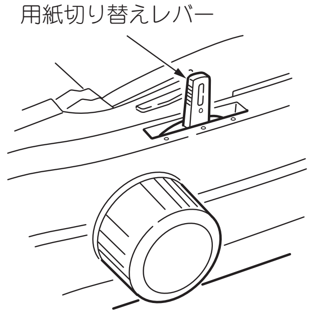


注 • プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。



4 防音カバーを閉じます。

5 用紙切り替えレバーを**単票**「」にします。



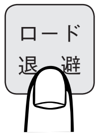
注 用紙挿入状態で用紙切り替えレバーを切り替えた場合、用紙レバーアラームになり、「用紙」ランプが点灯します。

6 単票をペーパガイドに添って奥に突き当てるまでまっすぐ差し込みます。

「ロード退避」スイッチを押すと単票が吸入されます。「印字可」スイッチを押すとオンラインになります。
単票のセット方法は、「単票をセットする」（114ページ）を参照してください。

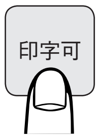
7 「**ロード退避**」スイッチを押します。

1行目印字位置まで単票が自動的に送られます。



8 「**印字可**」スイッチを押します。

印字可ランプが点灯します。

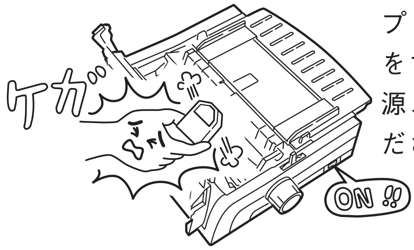


用紙の厚さに応じた調整方法

次の手順に従って、使用する用紙に合った用紙厚調整（手動紙厚調整）を行います。

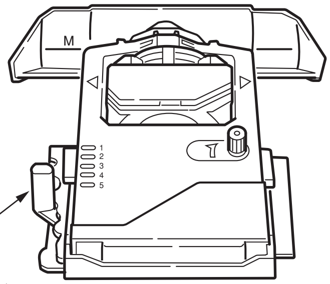
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。



プリンタが突然動作して、ケガをする恐れがあります。必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。

2 アクセスカバーを開き、下の表に従い、用紙厚設定レバーを使用する用紙の最も厚い部分に合わせます。



用紙厚設定レバー

用紙種類			ギャップレンジ値				
			1	2	3	4	5
単紙	連量 45～70kg(52～81g/m²)未満		○				
	連量 70～110kg(81～128g/m²)未満			○			
	連量 110～135kg(128～156g/m²)				○		
	はがき					○	
複写紙	連量 26～34kg(30～40g/m²)の裏カーボン紙または感圧紙	2枚		○			
		3枚			○		
		4枚				○	
		5枚					○
	用紙全体の厚さ(mm)		0.06～0.1	0.1～0.15	0.15～0.2	0.2～0.24	0.24～0.36

参考　一般的なコピー用紙（連量55kgの場合）の用紙厚さは約0.08mmです。
郵便はがき（連量163kg相当の場合）の用紙厚さは約0.23mmです。

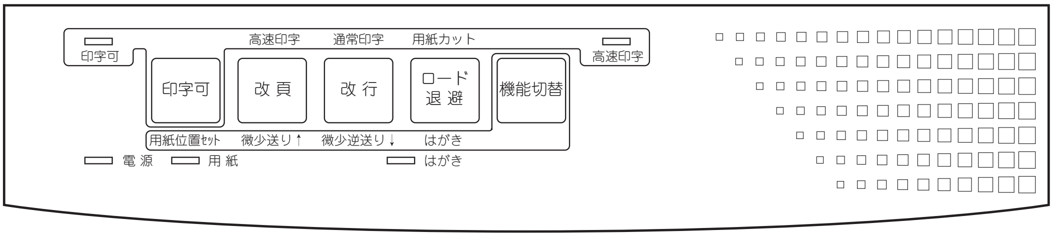
注　5枚複写紙は、ボトムパス方式（ボトムトラクタ、プルトラクタ：オプション）のみ使用可能です。リアパス方式は4枚複写紙まで使用可能です。
用紙の厚さと異なったレンジ値で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じる恐れがあります。

5　プリンタをより活用するために

5
章

～便利な機能及びプリンタ設定の変更方法～

操作パネルの使い方



5
章

●スイッチの機能

印字可

◆オンラインのとき
- オフラインにします。

◆オフラインのとき
- オンラインにします。
- アラームを解除します。
- 連続紙の用紙終了を検出したとき、そのままの状態で押すとペーパオーバライド機能が働きます。

参考 ペーパオーバライド機能
連続紙の用紙終了を検出しても、このスイッチを押すと一行分データを印刷します。この機能を使うと、連続紙を最後まで有効に活用できます。

改頁

◆オンラインのとき
- 高速印字に設定します。

注
- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ、文字が薄く見えます。
- プリンタドライバで高密度印字を指定して印刷を行うと、通常印字が設定されます。

◆オフラインのとき
- 連続紙モードのとき
  次のページの1行目まで連続紙を送ります。
- 単票手差しモードのとき
  単票を排出します。
- 自動給紙モードのとき
  単票を排出します。

改行

◆オンラインのとき
- 通常印字に設定します。

注 プリンタドライバで高速印字を指定して印刷を行うと、高速印字が設定されます。

◆オフラインのとき
- 1行改行します。押し続けると連続で改行します。

機能切替

◆オンラインのとき
- このスイッチを押しながら「ロード退避」スイッチを押すことにより、現在の用紙モードの種類を確認できます。
- 他のスイッチは無効です。

◆オフラインのとき
- このスイッチを押しながら「印字可」,「改頁」,「改行」,「ロード退避」の各スイッチを押すことにより、スイッチの機能を変えることができます。

5章

ロード退避

◆オンラインのとき
- 連続紙モードのとき
  連続紙を用紙カット位置まで送ります。再押下またはデータを受信すると元の位置に戻ります。

◆オフラインのとき
- 連続紙モードのとき
  ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。
  連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。

  注 連続紙の後退量は、最大22インチです。22インチ後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。連続紙の後退動作は、絶対に2回以上連続で行わないでください。
- 単票手差しモードのとき
  単票が給紙されているときに押すと、用紙を排出します。
- 自動給紙モードのとき
  単票が給紙されていないときに押すと、自動的に次の用紙がセットされます。
  単票が給紙されているときに押すと、単票が排出されます。

機能切替 ＋ 印字可
〔用紙位置設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされていないときに押すと、1文字目印字位置設定モードになります。1文字目印字位置設定モード中に再び同時に押すと、モードが解除されます。

機能切替 ＋ 改 頁
〔微少送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、順方向に微少送りを行います。

機能切替 ＋ 改 行
〔微少逆送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、逆方向に微少送りを行います。

  注 用紙の逆送り量は累計で1/3インチ以内にしてください。

参考 微少送り, 微少逆送りのピッチは、1/180インチです。
また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。

機能切替 ＋ ロード 退　避

〔はがき〕

◆オンラインのとき
- 単票モードのとき、現在の用紙モードの種類（下表参照）を確認できます。

◆オフラインのとき
- 単票モードのとき、用紙モードの設定を切り替えます。
  用紙モード設定時は、次のようなランプ表示を行います。

用紙モード	「はがき」ランプ	「高速印字」ランプ	「用紙」ランプ
はがき縦	点灯	消灯	消灯
はがき横	点灯	点灯	消灯
往復はがき縦	点灯	消灯	点灯
往復はがき横	点灯	点灯	点灯
A5 縦	点滅	消灯	点灯
A5 横	点滅	点灯	点灯
A6 縦	点滅	消灯	消灯
A6 横	点滅	点灯	消灯
解除	消灯	消灯	消灯

注
- はがき縦/横または往復はがき縦/横の用紙モード設定状態では、メニューで選択された頭出し位置の設定は無効となり、1行目印字位置は、6.35mm（工場出荷設定値）固定となります。
- Windowsから印刷を行う場合には、プリンタドライバで用紙サイズを指定してください。スイッチによるはがきモード設定よりも、プリンタドライバの設定が優先されます。
- 上表はスイッチを押したときのランプ表示であり、スイッチが離されているときは、はがき, 往復はがき, A5, A6のいずれかの用紙モードが設定されているかどうかを「はがき」ランプで表示します。

注　低消費電力モード中にいづれかのスイッチを押した場合には、低消費電力モードを解除します。このとき押したスイッチは、低消費電力モードの解除のみを行い、押したスイッチ本来の機能は働きません。

●ランプの表示機能

ランプ	状態	内容
■電源　（緑）	点灯	電源が入っている
	消灯	電源が切れている
■印字可（緑）	点灯	オンライン（印字可）
	消灯	オフライン（印字不可）
	点滅	• メニュー設定中 • 復旧不可能アラーム状態 （「用紙」ランプと共に点滅） • サーマルアラーム状態 （「高速印字」ランプと共に点滅） • 低消費電力モード中
■高速印字（緑）	点灯	高速印字モード
	消灯	通常印字モード
	点滅	• 1文字目印字位置設定モード • サーマルアラーム状態 （「印字可」ランプと共に点滅）
■はがき（緑）	点灯	はがき, 往復はがき, A5, A6のいずれかの用紙モード設定状態（単票モード時のみ）
	消灯	上記以外
■用紙　（赤）	点灯	• ペーパエンド状態 • 用紙カット位置の補正の限界状態時 • 用紙頭出し位置の補正の限界状態時
	消灯	給紙済み状態
	点滅	• 単票給紙待ち状態 • 用紙ジャムアラーム状態 • 復旧不可能アラーム状態 （「印字可」ランプと共に点滅） • 用紙レバーアラーム状態 • 用紙カット位置補正中 • 用紙頭出し位置補正中

5章

プリンタのメニュー設定

●メニュー項目一覧

本プリンタで変更できる項目には、次のようなものがあります。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
1	受信バッファ選択	受信バッファサイズを設定します。	なし あり（16K） あり（32K） あり（64K） あり（128K）
2	コード表	ANK文字コード表を選択します。	拡張グラフィックス カタカナ
3	ページ長設定モード	ページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード
4	ページ長選択	ページ長を選択します。 項番3の「ページ長設定モード」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm(11インチ) 304.8mm(12インチ) 55.9mm(2 1/5インチ) 69.9mm(2 3/4インチ) 82.6mm(3 1/4インチ) 101.6mm(4インチ) 209.6mm(8 1/4インチ)
5	ページ長行数	ページ長を行数単位で選択します。行数は4.23mm(6LPI)単位です。 1～400行まで設定可能です。 項番3「ページ長設定モード」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	1(4.2mm) 2(8.5mm) ： 66(279.4mm) ： 399(1689.1mm) 400(1693.3mm)
6	ミシン目スキップ設定	ミシン目スキップを選択します。	なし 25.4mm(1インチ)
7	文字品位設定	ANK文字品位の設定を選択します。	LQ（高品位） ドラフト
8	オートCR	CRコード受信時の動作を選択します。	CR CR+LF
9	単票頭出し位置	単票給紙時の頭出し基準位置を選択します。（1文字目文字中心まで） ユーザ指定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。 はがきまたは往復はがきの用紙モードのときは6.35mm固定です。	2.12mm(1/12インチ) 3.18mm(1/8インチ) 6.35mm(1/4インチ) 7.62mm(3/10インチ) 8.47mm(1/3インチ) 10.58mm(5/12インチ) 23.28mm(11/12インチ) 25.4mm(12/12インチ) 27.52mm(13/12インチ) ユーザ指定位置

5 章

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
10	帳票頭出し位置	連続紙給紙時の頭出し基準位置を選択します。 ユーザ指定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。	2.12mm(1/12インチ) 3.18mm(1/8インチ) **6.35mm(1/4インチ)** 8.47mm(1/3インチ) 10.58mm(5/12インチ) 19.05mm(9/12インチ) 23.28mm(11/12インチ) 25.4mm(12/12インチ) 27.52mm(13/12インチ) ユーザ指定位置
11	印字幅	1行の最大印字幅を設定します。(本項目はML80HUのみの項目です。ML50HUには本項目はありません。)	**136桁** 132桁 106桁 80桁
12	ゼロフォント字体	30H ANKコード受信時の印字フォントパターンを選択します。	**0（スラッシュ無し）** Ø（スラッシュ有り）
13	単票紙無し状態	単票手差しモード時、用紙終了(未給紙状態)を検出したとき、ペーパエンド出力を行うか、行わないかを選択します。	PE出力あり **PE出力なし**
14	縦2倍拡張時の印字方向	行内に縦2倍拡張印字データが存在するときの印字方向を選択します。	**両方向** 片方向
15	イメージ行の印字方向	行内にイメージデータが存在するときの印字方向を選択します。	**両方向** 片方向
16	電源投入時の漢字モード設定	電源投入時の漢字モードの設定／解除を選択します。 (本項目は、電源投入時のみ適用され、I-PRIME受信時は適用されません。)	設定 **解除**
17	電源投入時の用紙位置	電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。 (連続紙モード時のみ有効)	**印字位置** カット位置
18	帳票カット機能	連続紙のミシン目カット位置への送り出し方法の手動／自動モードを選択します。	**手動モード** 自動モード
19	単票自動排出位置	単票使用時の排出検出位置を選択します。(用紙の下端からの距離)	**6.35mm(1/4インチ)** 14.82mm(7/12インチ) 3.18mm(1/8インチ)
20	プルトラクタ	オプションのプルトラクタの有り／無しを選択します。「有り」を選択した場合、帳票のオートロード動作は行いません。	有り **無し**
21	ANK書体	ANK書体を選択します。	ローマン **クーリエ** サンセリフ OCR-B

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
22	単票モード時のFFコード	単票モード時のFFコードの機能を選択します。	改頁 排出
23	単票ボトム検出時の排出条件	単票モードおよび自動給紙モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。	自動排出 FFコード
24	双方向インタフェース	IEEE1284双方向インタフェースの有効／無効を選択します。	有効 無効
25	DC1／DC3	DC1とDC3コードの有効／無効を選択します。	有効 無効
26	AUTO FEED XT信号機能	AUTO FEED XT信号の有効／無効を選択します。	有効 無効
27	水平印字位置補正	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 各印字速度において、1/720インチ単位で左右に補正します。	（低速） ｜｜｜｜　｜｜｜｜ ｜｜｜｜　｜｜｜｜ 印字可←　→機能 （通常） ｜｜｜｜　｜｜｜｜ ｜｜｜｜　｜｜｜｜ 印字可←　→機能 （高速） ｜｜｜｜　｜｜｜｜ ｜｜｜｜　｜｜｜｜ 印字可←　→機能 （ドラフトANK） ｜｜｜｜　｜｜｜｜ ｜｜｜｜　｜｜｜｜ インジカ←　→キノウ （出荷時、適正値に調整されます）

✎　メニュー設定中は、設定値にかかわらず印字を行います。

✎✎
- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。
  設定値（初期値6.35mm(1/4インチ)）に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。
- 2.12mm(1/12インチ)、3.18mm(1/8インチ)に設定はできますが、印字品質は保証されません。

✎✎✎　両方向印字の場合、縦罫線のずれが0.3mm程度発生することがあります。

倍角文字印字時のずれの例



✎✎✎✎　「ページ長行数」項目選択中は、「印字可」スイッチを押しながら「機能切替」スイッチを押すと、プラス方向へ50の倍数で更新され、「機能切替」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押すと、マイナス方向へ50の倍数で更新されます。また「印字可」と「機能切替」スイッチをそのまま押し続けると、連続的に設定値が更新されます。

✎✎✎✎✎　ページ長を25.4mm以下に設定した場合、「ミシン目スキップ設定」を「25.4mm(1インチ)」に設定しても、ミシン目スキップは0mmが設定されます。

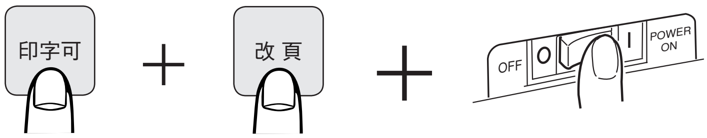
●現在の設定を確認する

ここでは、不揮発性メモリ内に格納されているメニュー情報の確認方法について説明します。メニューの内容の印字には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅の連続紙を使用します。(MICROLINE 80HUの場合には、連続紙は15インチ幅を使用します。)
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定内容の確認方法を説明します。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」+「**改頁**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

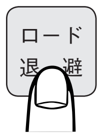
印字ヘッドが動き始めたらスイッチから指を離します。



3 単票をシートガイドにセットします。

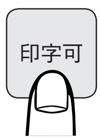
4 「**ロード退避**」スイッチを押します。

単票が自動的に吸入されます。



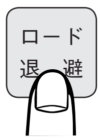
5 「**印字可**」スイッチを押します。

現在設定されているメニューのすべての項目と設定値が印字されます。
メニュー設定印刷中は、「印字可」ランプが点滅します。



6 印字ヘッドが止まったら、「**ロード退避**」スイッチを押します。

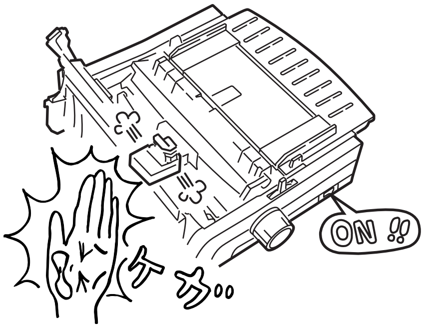
「メニュープリント終了」と印字され、単票が排出されます。



●設定を変更する

メニューの設定内容を変更するには、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅の連続紙を使用します。(MICROLINE 80HUの場合には､連続紙は15インチ幅を使用します。)
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

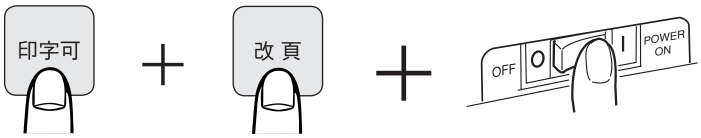


アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**改頁**」スイッチを押しながら､電源スイッチを「**ON**」します。

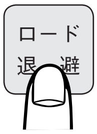
印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。



3 単票をシートガイドにセットします。

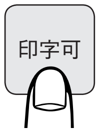
4 「**ロード退避**」スイッチを押します。

単票が自動的に吸入されます。



5 「**印字可**」スイッチを押します。

現在設定されているメニューの、すべての項目と設定値を印字します。
メニュー設定印刷中は、「印字可」ランプが点滅します。



6 「**改頁**」スイッチまたは「**改行**」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

参考　「改頁」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「改行」スイッチを押すたびに、逆送りで印字されます。



7 変更したい項目が印字されたら、「**印字可**」スイッチまたは「**機能切替**」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

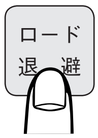
参考　「印字可」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「機能切替」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。



8 さらに変更したい項目があれば、手順6, 7を繰り返します。

9 「**ロード退避**」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンタに記憶されます。



注

- メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
- メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
- 「ロード退避」スイッチを押し、「メニュープリント終了」と印字する前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

●設定を初期化する

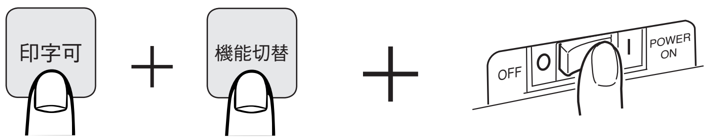
全てのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

注 メニュー項目のうち、水平印字位置補正は初期化されません。
調整メニュー項目（146ページ），シリアルインタフェースメニュー項目（206ページ）の設定値も初期化されません。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**機能切替**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。



プリンタの調整項目

●調整メニュー項目一覧

本プリンタ独自の調整および設定を行います。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
1	改行補正（帳票）	連帳の改行補正値を設定します。	−2 −1 0（網かけ） +1 +2
2	改行補正（単票）	単票の改行補正値を設定します。	−2 −1 0（網かけ） +1 +2
3	拡張ギャップ制御 ✐✐	ボトムフィードの拡張ギャップ対応の有効／無効を設定します。	有効 無効（網かけ）
4	ラッチタイミング切り替え	LSIラッチタイミングをSTB信号の立ち上がりとするか立ち下がりとするかを切り替えます。	STB信号立下がり（網かけ） STB信号立上がり
5	I/F信号タイミング ✐✐✐	パラレルインタフェースのACKとBUSYのタイミングを設定します。	A－B（網かけ） A－B－A
6	帳票送り速度	帳票の改行スピードを選択します。	通常（網かけ） 低速
7	FAULT信号出力	オフライン状態でのFAULT信号出力制御を選択します。 出力あり：Lowレベルとなります。 出力なし：Highレベル固定となります。	出力あり（網かけ） 出力なし
8	I-PRIME時の処理	I-PRIME信号受信時の動作を選択します。 印字モード　：受信済データを全て印字してから初期化します。 クリアモード：受信済データをクリアして初期化します。	印字モード（網かけ） クリアモード
9	連続I-PRIME	I-PRIME信号をデータ受信やスイッチ操作がない状態で連続的に受信した場合の処理を選択します。	有効（網かけ） 無効
10	ロールペーパニアエンド	ロールペーパ使用時のペーパニアエンド発生時の処理を選択します。 （本項目はML50HUのみの項目です。ML80HUには本項目はありません。）	印刷継続（網かけ） 印刷停止

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
11	単票手差しPE位置補正	単票手差しモード時の自動排出位置の調整を行います。	-10（-2.82mm） -9（-2.54mm） -8（-2.26mm） -7（-1.97mm） -6（-1.69mm） -5（-1.41mm） -4（-1.13mm） -3（-0.85mm） -2（-0.56mm） -1（-0.28mm） 0（0 mm） +1（+0.28mm） +2（+0.56mm） +3（+0.85mm） +4（+1.13mm） +5（+1.41mm） +6（+1.69mm） +7（+1.97mm） +8（+2.26mm） +9（+2.54mm） +10（+2.82mm）
12	単票自動給紙PE位置補正	単票自動給紙モード時の自動排出位置の調整を行います。	-10（-2.82mm） -9（-2.54mm） -8（-2.26mm） -7（-1.97mm） -6（-1.69mm） -5（-1.41mm） -4（-1.13mm） -3（-0.85mm） -2（-0.56mm） -1（-0.28mm） 0（0 mm） +1（+0.28mm） +2（+0.56mm） +3（+0.85mm） +4（+1.13mm） +5（+1.41mm） +6（+1.69mm） +7（+1.97mm） +8（+2.26mm） +9（+2.54mm） +10（+2.82mm）

5章

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
13	水平印字位置補正　✐	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 各印字速度において、1/720インチ単位で左右に補正します。	（低速） ||||　|||| ||||　|||| 印字可←　→機能 （通常） ||||　|||| ||||　|||| 印字可←　→機能 （高速） ||||　|||| ||||　|||| 印字可←　→機能 （ドラフトANK） ||||　|||| ||||　|||| インジカ←　→キノウ

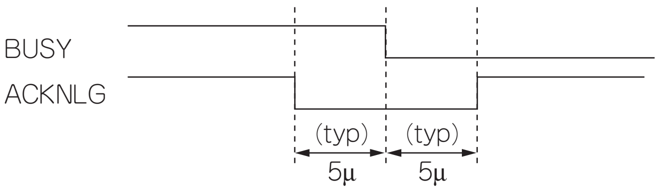
✐ プリンタメニューの「水平印字位置補正」と同じ設定値になります。

✐✐「拡張ギャップ制御」を「有効」に設定すると、以下のようになります。

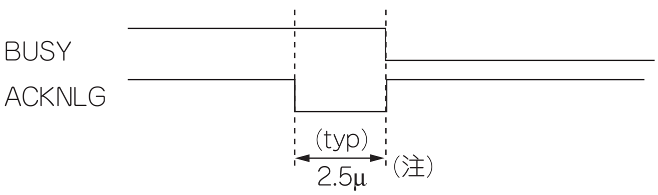
- 現在のギャップレンジにかかわらず、常にギャップレンジ5に設定されます。
- 使用可能な用紙ルートは帳票ボトムのみとなり、帳票リア／単票での使用はできません。そのため、用紙レバー位置を帳票ボトム以外にすると「用紙レバーアラーム」となります。

✐✐✐ I／Fタイミングの“A-B-A”と“A-B”の意味は、下図によります。

「A-B-A」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。



「A-B」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

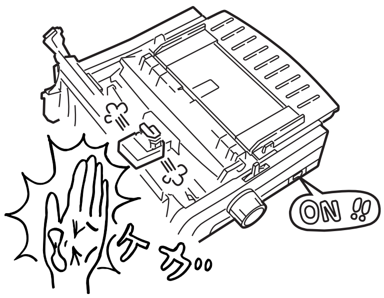


（注）BUSY OFFとACK OFFのタイミングの差はMIN 0secです。

●設定を変更する

メニューの設定内容を変更するには、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅の連続紙を使用します。(MICROLINE 80HUの場合には､連続紙は15インチ幅を使用します。)
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。

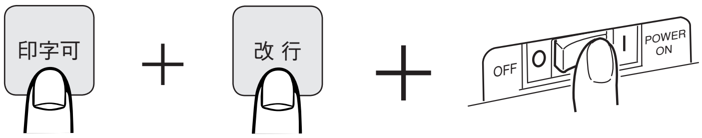


アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**改行**」スイッチを押しながら､電源スイッチを「**ON**」します。

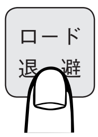
印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。



3 単票をシートガイドにセットします。

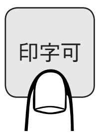
4 「**ロード退避**」スイッチを押します。

単票が自動的に吸入されます。



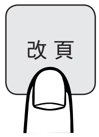
5 「**印字可**」スイッチを押します。

プリンタのメニュー項目の設定値が、全て工場出荷時の設定値の場合は「メニュー設定はディフォルトです」と印字され、工場出荷時の設定値と異なる場合は「ディフォルトでない項目があります」と印字します。その後、現在設定されているメニューのすべての項目と設定値を印字します。
メニュー設定印刷中は､「印字可」ランプが点滅します。

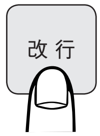


6 「**改頁**」スイッチまたは「**改行**」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

参考　「改頁」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「改行」スイッチを押すたびに、逆送りで印字されます。

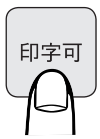


または

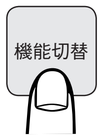


7 変更したい項目が印字されたら、「**印字可**」スイッチまたは「**機能切替**」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

参考　「印字可」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「機能切替」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。



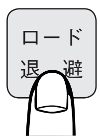
または



8 さらに変更したい項目があれば、手順6, 7を繰り返します。

9 「**ロード退避**」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンタに記憶されます。



注

- メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
- メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
- 「ロード退避」スイッチを押し、「メニュープリント終了」と印字する前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

●用紙の頭出し位置を補正する

用紙の頭出し位置を基準位置［6.35mm（1/4インチ）］に合わせることができます。
基準位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置をいいます。

注

- メニューで「プルトラクタ」を「有り」に設定していると、本操作は無効です。
- 補正する場合は、6.35mm（1/4インチ）に合わせてください。
- 用紙の頭出し位置を任意の位置に設定する場合は、「1文字目の印字位置を設定する」（156ページ）を参照してください。

参考

頭出し位置の補正は、単票（手差し），単票（カットシートフィーダ），帳票（リア），帳票（ボトム）で、それぞれ別に設定できます。

5章

1 プリンタのメニュー設定印刷を行い、「単票頭出し位置」または「帳票頭出し位置」が「6.35mm（1/4インチ）」になっていることを確認します。

詳細は「現在の設定を確認する」（142ページ）を参照してください。

2 プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

用紙が給紙されていた場合は、排出します。

3 用紙切り替えレバーを、用紙の種類に応じてセットします。

4 単票手差しの場合はシートガイドに、カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに、用紙をセットします。

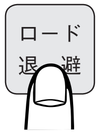
5 「印字可」ランプが消灯していることを確認します。

「印字可」ランプが点灯している場合、「印字可」スイッチを押してオフライン状態にします。

6 「**ロード退避**」スイッチを押します。

注 用紙吸入後も「ロード退避」スイッチを押したままにしてください。

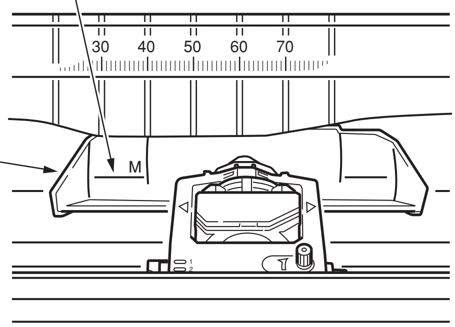
用紙を用紙上端より1/4インチの位置まで吸入したあと、「用紙」ランプが点滅します。



7 縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

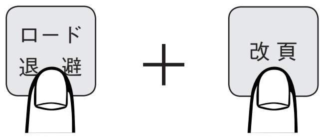
①1文字目の中心位置がどこになるか、確認します。

リボンプロテクタの赤線が､1文字目の下端になります。

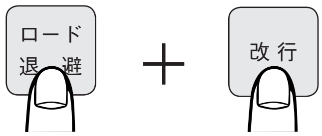


②以下のスイッチを操作して､赤線に1文字目を合わせます。

順方向に微少送り：「**ロード退避**」スイッチを押したまま､「**改頁**」スイッチを押します。



逆方向に微少送り：「**ロード退避**」スイッチを押したまま､「**改行**」スイッチを押します。




参考

順方向、逆方向での微少送りピッチは0.14mm（1/180インチ）です。

8 用紙頭出し位置が基準位置［1文字目の中心で6.35mm（1/4インチ）］になったら、スイッチから指を離します。

指を離した位置が、新しい頭出し位置として記憶されます。

注

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2〜3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

●連続紙のカット位置を補正する

連続紙のカット位置を調整することができます。

注 プリンタのページ長設定が、実際の用紙と合っていないと、正常に調整できません。

1 「連続紙をセットする」（119ページ）を参照して、用紙をセットしてください。

参考 用紙を1ページ余分に紙送りしておくと、調整がしやすくなります。用紙セット後、「印字可」スイッチを押してオフライン状態にします。その後「改頁」スイッチを押して、1ページ分紙送りを実行します。

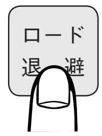
5章

2 「**印字可**」ランプが点灯していることを確認します。

「印字可」ランプが消灯している場合には、「印字可」スイッチを押し、オンラインにします。

3 「**ロード退避**」スイッチを押します。

注 カット送り動作後も「ロード退避」スイッチを押したままにしてください。

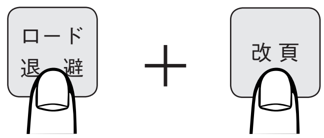


アクセスカバーのカッタ部付近にミシン目を送り出し、「用紙」ランプが点滅します。

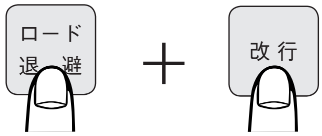
4 ミシン目の位置を調整します。

ミシン目の位置がアクセスカバーのカッタ部に合うように、以下の操作を行います。

順方向に微少送り ：「**ロード退避**」スイッチを押したまま、「**改頁**」スイッチを押します。



逆方向に微少送り：「**ロード退避**」スイッチを押したまま、「**改行**」スイッチを押します。



参考　順方向、逆方向での微少送りピッチは0.14mm（1/180インチ）です。

5 ミシン目の位置がアクセスカバーのカッタ部に合ったところで、スイッチから指を離します。

指を離した位置が、新しい頭出し位置として記憶されます。

注

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2〜3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。
- それ以上調整できない位置まで用紙を送ると、「用紙」ランプが点滅から点灯にかわります。

プリンタの便利な機能

●1文字目の印字位置を設定する

1文字目の印字位置を、任意の位置に設定することができます。
1文字目印字位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置をいいます。メニュー設定値以外の値を使いたいときに、使用します。

注 メニューで「プルトラクタ」を「有り」に設定していると、本操作は無効です。
はがき縦/横または往復はがき縦/横の用紙モードが設定されている場合は、本操作は無効です。

1文字目印字位置には、次のものがあります。
- プリンタが本来から持っている値（初期値）
- 電源を投入している間のみ記憶している値（一時的な設定）
- 新たに設定され、電源を切ってもメモリ内に記憶し続ける値（恒久的な設定）

参考 1文字目印字位置の設定は、単票（単票手差し，カットシートフィーダ），帳票（リアトラクタ，ボトムトラクタ）で、それぞれ別に設定できます。

1 プリンタの電源スイッチを「**ON**」にします。

用紙が給紙されていた場合は、排出します。

2 用紙切り替えレバーを、用紙の種類に応じてセットします。

3 横方向の1文字目の位置を合わせます。

単票手差しの場合は、ペーパガイドを調整します。
カットシートフィーダの場合は、用紙ガイドを調整します。
連続紙の場合は、ピントラクタを調整します。

4 単票手差しの場合はシートガイドに、カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに、用紙をセットします。

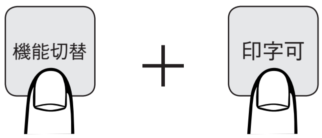
5 「印字可」ランプが消灯していることを確認します。

「印字可」ランプが点灯している場合、「印字可」スイッチを押してオフライン状態にします。

6 「**機能切替**」スイッチを押しながら「**印字可**」スイッチを押します。

1文字目印字位置設定モードになります。

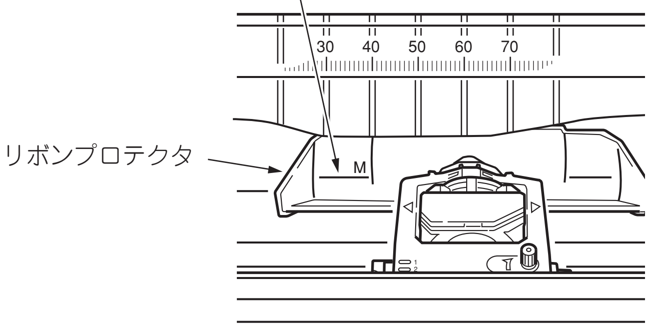
用紙を用紙上端より1/4インチの位置まで吸入したあと、「高速」ランプが点滅します。



7 縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

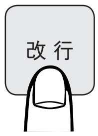
①1文字目の中心位置がどこになるか、確認します。

リボンプロテクタの赤線が、1文字目の下端になります。

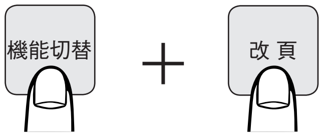


②以下のスイッチを操作して、赤線に1文字目を合わせます。

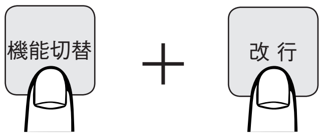
順方向に1改行　：「**改行**」スイッチを押します。



順方向に微少送り：「**機能切替**」スイッチを押しながら、「**改頁**」スイッチを押します。



逆方向に微少送り：「**機能切替**」スイッチを押しながら、「**改行**」スイッチを押します。



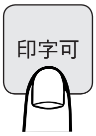
参考　順方向、逆方向での微少送りピッチは0.14mm（1/180インチ）です。

8 1文字目印字位置が決まったら、恒久的な設定または、一時的な設定をします。

〔恒久的に設定する場合〕

•「**印字可**」スイッチを押します。

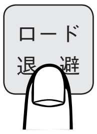
：スイッチを押した時点の位置がメモリに記憶され、1文字目印字位置まで用紙が送られます。以後この位置が1文字目印字位置になります。
設定した値は、次に変更するまで継続されます。



〔一時的に設定する場合〕

•「**ロード退避**」スイッチを押します。

：スイッチを押した時点の位置が一時的に記憶され、1文字目印字位置まで用紙が送られます。
設定した値は、電源を投入している間と、I-PRIME受信まで継続されます。



注

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2～3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

●1文字目印字位置をリセットする

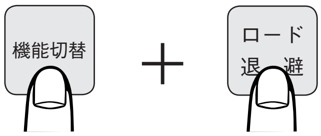
〔恒久的な設定のリセット〕

「恒久的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、6.35mm(1/4インチ)（工場出荷時設定）になります。

参考　メニュー設定内容を初期化した場合も、リセットされます。
（145ページ）

1　157ページの1～6の手順を行い、1文字目印字位置設定モードにします。

2　「**機能切替**」スイッチを押しながら、「**ロード退避**」スイッチを押します。



〔一時的な設定のリセット〕

「一時的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、メニューで現在セットされている値になります。

1　電源を入れ直します。

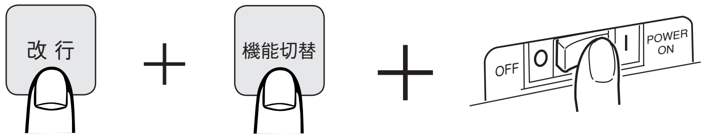
●HEXダンプをとる

HEXダンプモードでは、受信したデータをすべて16進数で印字します。
ホストコンピュータからプリンタに正しいデータが送られているか、確認できます。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**改行**」+「**機能切替**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。



3 プリンタに用紙をセットして、印字データを送ります。

用紙を吸入した後、「Hex Dump Mode」と印字されます。
受信したデータが全て16進数で印字されます。

4 電源スイッチを「**OFF**」にすると、HEXダンプモードは解除されます。

注 HEXダンプ印字を行う場合には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅の連続紙を使用してください。

●バーコードの印字

このプリンタには、バーコードを印字する機能があります。
ここでは、概要を説明します。コントロールコマンドについては、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで「拡張コントロールコマンドの仕様」が格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

注 Windows環境では使用できません。

◆バーコードの種類

このプリンタで印字できるバーコードの種類は、下表のとおりです。

バーコードの名称	文字種	桁数
NW-7	データ ： 数字0～9 記号 - ＄ . / : + ￥ スタート/ストップ ： a b c d e t n ＊	可変(20) ： 180DPIのとき 可変(30) ： 360DPIのとき
JAN標準	データ ： 数字0～9	12+CD(13)
JAN短縮	データ ： 数字0～9	7+CD(8)
Code_39	データ ： 数字0～9 英字A～Z 記号 - ＄ . / + % (SP) スタート/ストップ ： ＊	可変(20)
Interleaved 2 of 5	データ ： 数字0～9	可変(20)
カスタマバーコード	データ ： 数字0～9, 英字A～Z 記号ー	可変 (Min 7, Max 23)
Code 128	データ ： Set A 00H～66H Set B 19H～7FH Set C 30H～3CH	可変(40) ： 360DPIのとき

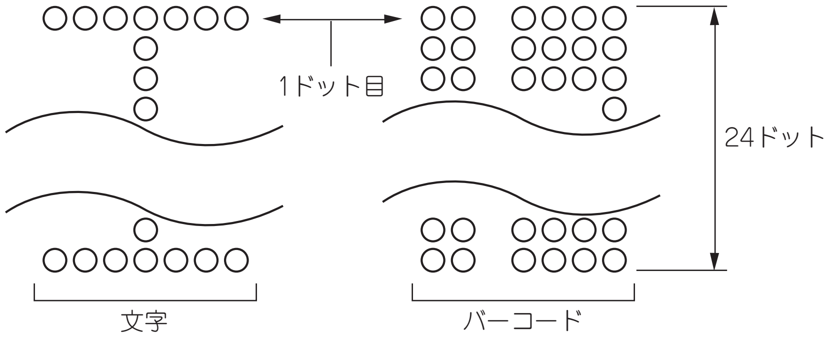
- CD : チェックディジットを示します。
- 桁数の（　）内は最大桁数を示します。

参考 カスタマバーコードとは、あらかじめ郵便物にバーコードを印刷し、料金割引を受けようとするものです。
詳しくは、日本郵便のホームページをご覧ください。

〔NW-7, JAN標準/ 短縮, Code 39, Interleaved 2 of 5, Code 128〕

◆バーコードの印字位置

バーコードの印字位置は、文字およびイメージデータと同様に、縦1ドット目をバーコードの1ドット目とし、縦24ドットで印字します。



- バーコードと文字が同一行に混在する次のような場合、改行量を調整しながら印字させる必要があります。



【文字の改行ピッチが1/6インチの場合】

① バーコード前の文字データ（亜, 唖）とスペース, バーコード印字コマンド（バーエレメント指定）および、バーコード後のスペースと文字データ（亜, 唖）を送信。
（バーコード印字コマンド受信後、印字起動となる。）
② 印字復帰コマンド、および24/180インチの改行コマンドを送信。
③ 手順1〜2を繰り返します。

◆バーコードご使用時のご注意

- バーコード印字コマンドで印字するバーコードは、ドットを組み合わせて印字するため、本来の規格と多少異なる場合があります。このプリンタで印字されたバーコードの読み取りに関しては、お客様が読み取り確認された上で、ご使用ください。
- 印字が薄くなったインクリボンでバーコードを印字すると、読み取れない場合があります。バーコードを印字する場合は、新しいリボンカートリッジを使用してください。

5章

〔カスタマバーコード〕

◆カスタマバーコードの生成

カスタマバーコードに必要な文字情報は、新郵便番号と住所表示番号です。

新郵便番号 .... 町域名までの住所に設定された新郵便番号です。
住所表示番号............... 町域名以降の住所からバーコードに必要な文字情報を ハイフンで結んだものです。
ビル,マンション等の棟・室番号も含みます。

例）東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
↓ 100-0013（新郵便番号）　↓ 1-3-2-503（住所表示番号）

① 住所 ：〒100-0013
東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
② 新郵便番号＋住所表示番号変換 ：100-0013　1-3-2-503
③ 新郵便番号の3～4数桁目のﾊｲﾌﾝを省く：10000131-3-2-503
④ カスタマバコード桁調整 ：10000131-3-2-503　CC4 CC4 CC4 CC4
⑤ ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(CD) 算出 ：1+0+0+0+0+1+3+1+10+3+10+2+10+5+0+3+14+14+14+14
=105+CD=19の倍数
→CD=114(19の倍数)-105=9
⑥ ｽﾀｰﾄｺｰﾄﾞ,ｽﾄｯﾌﾟｺｰﾄﾞ,ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを付加：STC 1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
⑦ ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字ｺﾏﾝﾄﾞ送信

注 スタートコード,ストップコードおよびチェックディジットはプリンタが付加します。
送信するバーコードデータは"1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3"となります。

参考 スタートコード，ストップコードおよびCC1～CC8を付加する場合は、下表（表1）の数字に置き換えて送信してください。
本コードは本プリンタで独自に割り当てたもので、日本郵便のカスタマバーコードの仕様にはありません。また､本コードはバーコード印字コマンド(カスタマバーコード指定)のときのみ有効です。

［表1］

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	STC	SPC	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
ﾃﾞｰﾀ送信用数字	02	03	11	12	13	14	15	16	17	18

（16進）

◆チェックディジットの計算方法

チェックディジットは、新郵便番号と住所表示番号の各バーコード用キャラクタをチェックディジット計算対応表(表2)からチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

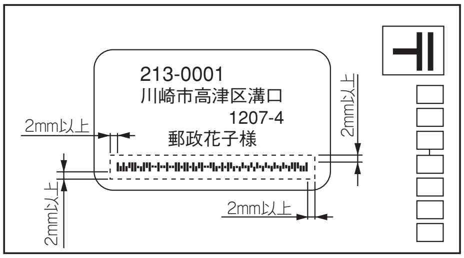
［表2］

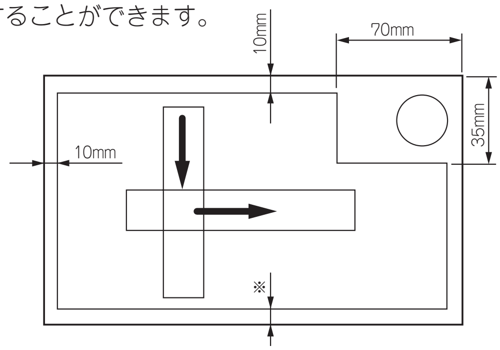
ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ﾁｪｯｸ用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
ﾁｪｯｸ用数字	10	11	12	13	14	15	16	17	18

◆カスタマバーコードの印字位置

カスタマバーコードの上下左右には、2mm以上の空白を設けるものとします。ただし、窓枠とカスタマバーコードの間の空白は、封筒と内容物のズレにかかわらず、常に上下左右とも2mm以上を確保するものとします。
宛名を横書きする場合は、最下行(宛名氏名の直下)にカスタマバーコードを単独で印字することとし、宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印字することとします。
なお、カスタマバーコードは、下図のように郵便物の表面の縁から10mmおよび消印領域である70mm×35mmを除いた範囲内に印字することができます。





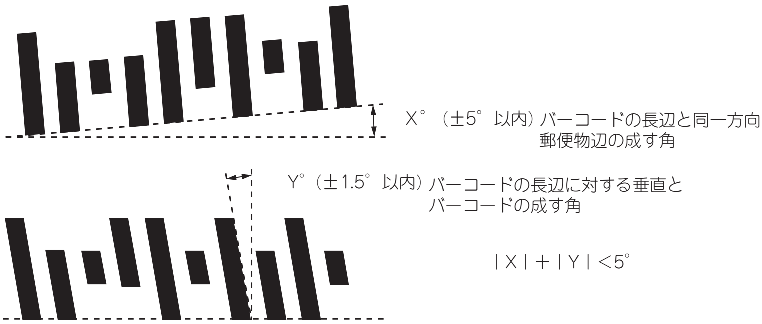
※部は、できる限り縁から15mm以上

◆カスタマバーコードが印字される下地

カスタマバーコードが印字される下地は、白色または地模様のない淡い色とします。

◆カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が5度以内になるようにします。またバーコードの長辺に対する垂線とバーコードとの成す角は1.5度以内になるようにするものとし、上記2つが混在する場合には、2つの傾きの絶対値を加えたものが5度以内になるようにします。



◆使用するインクリボン

印刷色黒色のインクリボンを使用してください。 印字が薄くなったインクリボンを使用すると、読み取りができなくなる場合があります。

◆印字品質

カスタマバーコード印字面には、反射率50%以上の紙を使用し、印字面とカスタマバーコードとの反射率PCS(Print Contrast Signal)は、0.6以上とします。
また、カスタマバーコードには、インクのにじみやかすれなどが極力ないものとします。
インクリボンが新品の場合、インクのにじみが生じることがあります。

（MEMO）

6　オプション

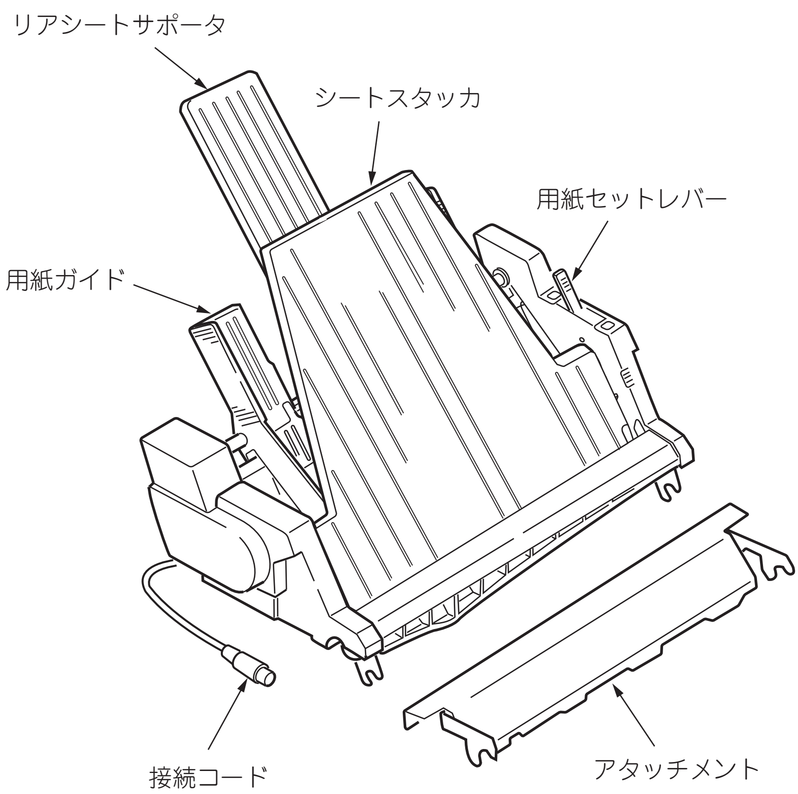
～取り付けから使い方まで～

カットシートフィーダ

プリンタにカットシートフィーダ（CSF）を取り付けることにより、単票やはがきを自動的に連続給紙できます。

注 カットシートフィーダでは複写紙は使用できません。

●外観と各部の名称

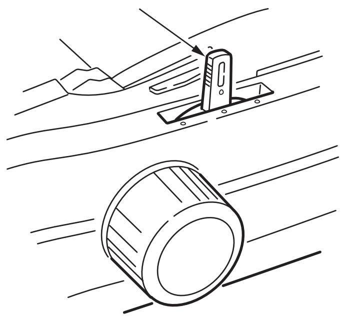


●カットシートフィーダの取り付け, 取り外し

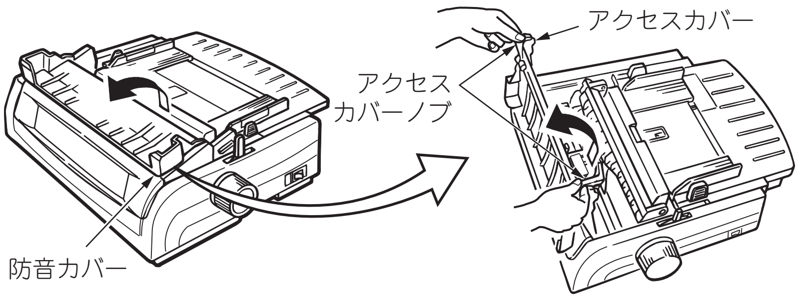
注✓
- カットシートフィーダの接続コードは、必ずプリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから、抜き差しを行ってください。
- カットシートフィーダを取り付けているときは、単票手差し, リアトラクタ, プルトラクタ, ボトムトラクタおよびロールペーパスタンドは使用できません。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。



3 防音カバーとアクセスカバーを両手で開きます。



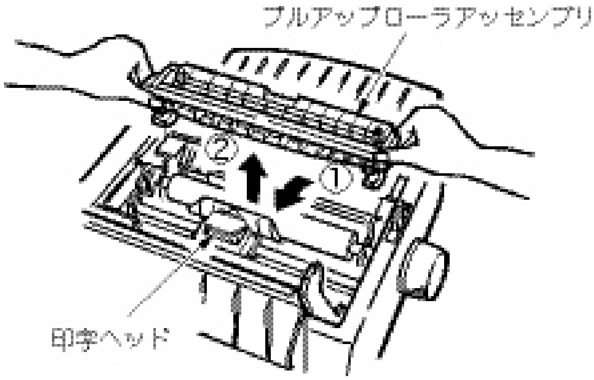
注✓ アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

4 印字ヘッドが中央にあるのを確認します。

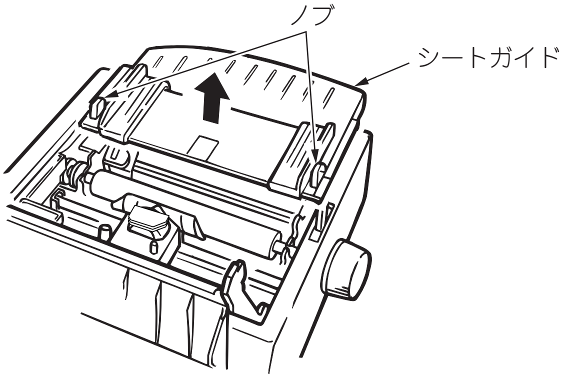
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 プルアップローラアッセンブリを静かに前方に動かしてロックを外した後、取り外します。

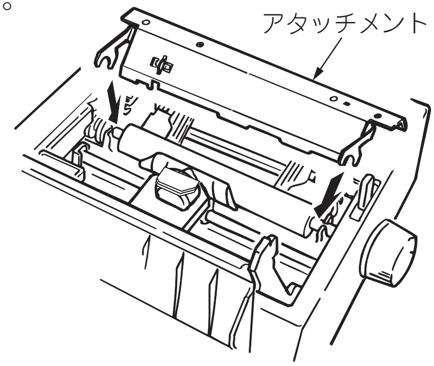


6 ノブを持ってシートガイドを取り外します。

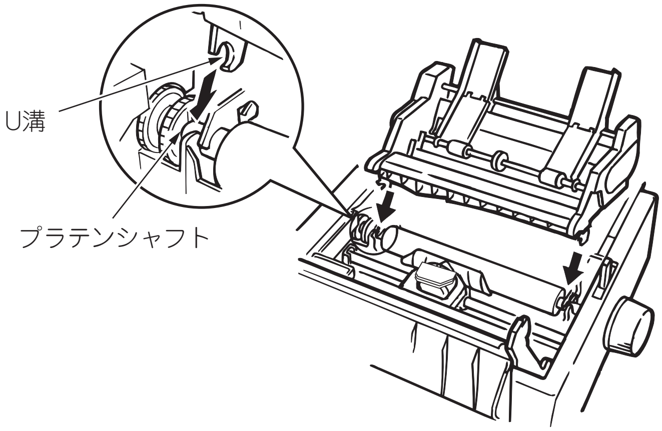


取り外したシートガイドは使用しませんので、大切に保管してください。

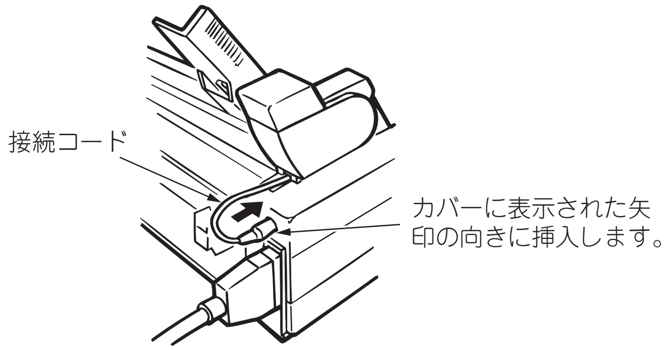
7 アタッチメントの両側のU溝をプラテンのシャフトに差し込みます。



8 カットシートフィーダの両側のU溝をプラテンシャフトに差し込み、そのまま、静かに下ろします。



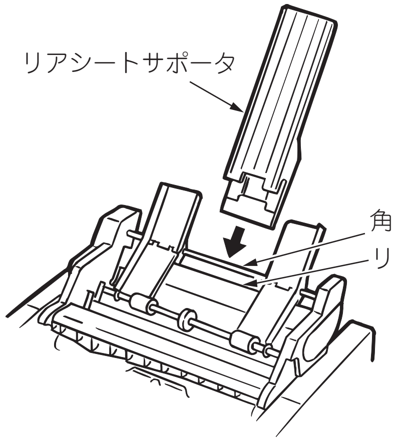
9 カットシートフィーダの接続コードをプリンタ後部のコネクタに接続します。



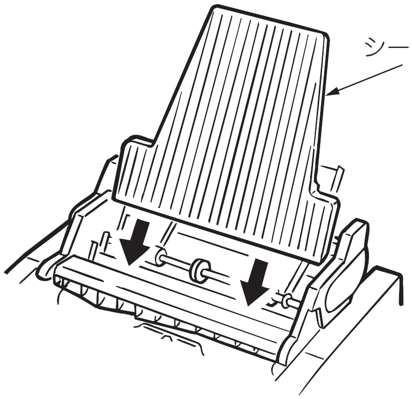
注 コネクタの向きを間違えたり、無理矢理挿入しないでください。コネクタが破損する恐れがあります。

10 リアシートサポータを取り付けます。

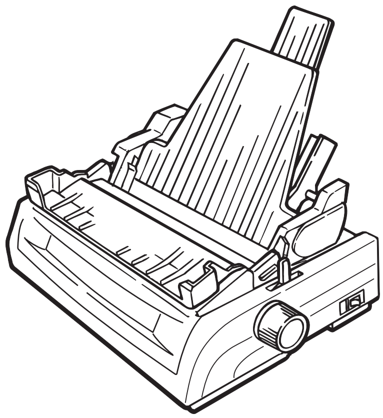
角パイプシャフトに引っ掛けるのと同時に、リアシートサポータの下端をリアビームにしっかり差し込みます。



11 シートスタッカを差し込みます。



12 アクセスカバーを閉じます。



カットシートフィーダの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

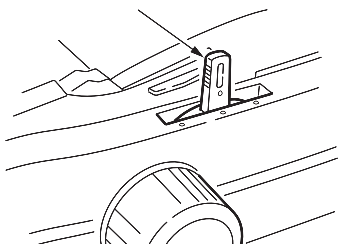
●単票のセット

用紙をまとめてカットシートフィーダにセットします。
次の手順に従って、用紙をセットしてください。

注✓ 使用できる用紙は、単票とはがきです。複写紙は使用できません。
用紙の挿入方向, 用紙の規格については、「用紙規格および印字範囲」（243ページ）を参照してください。

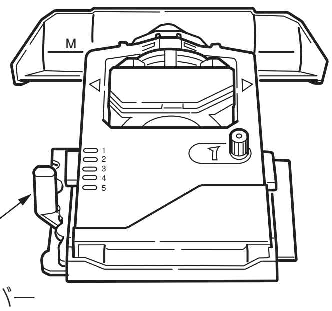
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。

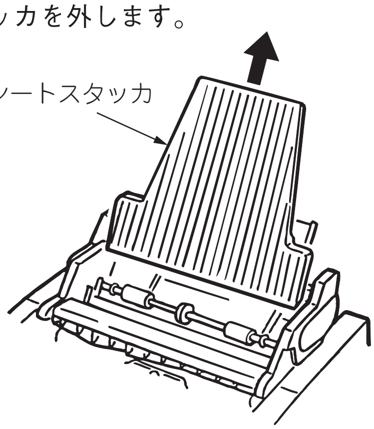


3 アクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。

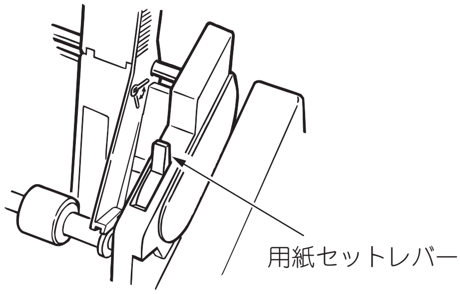


4 シートスタッカを外します。



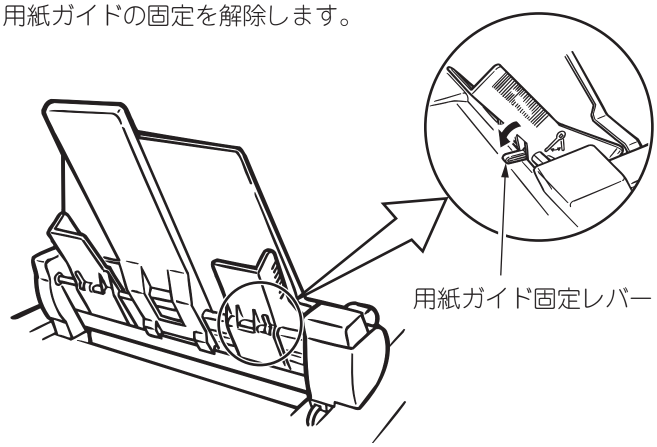
6
章

5 用紙セットレバーを「**RESET**」にします。

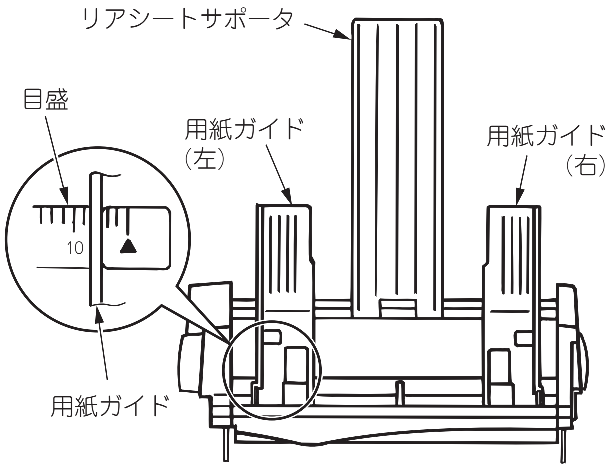


6 左右の用紙ガイド固定レバーを下げます。

用紙ガイドの固定を解除します。



7 目盛の「▲」マークが1文字目の中心になるように用紙ガイド（左）の位置を決め、用紙ガイド固定レバーを上げて固定します。



参考　はがきをセットする場合には、リアシートサポータを外してください。

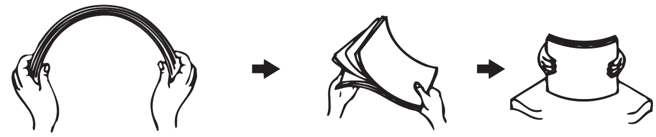
8 用紙ガイド（右）を用紙サイズに合わせます。

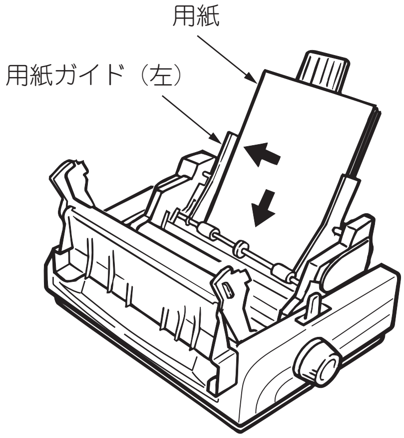
9 リアシートサポータを左右の用紙ガイドの中央に移動します。

10 用紙の左端を用紙ガイド（左）に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

印刷する面を裏側にします。

折り曲げて用紙の端をずらす　解きほぐし　そろえる



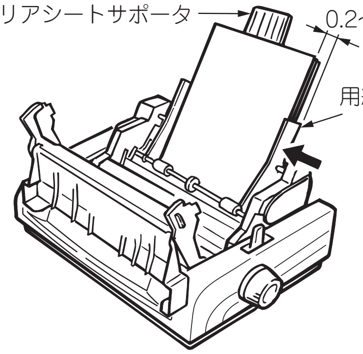


注

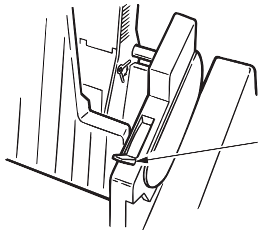
- 用紙は、よくさばき、上下左右をそろえてください。
- 用紙ガイドの赤線を超えないよう、用紙をセットしてください。
  一般紙の場合、連量55kg用紙で約180枚です。
  はがきの場合、郵便はがきで約50枚です。
- B4のような大きなサイズの場合は、総紙厚10mm以下にしてください。
- 折り目, しわ, 傷, 反りがあるもの, 用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質, 厚さ, 大きさの異なる用紙を、混ぜて使用しないでください。
- 郵便はがきの両面に印字する場合は、片面の印字後、反りをなくしてから反対側の面を印字してください。
- 最後の用紙の給紙が不安定となることがありますので、最後の用紙は使用しないようにしてください。また、用紙残量が少なくなった場合には、用紙を補充してください。

6
章

11 用紙ガイド（右）を用紙の幅に合わせ、用紙ガイド固定レバーを上げて固定します。

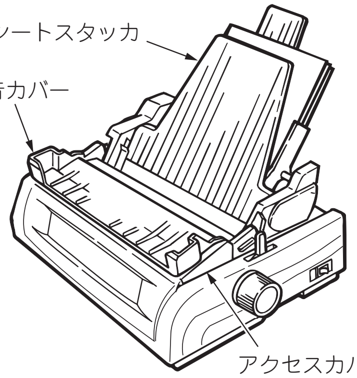


12 用紙セットレバーを、静かに「**SET**」にします。



13 シートスタッカを差し込み、アクセスカバーを閉じ、電源スイッチを「**ON**」にします。

防音カバーは開いたままにします。

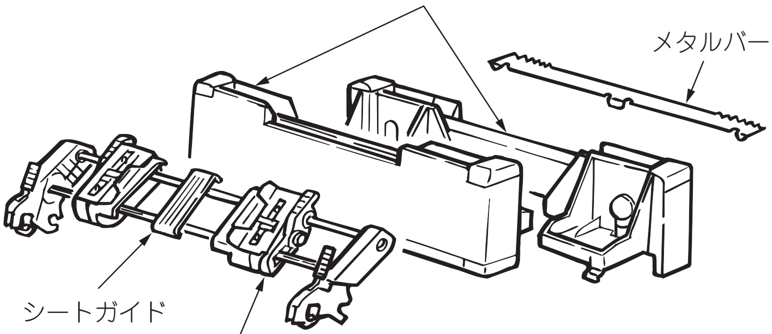


注
- はがき, 往復はがき, または､A5, A6用紙を使用時は「機能切替」+「ロード退避」スイッチを押して、使用する用紙モードを設定（137ページ）してください。
  はがき縦/横または往復はがき縦/横の用紙モード中は、メニューの頭出し位置の変更は無効となり、1行目印字位置は6.35mmとなります。
- Windowsから印刷を行う場合は、プリンタドライバで用紙サイズを指定してください。この場合、スイッチによる用紙モードの設定は必要ありません。
- 使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、もう一度セットし直してください。
- 用紙を長時間カットシートフィーダに放置しないでください。
- カットシートフィーダの給紙の場合、用紙の逆改行量は1回の吸入に対して累計で1/3インチ以内です。

ボトムトラクタ

プリンタにボトムトラクタを取り付けることにより、連続紙をプリンタの下からまっすぐに給紙することができます。ラベル紙や厚い用紙を使用するのに適しています。

●外観と各部の名称



●ボトムトラクタの取り付け, 取り外し

注
- ボトムトラクタの取り付け, 取り外しは、必ずプリンタの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- ボトムトラクタを使用する際は、単票手差し, カットシートフィーダ, プルトラクタおよびロールペーパスタンドは使用できません。

1 プリンタの電源スイッチを「OFF」にします。

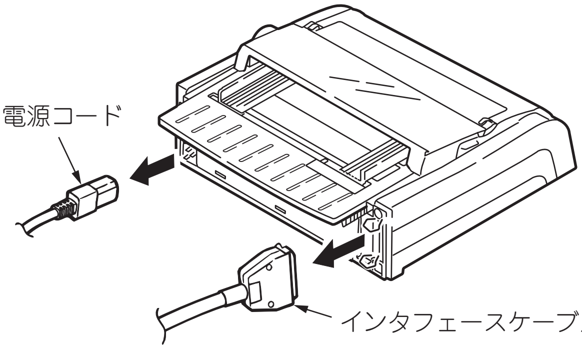
用紙がセットされているときは、排出してください。

2 電源コードおよびインタフェースケーブルを外します。

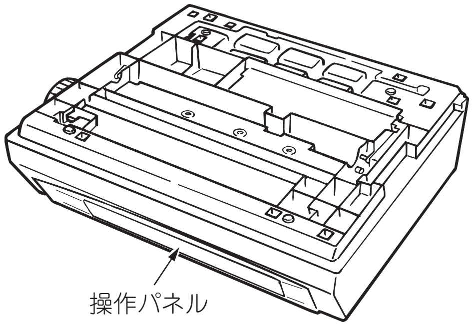
カットシートフィーダ等、他のオプションが装着されているときは、それらも取り外します。

⚠警告	感電の恐れがあります。	

危険防止のため、コード類の抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

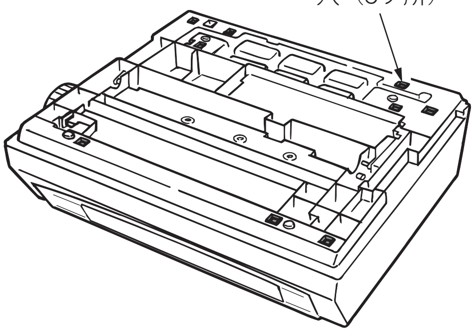


3 操作パネルを手前にして、プリンタの底面が上になるように静かに裏返します。

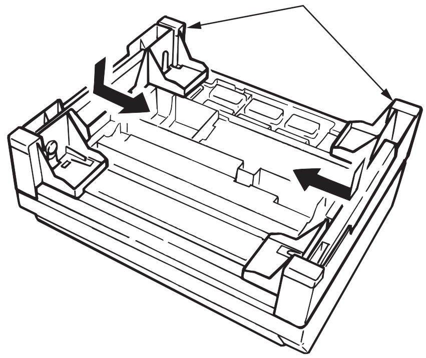


注　アクセスカバー , 防音カバーをきちんと閉じてください。カバー類が破損する恐れがあります。

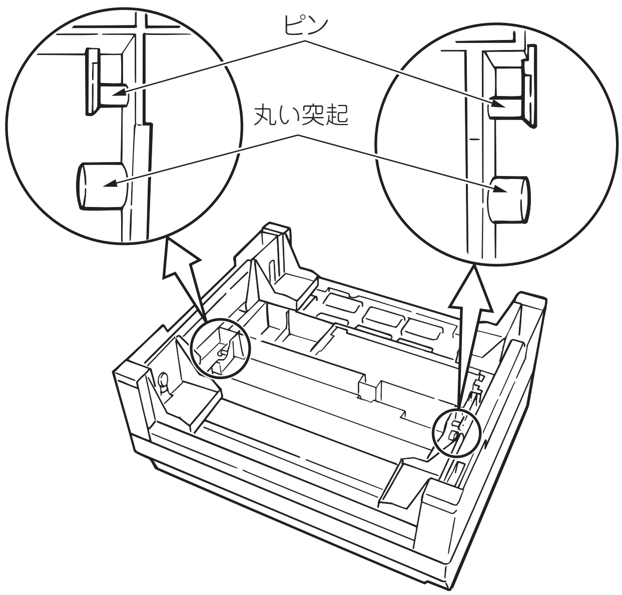
4 エクステンションサポートを取り付ける穴の位置を確認します。



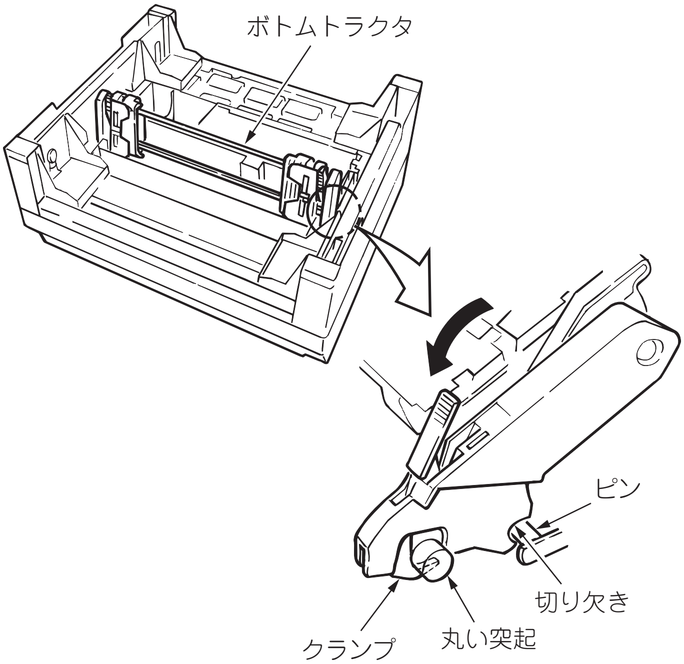
5 エクステンションサポートの突起をプリンタの穴に差し込み取り付けます。



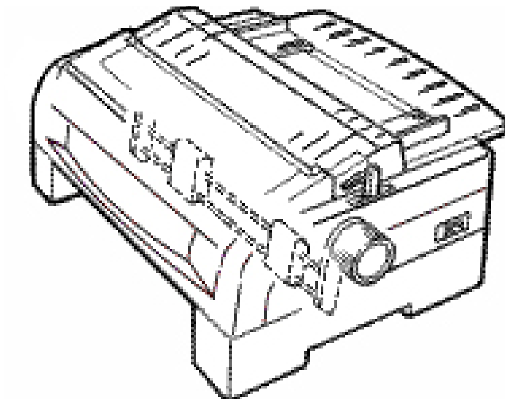
6 プリンタの底面にある、ピンと丸い突起の位置を確認します。



7 ボトムトラクタの両端の切り欠きをプリンタのピンに合わせ、ボトムトラクタを前方に倒し、クランプを丸い突起にはめ込みます。



8 プリンタを静かに戻します。



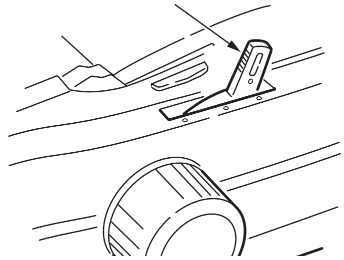
9 電源コードおよびインタフェースケーブルを取り付けます。

ボトムトラクタの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

●連続紙のセット

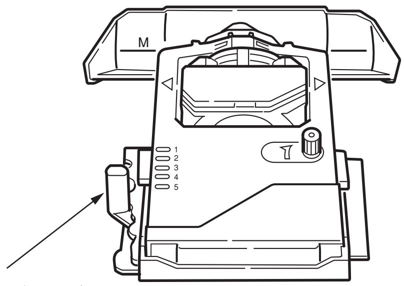
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 用紙切り替えレバーを**連続紙**「BOT」（後方）にします。



3 防音カバーとアクセスカバーを開け、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

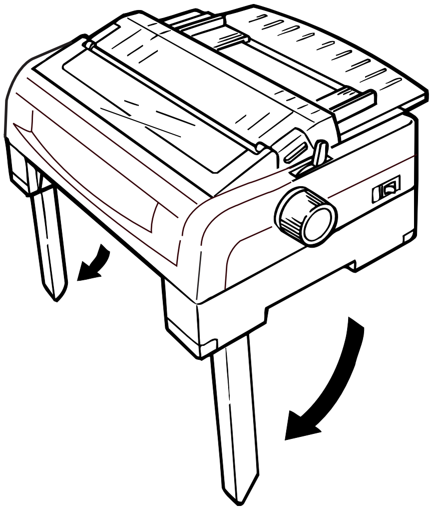
レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。



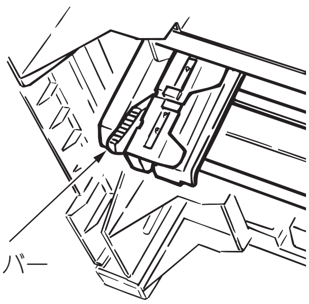
4 アクセスカバーを閉じます。

防音カバーは開いたままにします。

5 エクステンションサポートの足を立てます。

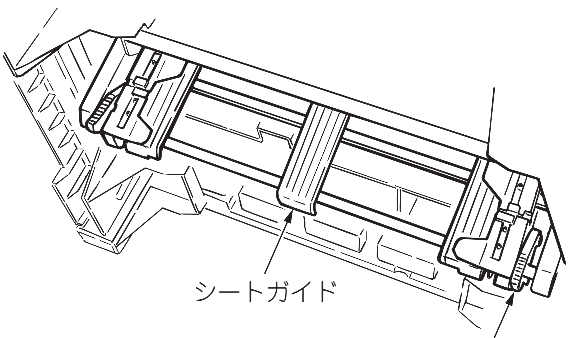


6 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。



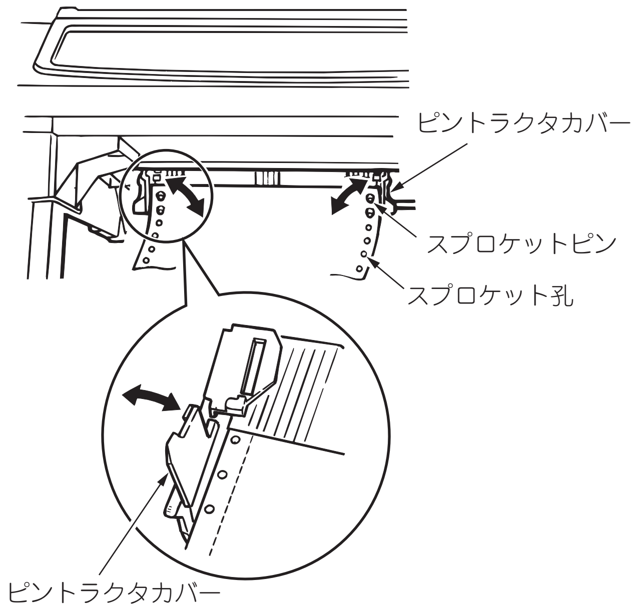
7 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。

シートガイドは、左右のピントラクタの中央に移動します。

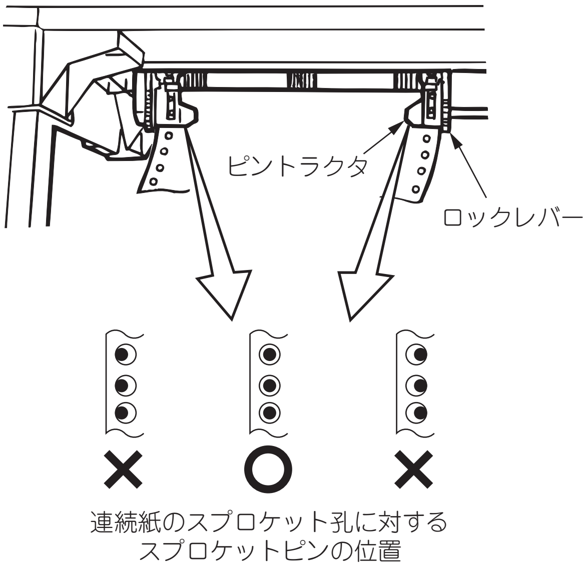


8 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 • 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。
• ピントラクタカバーは、手前側のみ開きます。

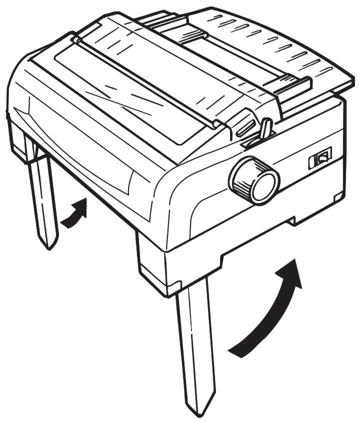


9 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。
その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。



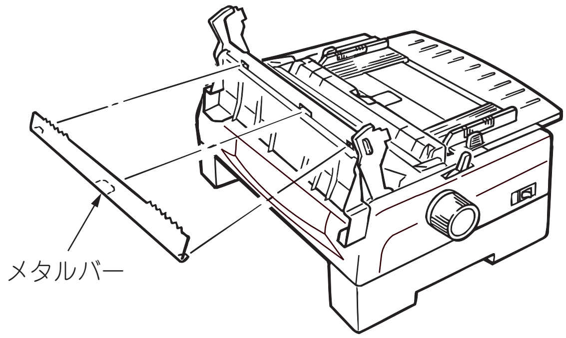
10 エクステンションサポートの足を元に戻します。

注✓ エクステンションサポートの足は、印刷中のプリンタを支えられません。印刷を始める前に確実に折りたたんでください。



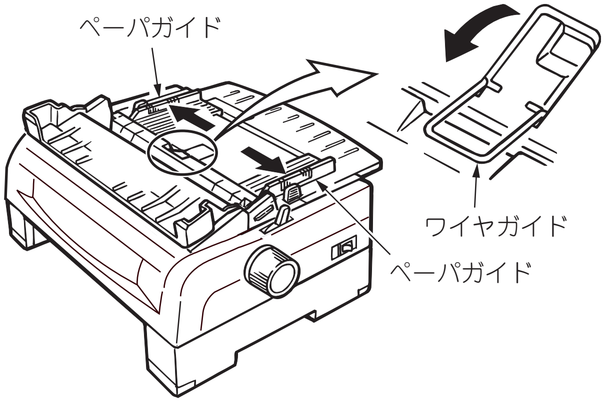
11 メタルバーの両面テープの剥離紙を剥します。

メタルバーの突起をアクセスカバーの細長い小さな穴に差し込み、アクセスカバーに貼り付けて取り付けます。



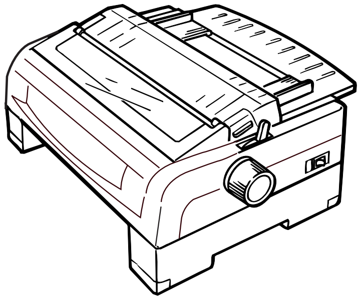
注✓ メタルバーのカッタ部は連続紙を切り取るときに使用します。

12 シートガイドのペーパガイドを左右いっぱいに移動し、ワイヤガイドを手前に倒します。



注✓ ワイヤガイドは、印刷済みの連続紙がカールしてプリンタ内に入り込むのを防ぎます。

13 防音カバーを閉じます。



14 電源スイッチを「**ON**」にします。

15 「**ロード退避**」スイッチを押します。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。

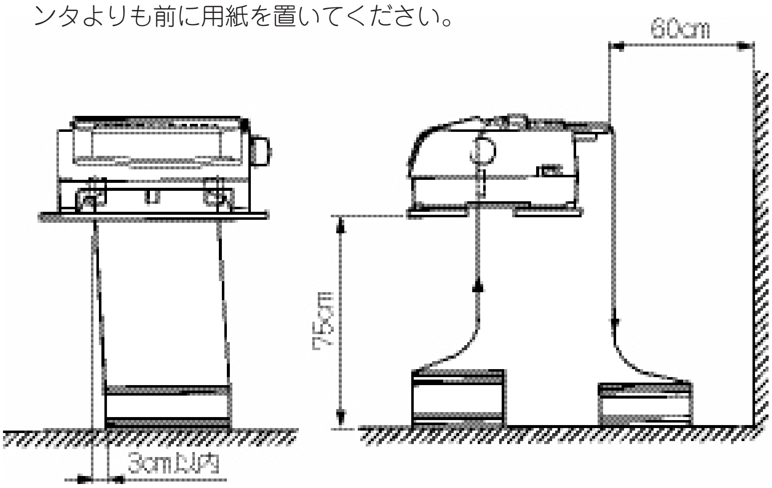
16 「**印字可**」スイッチを押します。

「印字可」ランプが点灯します。

注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

注 連続紙の置き方

- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm以内にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は、壁から60cm以上離してください。
- ボトムトラクタ用のプリンタスタンドがある場合は、プリンタの真下に用紙を置くことができます。プリンタスタンドがない場合は、プリンタよりも前に用紙を置いてください。

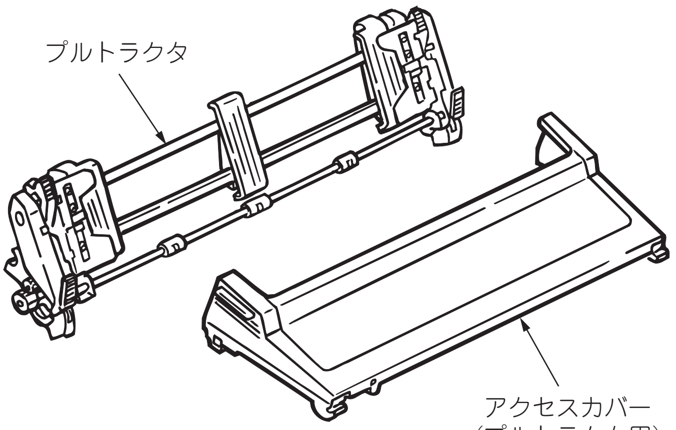


6
章

プルトラクタ

プリンタにプルトラクタを取り付けることにより、連続紙をプリンタの下からまっすぐ給紙することができます。ラベル紙や厚い用紙を使用するのに適しています。

●外観と各部の名称



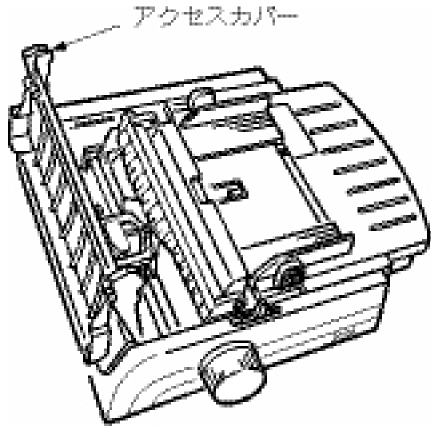
●プルトラクタの取り付け, 取り外し

注
- プルトラクタの取り付け, 取り外しは、必ずプリンタの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- プルトラクタを使用する際は、単票手差し, リアトラクタ, カットシートフィーダ, ボトムトラクタおよびロールペーパスタンドは使用できません。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

用紙がセットされているときは、排出してください。

2 アクセスカバーを取り外します。



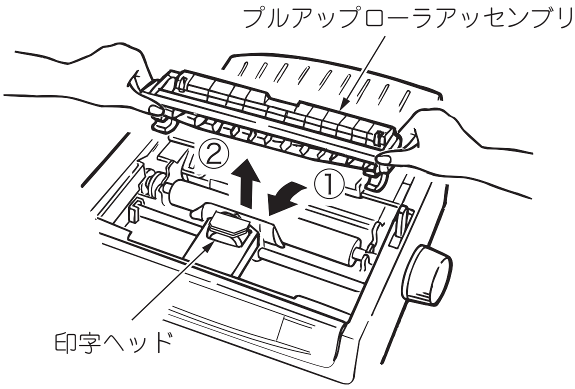
取り外したアクセスカバーは使用しませんので、大切に保管してください。

3 印字ヘッドが中央にあるのを確認します。

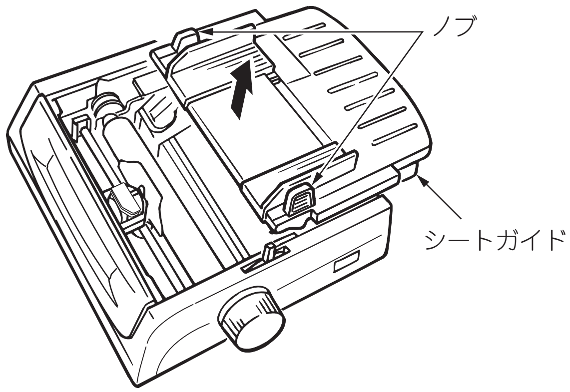
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は、印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

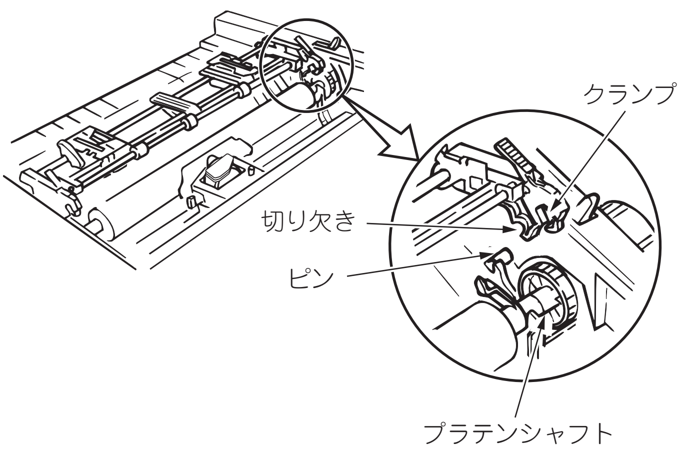
4 プルアップローラアッセンブリを静かに前方に動かしてロックを外した後、取り外します。



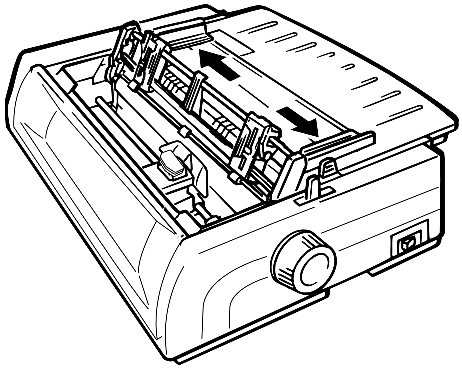
5 ノブを持ってシートガイドを取り外します。



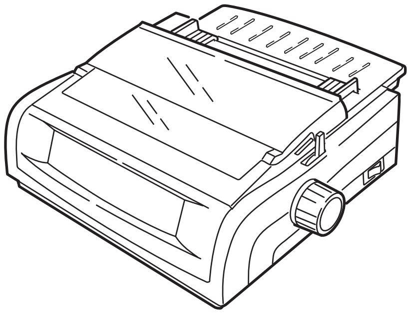
6 プルトラクタの切り欠きをプリンタのピンに合わせ、プルトラクタを前方に倒し、クランプをプラテンシャフトにはめ込みます。



7 シートガイドを取り付け、ペーパガイドを左右いっぱいに移動します。



8 プルトラクタ用のアクセスカバーを取り付けます。



9 メニュー設定で「プルトラクタ」を「有り」にします。

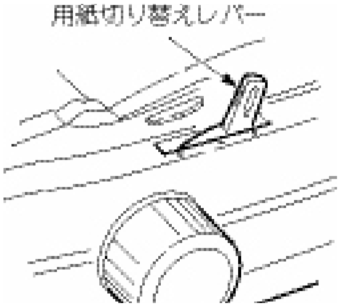
詳細は「メニュー項目一覧」(139ページ),「設定を変更する」(143ページ）を参照してください。

プルトラクタの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

●連続紙のセット

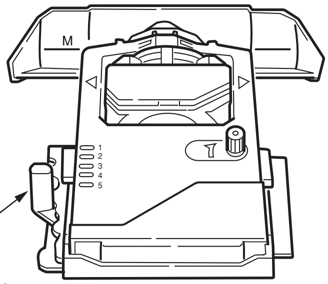
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 用紙切り替えレバーを**連続紙**「BOT」（後方）にします。

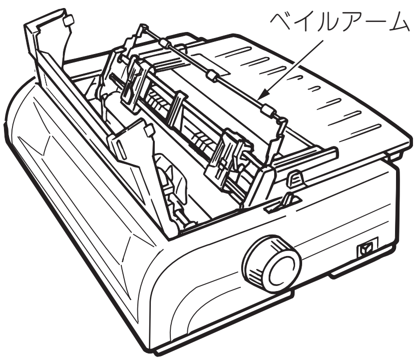


3 アクセスカバーを開け、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。

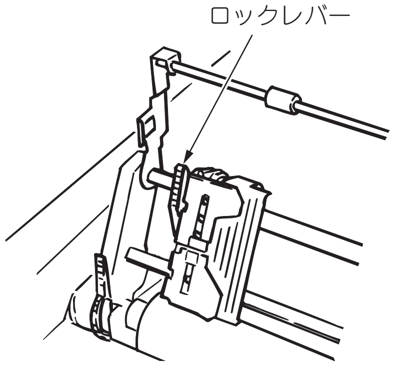


4 プルトラクタのベイルアームを開きます。

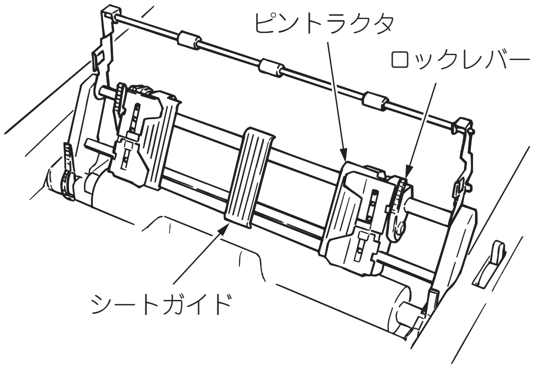


6章

5 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

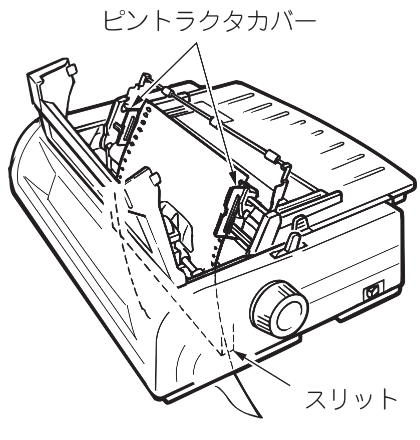


6 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。
シートガイドは､左右のピントラクタの中央に移動します。



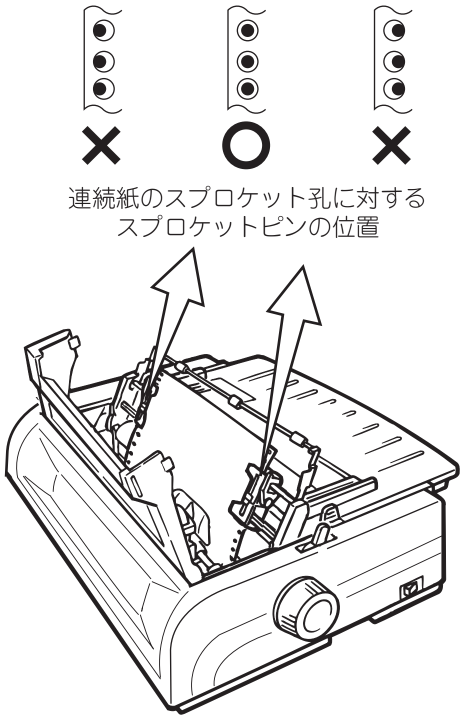
7 左右のピントラクタカバーを開いて、プリンタ下部のスリットから連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。

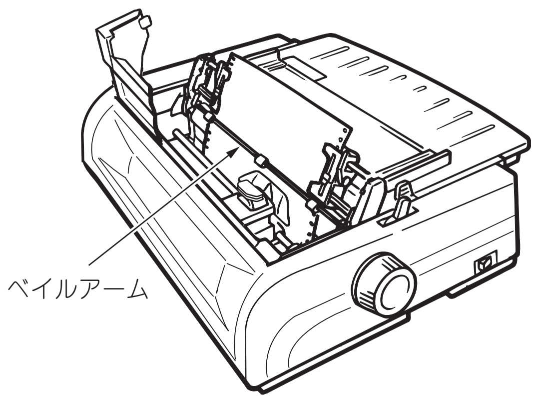


6章

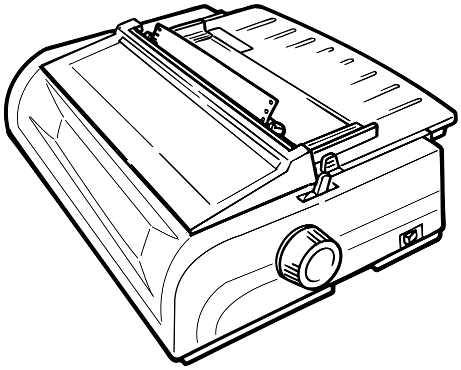
8 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。
その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。



9 ベイルアームを手前に倒し、連続紙に押しあてます。

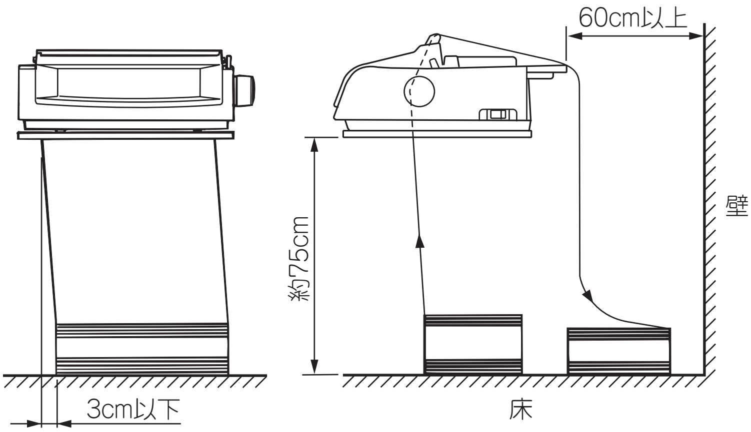


10 アクセスカバーを閉じます。



注 連続紙の置き方

- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。
  左右方向のずれは、3cm以内にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は、壁から60cm以上離してください。

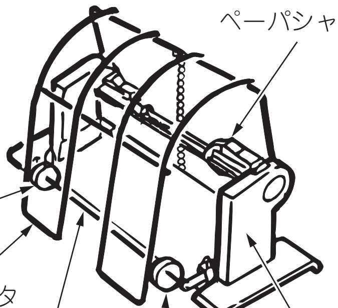


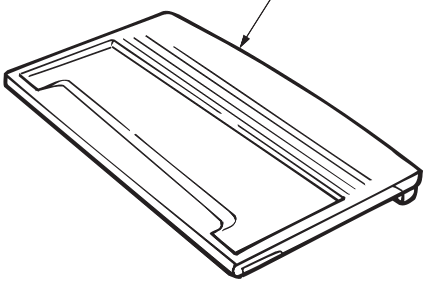
ロールペーパスタンド

プリンタにロールペーパスタンドを取り付けることにより、ロール紙を使うことができます。

注 ロールペーパスタンドはMICROLINE 50HUのみ取り付け可能です。
（MICROLINE 80HUには取り付けできません。）

●外観と各部の名称



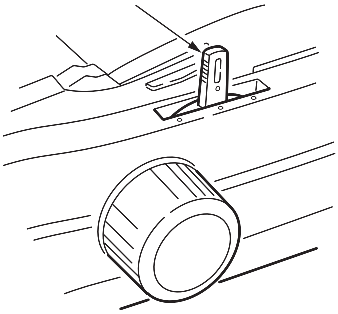


●ロールペーパスタンドの取り付け, 取り外し

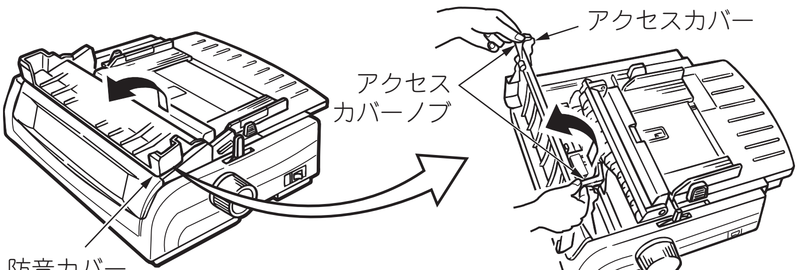
注
- ロールペーパスタンドの取り付け, 取り外しは、必ずプリンタの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- ロールペーパスタンドを使用する際は、単票手差し, リアトラクタ, カットシートフィーダ, ボトムトラクタおよびプルトラクタは使用できません。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 プリンタの用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。



3 防音カバーとアクセスカバーを開きます。



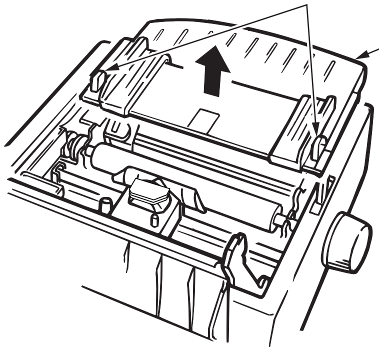
注 アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

4 印字ヘッドが中央にあることを確認します。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

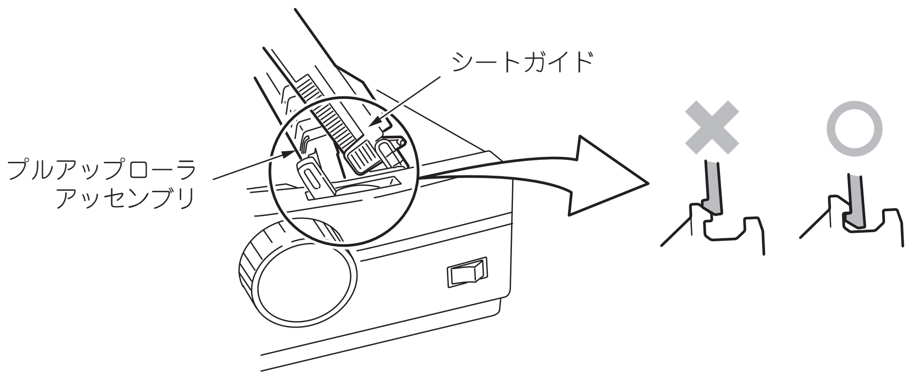
印字直後は、印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 ノブを持ってシートガイドを取り外します。

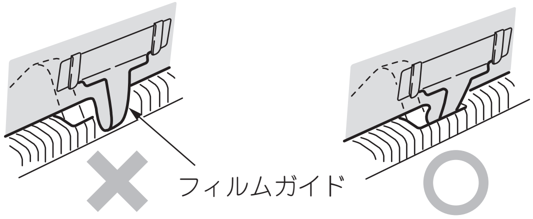


取り外したシートガイドは使用しませんので、大切に保管してください。

注 • シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取り付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。

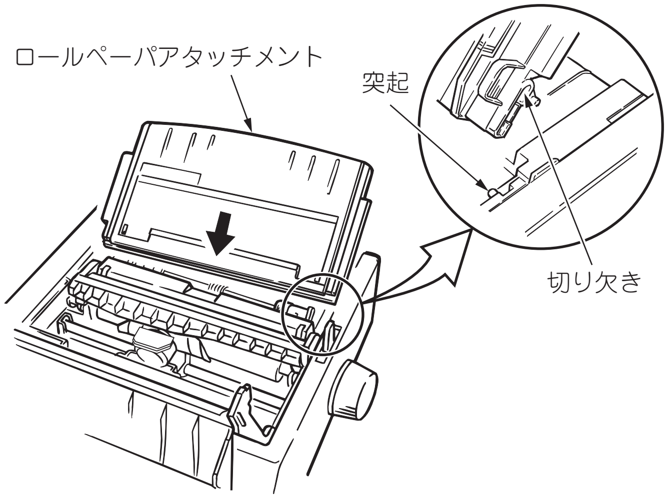


注 • プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。



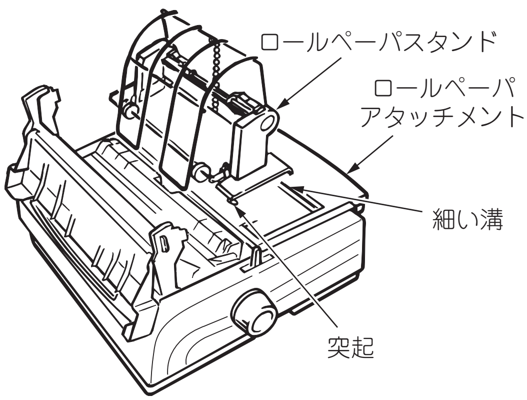
6

ロールペーパアタッチメントの両側の切り欠きをプリンタの突起に差し込み、そのまま下ろします。



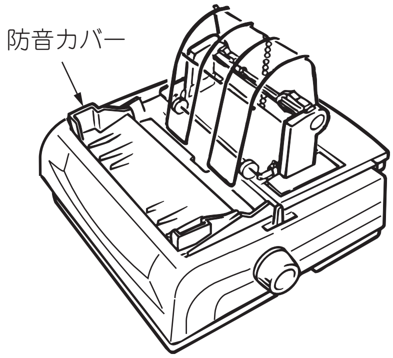
7

ロールペーパスタンドの突起をロールペーパアタッチメント前方の溝に入れ、ロールペーパスタンドを後方に倒し、細い溝にはめ込みます。

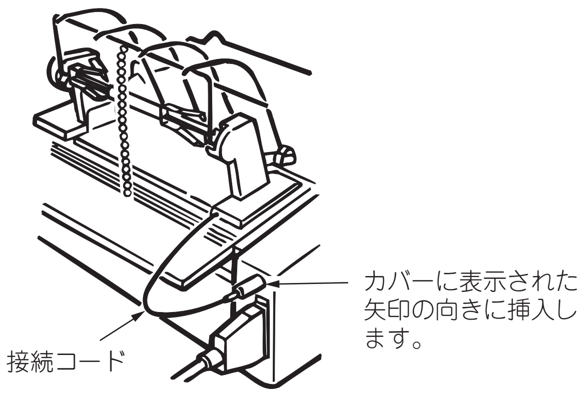


8 アクセスカバーを閉じます。

防音カバーは開いたままにします。



9 ロールペーパスタンドの接続コードをプリンタ後方にあるコネクタに差し込みます。



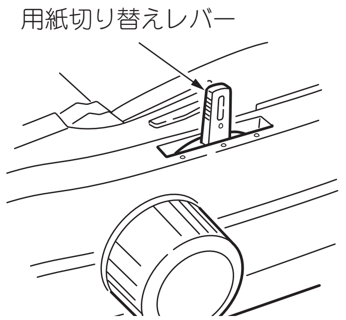
注 コネクタの向きを間違えたり、無理矢理挿入しないでください。コネクタが破損する恐れがあります。

ロールペーパスタンドの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

●ロール紙のセット

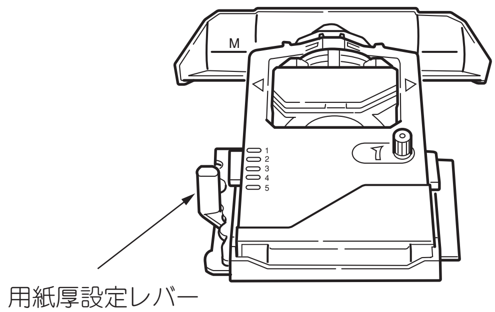
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。



3 アクセスカバーを開け、用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。

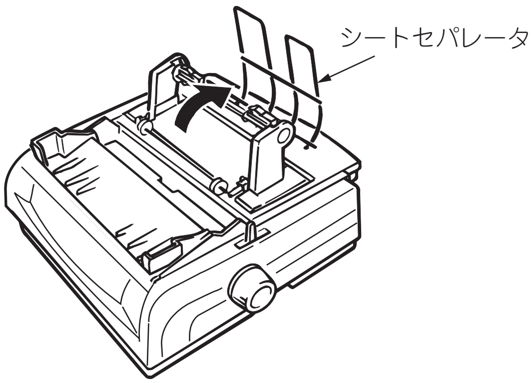
レンジ位置は「用紙の厚さに応じた調整方法」（132ページ）を参照してください。



4 アクセスカバーを閉じます。

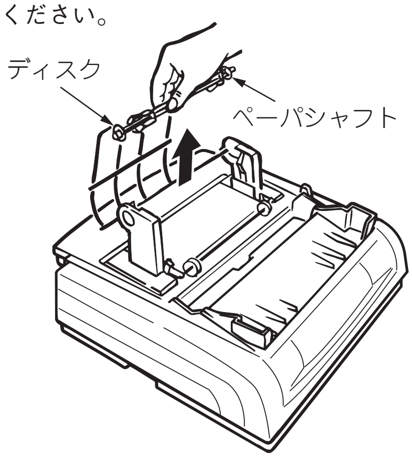
防音カバーは開いたままにします。

5 シートセパレータを後方に倒します。

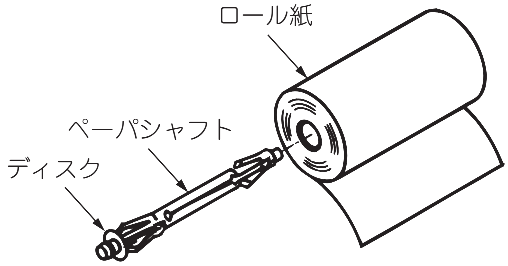


6 ペーパシャフトを取り外します。

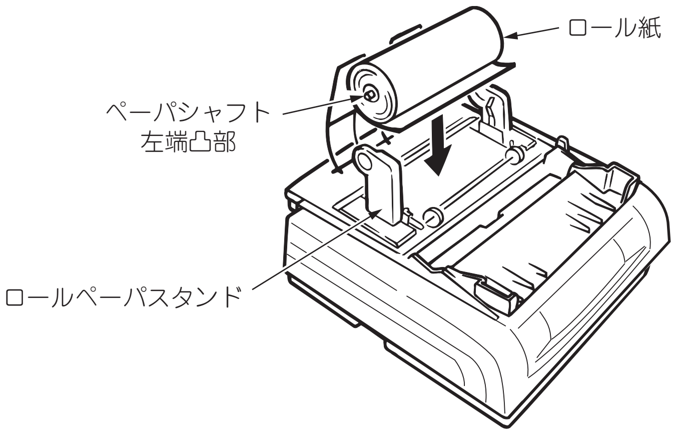
注✓ ペーパシャフト左端のディスクが外れないように注意してください。



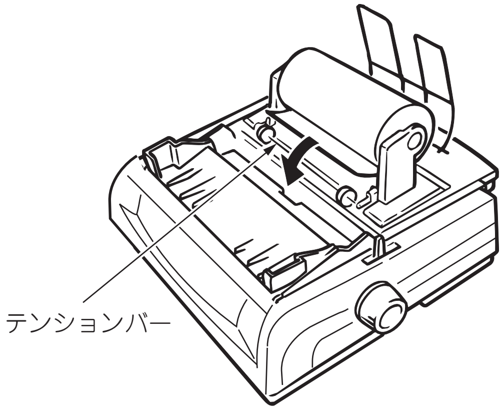
7 ロール紙を用紙の先端が手前下側になるようにして持ち、左側からペーパシャフトを挿入します。



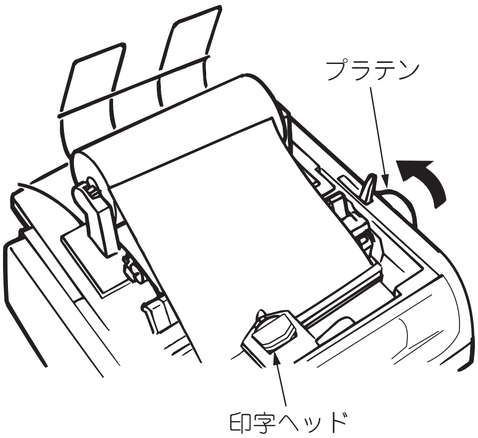
8 ペーパシャフト左端凸部をロールペーパスタンドの溝に合わせて、ロール紙をセットします。



9 テンションバーの上から用紙をプラテンへセットします。

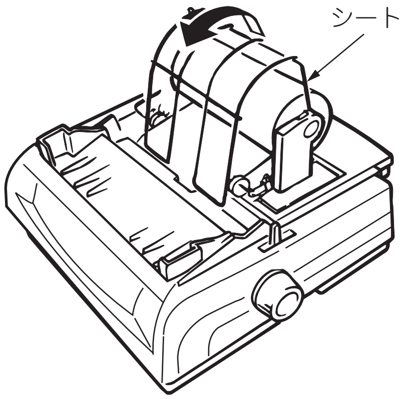


10 プラテンノブをまわして、用紙をロール紙のところまで送った後、用紙切り替えレバーを**連続紙**「REAR」（前方）に倒し、用紙の左右をロール紙に揃えます。



11 用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」に戻し、プラテンノブを逆に回して用紙を印字開始位置まで戻します。

12 シートセパレータを前方に倒します。



注

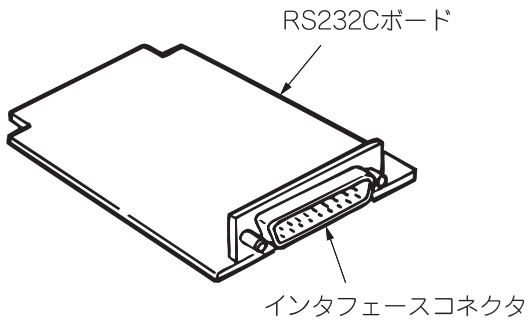
- ロールペーパスタンドで使用できる複写紙はオリジナル＋1枚までです。
- 用紙先端の左右をロール紙に合わせ、セットの曲がりを直してください。用紙を曲がってセットすると、用紙送り不良になります。
- ロールペーパスタンドを使用する場合には、プリンタドライバの給紙方法は「トラクタフィーダ」を選択してください。

RS232Cボード

RS232Cボードを取り付けることにより、シリアルインタフェースでデータを受信することができます。
シリアルインタフェースの機能は、メニューにより設定することができます。

注
- シリアルインタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータとプリンタのコネクタに合ったものを販売店でお求めください。
- RS232Cボードは、静電気によって傷がつくと正常に動作しないことがあります。注意して取り扱ってください。
- シリアルインタフェースでホストコンピュータに接続した場合、パラレルインタフェース、USBインタフェースとの同時接続はできません。同時に複数のインタフェースから印刷を行った場合、正しく印刷できないことがあります。

●外観と各部の名称



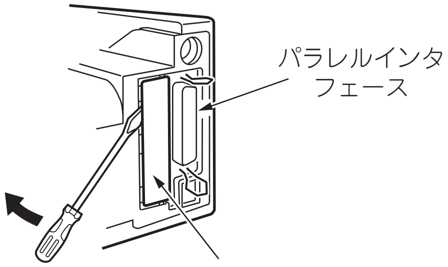
●RS232Cボードの取り付け, 取り外し

注 • RS232Cボードの取り付け, 取り外しは、必ずプリンタの電源を「OFF」にしてから行ってください。
• RS232Cボードを使用する際は、パラレルインタフェースケーブルおよびUSBインタフェースケーブルを外してください。

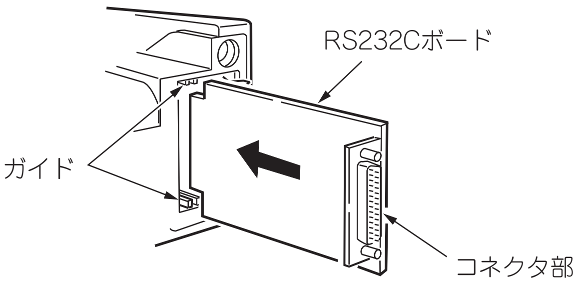
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 プリンタ後方のインタフェースカバーを取り外します。

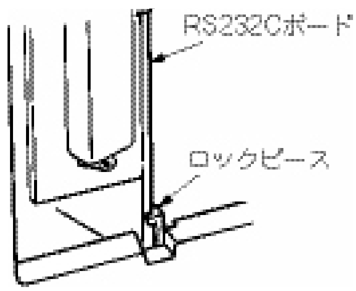
マイナスドライバを使い、取り外します。



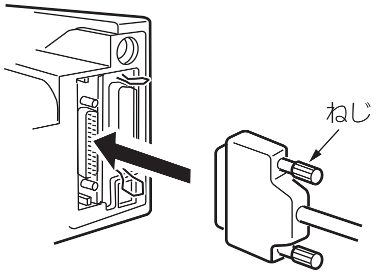
3 RS232Cボードのコネクタ部を持ち、上部と下部のガイドに合わせて静かにしっかり押し込みます。



4 奥まで突きあたると、ロックピースで固定されます。



5 インタフェースケーブルを接続し、ねじで固定します。



RS232Cボードの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

注 インタフェースケーブルを無理に引っ張らないでください。ボードが外れたり、コネクタが破損する恐れがあります。

6章

●シリアルインタフェースメニュー項目一覧

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
1	パリティ設定 ✎	パリティを設定します。	パリティなし 奇数パリティ 偶数パリティ
2	データビット長設定 ✎	データビット長を設定します。	8ビット 7ビット
3	プロトコル設定	プロトコルを選択します。	READY ／ BUSY X-ON ／ X-OFF
4	BUSYライン設定	BUSYラインを設定します。	SSD- SSD+ DTR RTS
5	ボーレート設定	伝送速度を設定します。	9600 BPS 4800 BPS 2400 BPS 1200 BPS 600 BPS 300 BPS 19200 BPS
6	DSR信号設定	DSR信号を設定します。	有効 無効
7	DTR信号設定	DTR信号を設定します。	パワーオン固定 SELECT ／ DESEL 切り替え
8	BUSY時間設定	最少BUSY時間を設定します。	0.2秒 1.0秒

✎「データビット長設定」が「7ビット」のとき、「パリティ設定」を「パリティなし」に設定した場合、プリンタの印字動作は保証されません。

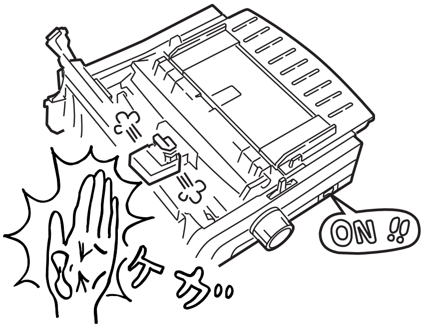
注

- ストップビット長は1ビット以上です。
- 本メニュー項目は、RS232Cボードが接続されているときのみ印刷されます。
- 本メニュー設定内容は、ホストコンピュータの設定に合わせてください。
  ホストコンピュータの設定方法は、ホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

◆設定を変更する

シリアルインタフェースメニューの設定内容を変更するには、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。



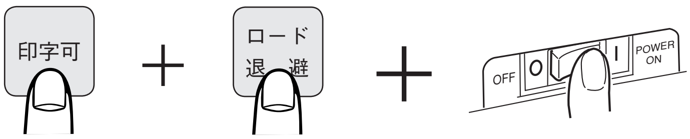
アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。

6章

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**ロード退避**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」します。

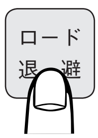
印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。



3 単票をシートガイドにセットします。

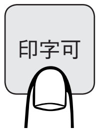
4 「**ロード退避**」スイッチを押します。

単票が自動的に吸入されます。



5 「印字可」スイッチを押します。

現在設定されているメニューの、すべての項目と設定値を印字します。
メニュー設定印刷中は、「印字可」ランプが点滅します。



6 「改頁」スイッチまたは「改行」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

参考　「改頁」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「改行」スイッチを押すたびに、逆送りで印字されます。



7 変更したい項目が印字されたら、「印字可」スイッチまたは「機能切替」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

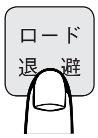
参考　「印字可」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「機能切替」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。



8 さらに変更したい項目があれば、手順6, 7を繰り返します。

9 「ロード退避」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンタに記憶されます。



注

- メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
- メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
- 「ロード退避」スイッチを押し、「メニュープリント終了」と印字する前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

6章

7　こんなときには

～印刷がおかしいとき、エラー表示がでたとき～

リボンカートリッジの交換

印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジを交換してください。

⚠注意	やけどの恐れがあります。

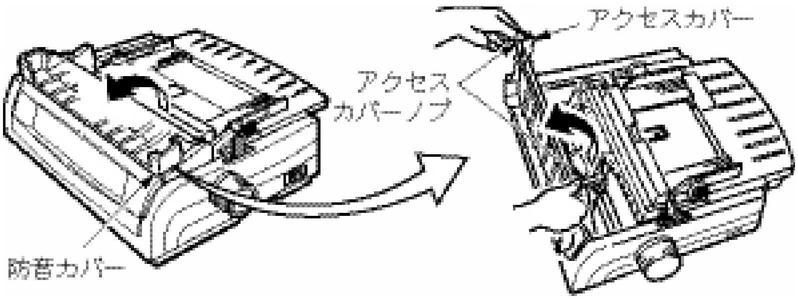
印字直後は印字ヘッドが高温になっています。
印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの交換は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。

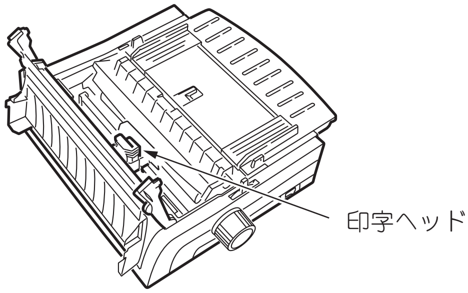
電源を入れたままカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動作してケガをする恐れがあります。

2 防音カバーとアクセスカバーを両手で開きます。

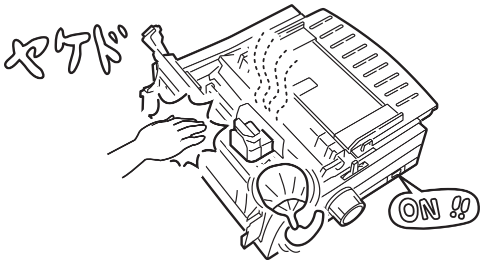


注✓ アクセスカバーを開くときには、アクセスカバー両端のアクセスカバーノブを両手で持って開いてください。

3 リボンカートリッジの両端を持ち、印字ヘッドをプリンタの中央へ移動させます。

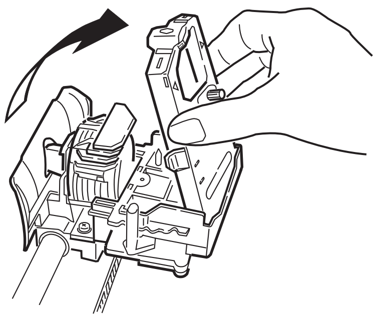


⚠注意	やけどの恐れがあります。	



印字直後は、印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

4 リボンカートリッジ両側の三角マーク（◁, ▷）の部分を持ち、リボンカートリッジ先端を印字ヘッドから引き上げるようにして取り外します。



5 新しいリボンカートリッジを取り付けます。
手順は、「リボンカートリッジを取り付ける」（28ページ）を参照してください。

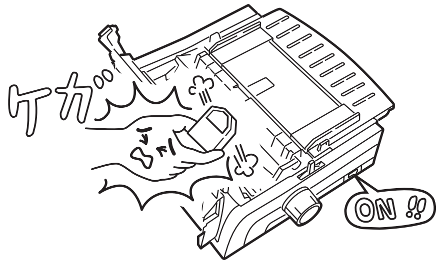
紙づまりしたとき

●単票の場合

◆単票がプリンタ内部でつまったとき

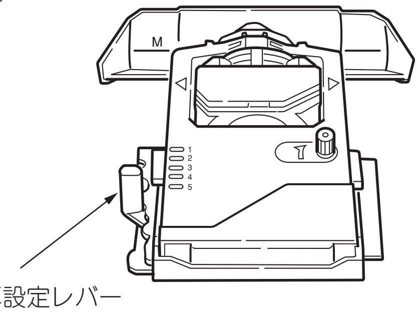
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	



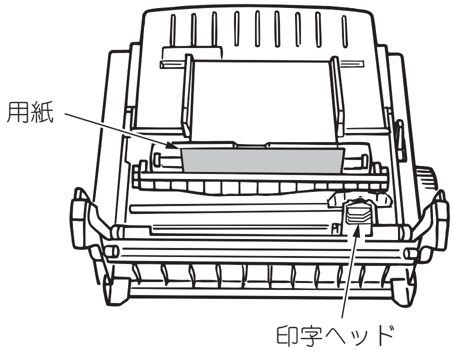
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 アクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーをレンジ「**5**」にします。

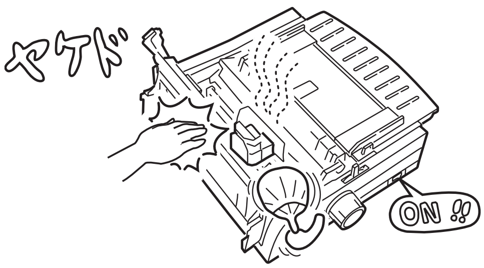


用紙厚設定レバー

3 リボンカートリッジの両端を持ち、印字ヘッドを用紙のないところへ移動させます。

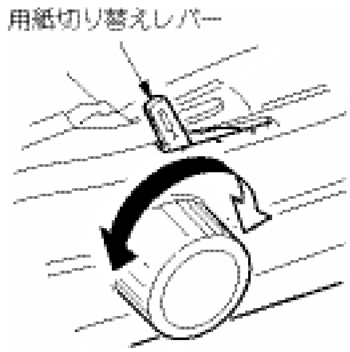


⚠注意	やけどの恐れがあります。	



印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

4 用紙切り替えレバーを**連続紙**「REAR」（前方）にし、プラテンノブを回しながら、単票を手前または後ろ側に引き出します。



5 単票がとれたら、用紙切り替えレバーを**単票**「TOP」にします。

6 用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に戻します。

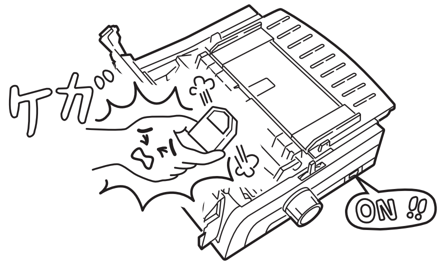
7 アクセスカバーを閉じます。

7章

◆破れた単票がプリンタ内部に残ったとき

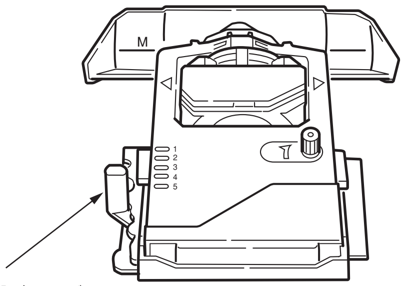
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	



電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 アクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーをレンジ「**5**」にします。

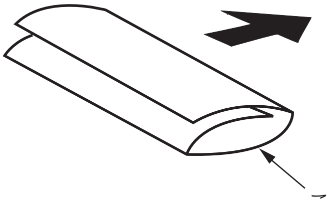


用紙厚設定レバー

3 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

4 3つに折りたたんだ単票をシートガイドから差し込みます。

差し込み方向



このように折りたたむ

5 プラテンノブを回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

6 用紙厚設定レバーを用紙厚にあったレンジ位置に戻します。

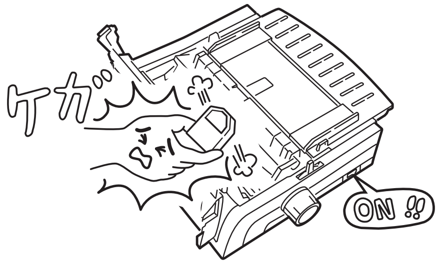
7 アクセスカバーを閉じます。

7章

●連続紙の場合

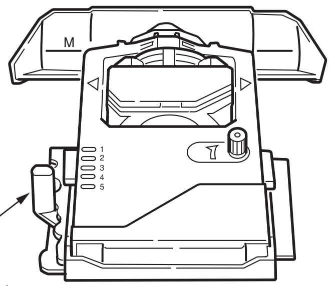
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	



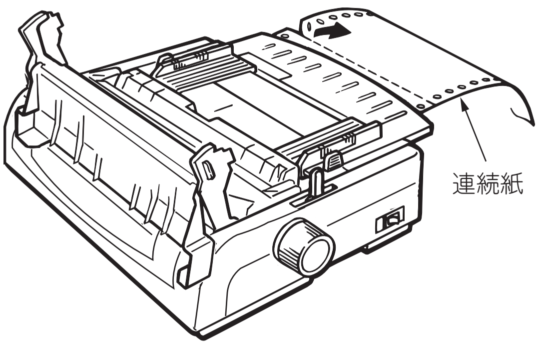
電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 アクセスカバーを開き、用紙厚設定レバーをレンジ「**5**」にします。



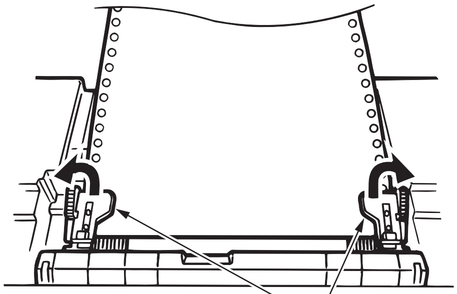
用紙厚設定レバー

3 印刷前の連続紙を切り取ります。

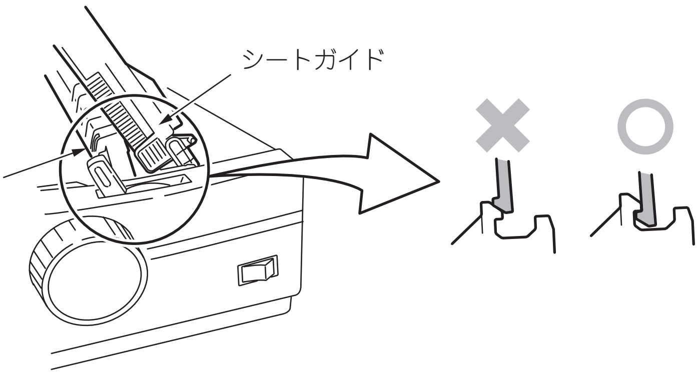


連続紙

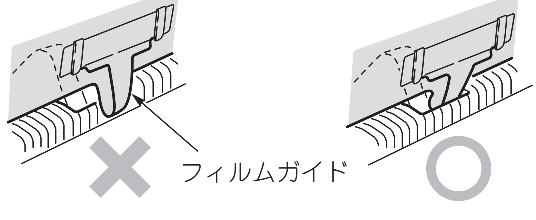
4 シートガイドを取り外し、ピントラクタから連続紙を外します。



注 • シートガイドを前方へ強く倒すとプルアップローラアッセンブリの取付けが外れます。プルアップローラアッセンブリを後方へ動かし、ロックをしてください。そのまま使用すると用紙吸入位置がずれたり、吸入できない場合があります。



• プルアップローラアッセンブリを取り付ける際は、プルアップローラアッセンブリの後側の用紙検知部のフィルムガイドが外れていないか確認してください。



5 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を2〜3枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

6 用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に戻します。

7 アクセスカバーを閉じます。

こんなときには

プリンタが思うように動作しなかった場合は、ここに記載してある項目を探し、適切な処置を行ってください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない		
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていません。	プリンタ側，コンセント側ともしっかりと差し込んでください。
	電源コンセントの異常または停電の可能性があります。	他の電気製品を同じコンセントに差し込んで、正常に動作するか確認してください。
印刷しない		
印字可ランプが消灯している。	印刷停止の状態です。	「印字可」スイッチを押してください。
	用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。
	用紙切り替えレバーが、用紙に合っていません。	用紙切り替えレバーを使用する用紙に合わせて、きちんと倒してください。
印字可ランプは点灯しているが印刷しない。	I/Fケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。 （36, 37ページ参照）
	I/Fケーブルがホストコンピュータやプリンタと合っていません。	仕様に合ったケーブルをお使いください。（235, 240ページ参照）
印字ヘッドは動いているが、印刷しない。	リボンカートリッジが取り付けられていません。	リボンカートリッジを取り付けてください。（28ページ参照）
印刷が遅くなった		
突然印刷が遅くなったり、片方向印字、印刷動作の休止となった。	印字ヘッド、モータが高温になると、温度を下げるために印字速度が遅くなったり、片方向印字、一定時間動作の休止を行うことがありますが、故障ではありません。	印字ヘッド､モータの温度が下がると、自動的に元の動作に戻ります。 この現象が頻繁に起こる場合には、プリンタの電源を切ってしばらく置いてから印刷を行ってください。
印刷が鮮明でない		
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	用紙厚設定レバーのギャップレンジ値が、用紙に合っていません。	用紙厚設定レバーを適切なレンジ位置に合わせてください。 （132ページ参照）
	高速印字に設定されています。	通常印字にします。（135ページ参照）
	リボンカートリッジの寿命です。	新しいリボンカートリッジに交換してください。
	リボンカートリッジが正しくセットされていません。	正しくセットし直してください。

7章

現　象	原　因	処　置
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	インクリボンが確実に巻き取られていません。	新しいリボンカートリッジに交換してください。
	リボンフィード動作が行われていません。	お客様相談センターへご相談ください。
文字が、横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	お客様相談センターへご相談ください。
印刷結果が画面と異なる		
カタカナがグラフィック文字になる。	コード表が拡張グラフィックスになっています。	コード表をカタカナに設定してください。（139, 143ページ参照）
グラフィックがカタカナ文字になる。	コード表がカタカナになっています。	コード表を拡張グラフィックスに設定してください。（139, 143ページ参照）
全く違う文字や記号で印刷される。	ソフトウェアのプリンタ設定が間違っています。	ソフトウェア上のプリンタ設定を優先順位に従って設定し直してください。（111ページ参照）
	前回印刷したソフトウェアコントロールコードが有効になっています。	プリンタを初期化してください。（145ページ参照）
	送られたソフトウェアコントロールが間違っています。	HEXダンプをとって、データの内容を確認します。（161ページ参照） 間違っている部分をソフトウェア上で直してください。
	I/Fケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。（36, 37ページ参照）
用紙の頭出し量（印刷開始位置）が上または下すぎる、変わってしまった。	印刷開始位置の設定が正しくありません。	プリンタを初期化してください。（145ページ参照）
		単票と連続紙の頭出し位置の設定を行ってください。（139, 143ページ参照）
		1文字目印字位置の設定を行って、頭出し位置を調整してください。（151ページ参照）
		ソフトウェア上で上マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。
	プルアッププローラアッセンブリが外れています。	プルアッププローラアッセンブリを正しく取り付けてロックをしてください。
		プルアッププローラアッセンブリのフィルムガイドの取り付け位置が外れています。正しく取り付けてください。
左右の余白が多い、または少ない。	左右マージンの設定が正しくありません。	ペーパガイドやピントラクタの位置が適当ではありません。印刷形式に合わせてセットし直してください。（114, 119ページ参照）
		ソフトウェア上で左右マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。

7章

現　象	原　因	処　置
連続紙を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。
単票を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェア上の用紙設定のサイズと、実際に使用している用紙サイズが合っていません。	ソフトウェア上の用紙設定を、使用する用紙に合わせてください。
	プリンタ側で自動測定されている1ページの印刷可能行数と合っていません。	ソフトウェア上で上下マージンを大きくとってください。
1行に印刷されるはずの文字などが、2行にわたって印刷される。	左右のマージンの設定が正しくありません。	ソフトウェア上で左右のマージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。
連続紙を使用しているときに、印刷途中で数行分の空白行ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。（139, 143ページ参照）
縦罫線がずれる、ガタガタになる。	両方向印刷を行うと、ずれを生じることがあります。	Windowsプリンタドライバの設定で片方向印刷に設定してください。（41, 50, 59, 69, 82, 97, 104, 110ページ参照）
		水平印字位置補正で調整してください。（141, 143ページ参照）
イメージ印刷、分割印字について		
イメージ印字で白抜けが入る。  白抜け	用紙送りの誤差です。特に黒ベタ印字で目立ちます。	故障ではありません。
縦倍角などで、白抜けや文字つぶれがでる。  白抜け　つぶれ	1文字の途中で改行が入るため、用紙送りの誤差がでます。	故障ではありません。 重要な書類や伝票などは、プリンタ内蔵フォント（明朝または明朝倍角）を使用してください。

現　象	原　因	処　置
単票で、うまく紙送りできない		
用紙を給紙しない。	用紙の挿入位置が、右に寄り過ぎています。	ペーパガイドにそって、用紙をセットしてください。（117ページ参照）
	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。（117ページ参照）
プラテンは回るが、給紙できない。または、連続紙が給紙されてしまう。	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。（117ページ参照）
	用紙切り替えレバーが連続紙になっています。	連続紙を排出して、用紙切り替えレバーを単票にしてください。（130ページ参照）
用紙が曲がって給紙される。	用紙が突き当たるところまで入っていません。用紙がまっすぐ入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。（117ページ参照）
	用紙にしわや折り目など、問題があります。	新しい用紙を使用してください。
	用紙が仕様に合っていません。	プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。（243ページ参照）
	プルアップローラアッセンブリが外れています。	プルアップローラアッセンブリを正しく取り付けてロックをしてください。
		プルアップローラアッセンブリのフィルムガイドの取付け位置が外れています。正しく取り付けてください。
用紙が排出できない。	「改行」スイッチを押しています。	「改頁」か、「ロード退避」スイッチを押してください。
連続紙で、うまく紙送りできない		
改行しない、用紙が送られない。	用紙がピントラクタから外れています。	用紙を正しくセットし直してください。（119ページ参照）
	用紙厚設定レバーのギャップレンジ値が、用紙に合っていません。	用紙厚設定レバーを用紙の厚さに合わせてください。（132ページ参照）
ページによって改行量がズレる。	プルアップローラの引っ張り量が合っていません。	プリンタの調整メニューの「改行補正」にて改行量を補正してください。
用紙が曲がって給紙される。または、プリンタの中で引っ掛かってしまう。	用紙の両端の穴が、左右ずれた状態でセットされています。	用紙の穴が左右平行になるようにセットしてください。（121ページ参照）
	左右のピントラクタの幅が狭すぎ、用紙がたるんでいます。	ピントラクタの位置を調整して、用紙のたるみを取ってください。（122ページ参照）
	用紙がプリンタに対して、まっすぐ給紙されていません。	まっすぐ給紙されるよう、用紙の位置を動かしてください。（123ページ参照）
	用紙が何かに引っ掛かっています。	引っ掛かっているものを取り除いてください。

現　象	原　因	処　置
用紙が曲がって給紙される。または、プリンタの中で引っ掛かってしまう。	プルアップローラアッセンブリが外れています。	プルアップローラアッセンブリを正しく取り付けてロックをしてください。
		プルアップローラアッセンブリのフィルムガイドの取付け位置が外れています。正しく取り付けてください。
	用紙の置いてある位置が遠すぎます。	プリンタの近くへ用紙を動かしてください。
	用紙が仕様に合っていません。	プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。(243ページ参照)
印刷の途中で、数行分の空白ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。(139, 143ページ参照)
ミシン目スキップを設定したが、実際のミシン目とずれてしまう。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。 ソフトウェア上で、行単位に設定します。
単票と連続紙の切り替えがうまくいかない		
単票が給紙できない。	用紙切り替えレバーが連続紙になっています。	用紙切り替えレバーを単票にします。
用紙切り替えレバーは単票になっているのに、連続紙が給紙されてしまった。	連続紙が排出されていません。	連続紙を排出してください。 (124ページ参照)
連続紙が給紙できない。	用紙切り替えレバーの位置が合っていません。	リアトラクタでは用紙切り替えレバーを連続紙（前方）にします。 ボトムトラクタでは用紙切り替えレバーを連続紙（後方）にします。
	プルアップローラアッセンブリが外れています。	プルアップローラアッセンブリを正しく取り付けてロックをしてください。
		プルアップローラアッセンブリのフィルムガイドの取付け位置が外れています。正しく取り付けてください。
プラテンは回るが、連続紙が給紙できない。	連続紙がピントラクタから外れています。	連続紙を正しくセットし直してください。
連続紙と一緒に単票も給紙されてしまう。	単票が排出されていません。	単票を排出してください。 (118ページ参照)

現　象	原　因	処　置
カットシートフィーダ（CSF）を使用して、うまく紙送りできない		
用紙を給紙しない。	用紙がCSFにセットされていません。	用紙をセットしてください。（173ページ参照）
	用紙セットレバーが「RESET」になっています。	用紙セットレバーを「SET」にしてください。
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（174ページ参照）
	セットしている用紙が厚すぎます。	仕様に合った用紙を使用してください。（243ページ参照）
	最後の1枚は給紙できないことがあります。	用紙を補給してください。
一度に2枚以上給紙される。	CSFにセットされている用紙が多すぎます。	セットしている用紙を減らしてください。（175ページ参照）
	用紙が密着しています。	用紙をよくさばいてから、セットしてください。（175ページ参照）
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（176ページ参照）
	大きさの違う用紙を入れています。	同じサイズの用紙だけをセットしてください。
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（243ページ参照）
用紙が曲がって給紙される。	用紙に折り目やしわがあります。	新しい用紙にかえてください。
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、広すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（176ページ参照）
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（243ページ参照）
うまく排出できない。	排出した用紙が溜まりすぎています。	用紙を取り除いてください。

アラーム表示がでたときは

操作パネルのランプ表示と、その際に必要な操作パネルの操作を下表に示します。

ランプの状態	原　因	処　置
用紙 □ 点灯	単票または連続紙が終了しました。	新しい単票または連続紙をセットして、「ロード退避」スイッチを押してください。
印字可 ■ 点滅 用紙 ■ 点滅	復旧不可能アラームです。	印字ヘッドがなめらかに移動することを確認し、電源を入れ直してください。電源を入れ直しても再度エラーになる場合は、お客様相談センター（281ページ）にご連絡ください。
用紙 ■ 点滅	単票給紙待ち状態です。	単票をセットしてください。
	用紙ジャムです。	ジャム用紙を取り除き、「印字可」スイッチを押します。
	用紙切り替えレバーと用紙モードが一致していません。	用紙切り替えレバーを、使用する用紙に合わせて「単票」または「連続紙」へきちんと倒してから、「印字可」スイッチを押してください。 自動給紙モードのときは単票にセットしてください。
印字可 ■ 点滅 高速印字 ■ 点滅	サーマルアラームです。	印字ヘッド、印字ヘッドを駆動するスペースモータ、用紙を搬送するためのフィードモータの温度が上がった場合に発生します。温度が下がると、自動的に印字を再開します。
印字可 ■ 点滅	低消費電力モード中です。	アラームではありません。 そのままお使いください。 低消費電力モード中に操作パネルのスイッチを押した場合は、低消費電力モードの解除のみ行い、押したスイッチの機能は実行されません。

8　定期清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的な清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

プリンタの清掃のしかた

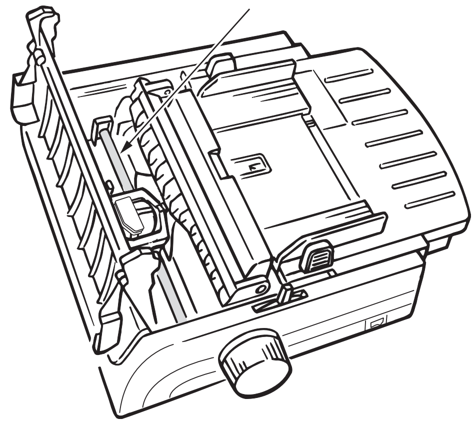
◆清掃

注
- 清掃は電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。
- ケースやプリンタカバーは、中性洗剤をうすめた液にひたして堅くしぼった布で、汚れをふき取ってください。とくに、機械部品や電子部品を絶対ぬらさないように注意してください。
- 堅い布やアルコール、シンナー、ベンジンなど、揮発性のものを用いてふくと、傷が付いたり、表面が変色したり、変形したりする恐れがありますので注意してください。
- プリンタ内部にごみやほこりが目立つ場合は、掃除機などを使って取り除いてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期でプリンタの清掃を行ってください。
（その他のプリンタ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が6か月または300時間の中でいずれか早いほう
所用時間 ： 約10分
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

清掃箇所	清掃内容
キャリッジシャフトおよび周辺	用紙くずを取り去り、汚れ，ほこり，リボンくずなどを拭き取ります。 注油禁止
用紙走行面	



◆注油

本プリンタはメンテナンスフリーの機械であり、運用途中での注油は不要です。

お客様での注油は絶対に行わないでください。

（プリンタの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。）

カットシートフィーダの清掃のしかた

◆清掃

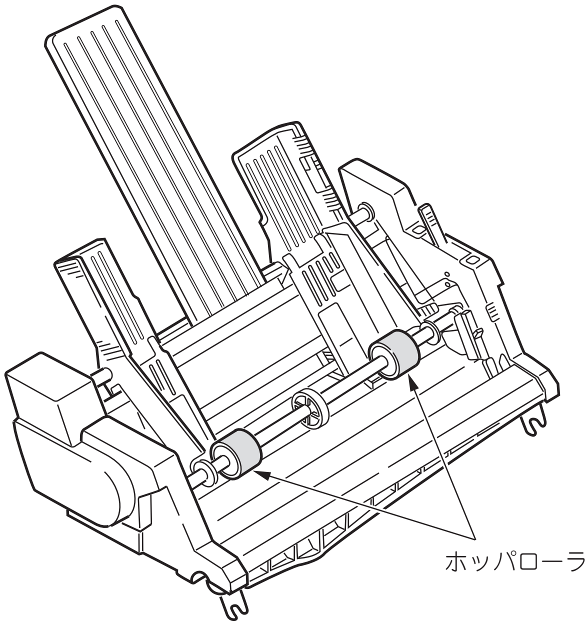
装置の設置環境/使用状況によりスキュー /ホッピングミスが発生する場合があります。その場合、以下の内容にてホッピングローラ汚れの清掃を行ってください。

注
- 清掃は電源スイッチをOFFにし、カットシートフィーダを本体から外してから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期でカットシートフィーダの清掃を行ってください。
（本項目以外の清掃を行った場合には障害の発生する可能性がありますので行わないでください。なお、カットシートフィーダ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が6か月または300時間の中でいずれか早いほう
所用時間 ： 約5分
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、アルコール（エタノール）

清掃箇所	清掃内容
左右一対のホッパローラ	用紙くずを取り去り、油等の汚れ, ほこりなどをアルコール（エタノール）を軽く含ませたウエスで拭き取り、その後乾いたウエスでホッピングローラ面の乾拭きをしてください。



付　　録

プリンタ仕様

印字方式	ドットマトリクスインパクト
ドットワイヤ径	0.2mm
ドットワイヤ数	24ピン
印字方向	両方向印字
改行時間	4.23mm（1/6インチ）改行のとき … 1改行 約65ms
改ページ速度	約114.3mm ／秒（4.5インチ／秒）
紙送り制御	フォームフィード　機能有り 垂直タブ　機能有り ダイレクトスキップ　機能有り
複写能力	リアパス方式　：オリジナル＋3枚（用紙厚合計　0.24mm以下） ボトムパス方式（オプション）：オリジナル＋4枚（用紙厚合計　0.36mm以下）
紙送り方向	リアパス方式, ボトムパス方式（ボトムトラクタ, プルトラクタ：オプション）
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式
媒体仕様	「用紙規格および印字範囲」（243ページ）を参照してください。
インクリボン （沖データ純正品）	カートリッジ：専用カートリッジ インク　：黒単色 寿　命　：10CPI　高速度ANK 400万字
外形寸法	398mm(W)×345mm(D)×153mm(H)（MICROLINE 50HU） 552mm(W)×345mm(D)×153mm(H)（MICROLINE 80HU）
重　　量	約8kg（MICROLINE 50HU）, 約10kg（MICROLINE 80HU）
入力電源	単相交流　100V±10%（50/60Hz±1Hz）
消費電力	動作中：最大 約350W（漢字ローカルテスト印字時　約60W） 待機時：約10W以下（低消費電力モード時）
電源コード	3極ACコード（2極交換プラグ付） 長さ　約2.4m
周囲温度・湿度	動作時：5℃～35℃, 30%～80%RH ただし、印字精度は測定条件が15℃～30℃, 40%～70%RH 保存時：－10℃～50℃, 5%～95%RH ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。
塵埃・腐食性	一般事務室程度の環境で使用してください。
インタフェース	IEEE-std1284-1994準拠双方向パラレルインタフェース （コンパチブルモード, ニブルモード） USB RS232Cシリアルインタフェース（RS232Cボード：オプション）
標準使用条件	平均電源オン時間　200H ／月 平均印字時間　50H ／月　（ページ文字密度35%）
印字ヘッド寿命	平均3億ストローク（ドットあたり）
装置寿命	5年
騒　　音	56 dBA [ISO7779印字パターン]（高品位ANK）

書体のサンプル

●明朝

亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或
粟袷安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯
胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤

●ローマン

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●サンセリフ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●クーリエ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●OCR-B相当

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_

●JAN（標準）

4 00123456789 2

●CODE39

* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *

●NW-7

a 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 b

●Interleaved 2 of 5

001234567899

●JAN（短縮）

4012345 2

●カスタマバーコード

●Code 128

$ &) \ A B C 1 2 C

印字仕様

●文字種類

◆ANK文字

英数字・記号（SP含む）	95種
カタカナ・記号	63種
罫線素片・符号・漢字	63種
特殊文字	79種
拡張グラフィックス	48種
国際文字他	7種

注 カタカナ記号，罫線素片・符号・漢字は、スーパスクリプト／サブスクリプトモード，プロポーショナルモードおよび15CPIモードの場合は除きます。

◆漢字（JIS第1水準）

漢字	2965種
非漢字	524種
特殊文字	83種

◆漢字（JIS第2水準）

漢字	3390種

◆OCR-B（相当文字）

英数字・記号	64種

◆外字登録可能文字種

94種

●文字の大きさ

文字種		横寸法 [mm]	縦寸法 [mm]
高速度ANK 10CPI	英数字 特殊文字 カタカナ 罫線素片 拡張グラフィックス	2.25 2.25 2.25 2.67 2.67	2.46 3.45 2.60 2.60 4.29
高品位ANK 10CPI	英数字 特殊文字 カタカナ 罫線素片 拡張グラフィックス	2.11 2.11 2.11 2.53 2.53	2.32 3.45 2.60 2.46 4.29
プロポーショナルANK		1.40～ 3.09	3.45
漢字	全角・外字	3.45	3.45
	半　角	1.75	3.45

●印字間隔

文字種		間　隔（インチ）
ANK	高品位ANK	1/10,1/12,1/15,1/17.1,1/20
	高品位スーパスクリプト／サブスクリプト	
	プロポーショナルANK	1/8.6～1/20
	縮小プロポーショナル	1/17.1～1/40
	プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	1/12.9～1/30
	縮小プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	1/25.7～1/60
	高速度ANK	1/10,1/12,1/15,1/17.1,1/20
	高速度スーパスクリプト／サブスクリプト	
漢字	全角・外字	1/6.7
	半　角	1/13.8

付録

●1行最大印字数

文字種		MICROLINE 50HU	MICROLINE 80HU
ANK	高品位ANK 高品位スーパスクリプト／サブスクリプト	80, 96, 120, 137, 160	136, 163, 204, 232, 272
	プロポーショナルANK	68～160	116～272
	縮小プロポーショナル	137～320	233～544
	プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	102～240	174～408
	縮小プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	205～480	349～816
	高速度ANK 高速度スーパスクリプト／サブスクリプト	80, 96, 120, 137, 160	136, 163, 204, 232, 272
漢字	全角・外字	53	90
	半　角	110	188

●印字速度

文字種		印字速度（文字/秒）	
		通常印字	高速印字
高品位ANK	10CPI	105	210
	12CPI	126	252
	15CPI	157.5	315
高速度ANK	10CPI	315	
	12CPI	378	
	15CPI	472	
漢字(27dot)		68	136

注
- 用紙の厚さによって、印字速度が変化します。
  ギャップレンジ「2」の場合は約10%、「3」,「4」の場合は約20%、「5」の場合は約30%印字速度が低下します。
- 印字ヘッドが高温になると、印字速度が低下します。

●改行間隔

1改行　　1/6インチ、1/8インチ、n/180インチ、n/60インチ

パラレルインタフェース

●コネクタおよびケーブル

◆コネクタ

プリンタ側　　36極コネクタ（メス）
　　　　　　　57RE-40360-830B-D29A（第一電子製）相当品
ケーブル側　　36極コネクタ（オス）
　　　　　　　57FE-30360-20N(D8)（第一電子製）相当品

◆ケーブル

最長2.5m以下のケーブルを使用してください。
（ノイズ対策上はツイストペア線を用い、シールドされているものを使用してください。）

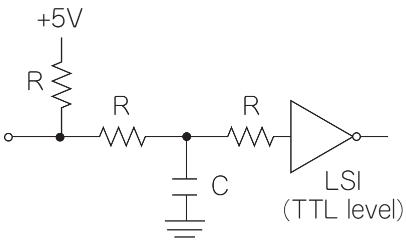
◆インタフェースレベル

ローレベル　0.0V～+0.8V
ハイレベル　+2.4V～+5.0V

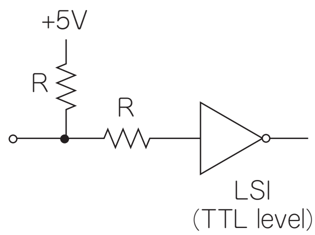
◆インタフェース回路

• RECEIVER

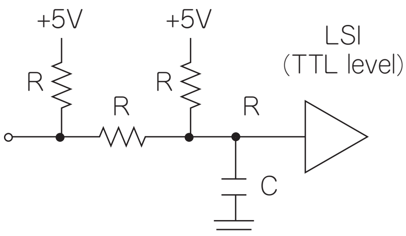
① $\overline{\text{STROBE}}$



② DATA BIT, $\overline{\text{AUTO FEED XT}}$, $\overline{\text{SELECT IN}}$

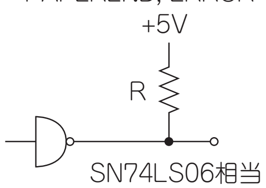


③ $\overline{\text{INPUT PRIME}}$

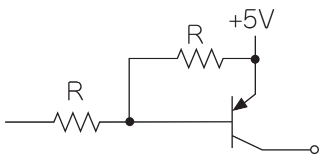


• DRIVER

① $\overline{\text{ACKNOWLEDGE}}$, BUSY, SELECT, PAPEREND, $\overline{\text{ERROR}}$



② +5V



●パラレルインタフェース信号

ピンNo.	信号名	方向	機能
1	$\overline{\text{DATA STROBE}}$	TO PRINTER	DATA BIT1～8の読み込みパルス信号です。ハイレベルからローレベルに変化するとBUSY信号がハイレベルになり、入力データを読み込みます。
2	DATA BIT1	TO PRINTER	入力データの1ビット目から8ビット目です。ハイレベルが論理"1",ローレベルが論理"0"を示します。 DATA BIT 1 がLSB,DATA BIT 8がMSBです。
3	DATA BIT2		
4	DATA BIT3		
5	DATA BIT4		
6	DATA BIT5		
7	DATA BIT6		
8	DATA BIT7		
9	DATA BIT8		
10	$\overline{\text{ACKNOWLEDGE}}$	FROM PRINTER	入力データの受信処理完了を示す信号で、DATA STROBEに対する応答パルス信号です。 電源投入時は、BUSY信号を最初ローレベルにする時に1パルス出力します。
11	BUSY	FROM PRINTER	プリンタがデータ受信可能かどうかを示す信号で、ハイレベル時はデータ受信不可能、ローレベル時はデータ受信可能です。以下の条件でハイレベルになります。 ①ストローブパルスを受信してから受信データの処理を終了するまで。 ②オフライン状態の間 ③$\overline{\text{INPUT PRIME}}$信号の受信または、電源投入時のイニシャル処理を行う間。 ④アラームになった場合。
12	PAPER END	FROM PRINTER	用紙終了を検出するとハイレベルになります。ただし、1行の受信途中ではその場でハイレベルにならず、行受信を完了した時点でハイレベルになります。 用紙をセットするとローレベルになります。
13	SELECT	FROM PRINTER	常時ハイレベルです。

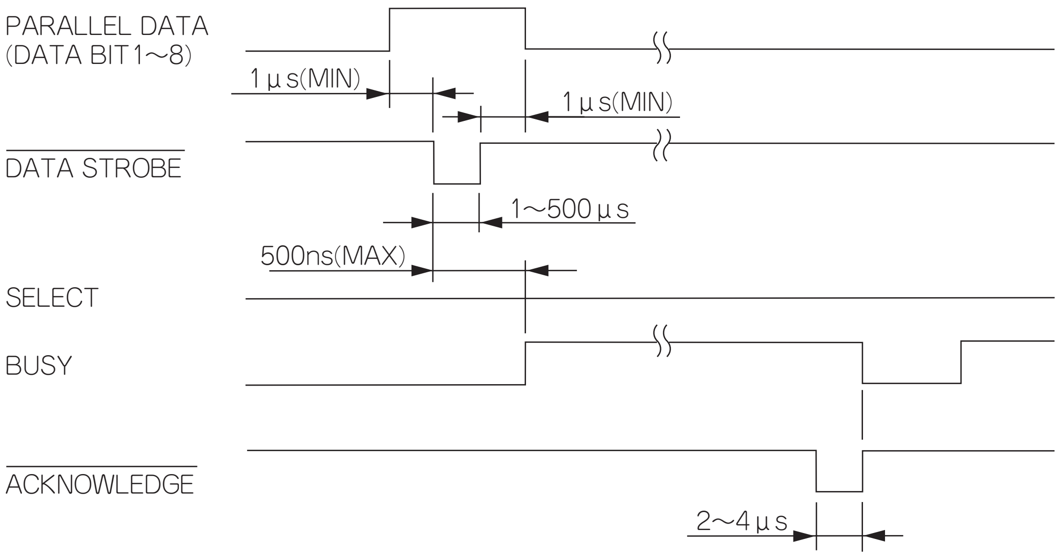
付録

ピンNo.	信号名	方向	機能
14	$\overline{\text{AUTO FEED XT}}$	TO PRINTER	電源投入時、この信号がローレベルの場合はCRコードの受信で復帰改行を行います。有効/無効はメニュー設定に従います。
15	NC		未接続
16	GND		ツイストペアリターン用グラウンド
17	CHASSIS GROUND		プリンタシャーシのグラウンド
18	+5V		DC+5V（3.3mA　MAX）
19〜30	GND		ツイストペアリターン用グラウンド（ピンNo.1〜12に対応した信号用アース）
31	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	TO PRINTER	ローレベルになるとプリンタの制御部が初期状態になります。ローレベルは0.5ms以上にしてください。なお、本信号は0.5ms以下でも有効になることがあります。
32	$\overline{\text{ERROR}}$	FROM PRINTER	ローレベルのとき、エラー状態であることを示します。
33	GND		ツイストペアリターン用グラウンド
34	NC		未設続
35			常時ハイレベルです。3.3kΩの抵抗で+5Vにプルアップされています。
36	$\overline{\text{SLCT IN}}$	TO PRINTER	電源投入時、この信号がローレベルの場合は、DC1/DC3コードは受け捨てます。（DC1/DC3コードの有効/無効はメニュー設定に従います。）

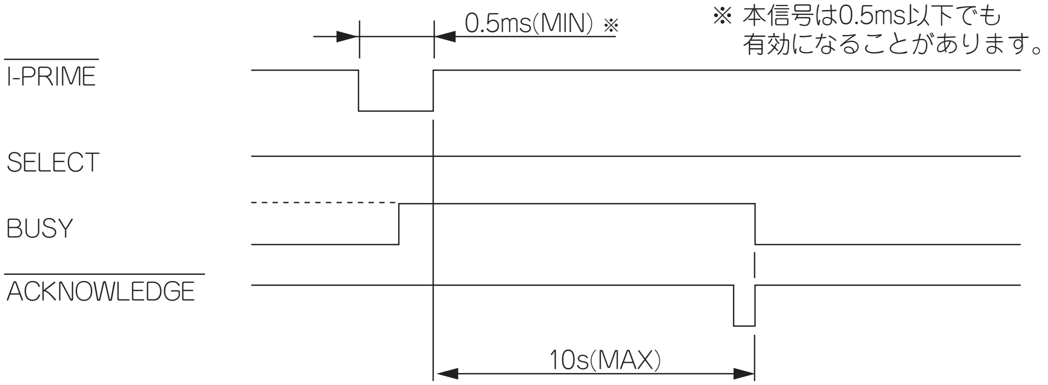
付録

●パラレルインタフェースタイムチャート

◆データ受信

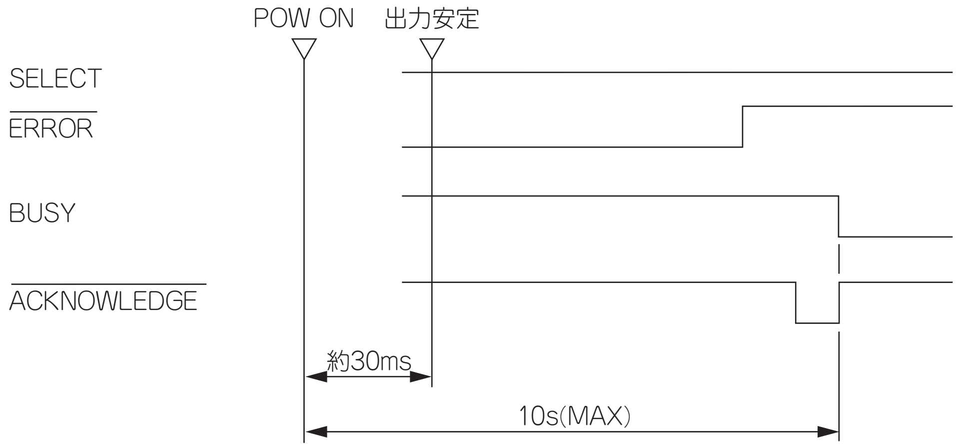


◆INPUT PRIME受信



付録

◆POWER ON



USBインタフェース

●コネクタおよびケーブル

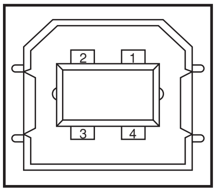
◆コネクタ

プリンタ側　type Bレセプタクル(メス)
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社)相当品
ケーブル側　type Bプラグ(オス)

◆ケーブル

5m以下のUSB2.0仕様のケーブル
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

◆コネクタピン配列



●USBインタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

●仕様

◆基本仕様

USB

注 すべてのUSBデバイスとの接続を保証するものではありません。

◆電力制御

セルフパワーデバイス

◆伝送モード

フルスピード(最大12Mbps+0.25%)

シリアルインタフェース

●コネクタおよびケーブル

◆コネクタ

プリンタ側　25極レセプタクル（メス）
DB-255(キヤノン製)相当品
ケーブル側　25極レセプタクル（オス）
DB-25P(キヤノン製)相当品
シェル
DB-C2-J9(キヤノン相当品)

◆ケーブル

ツイストペア線を用い、15m以下のシールドされているケーブルを使用のこと。

●シリアルインタフェース信号

ピン番号	信号名	略称	方　向	説　明
1	Protective Ground	PG	–	プリンタのフレームに接続します。（フレームグランド）
2	Transmitted Data	TD	FROM PRINTER	プリンタからのシリアルデータ受信信号
3	Received Data	RD	TO PRINTER	プリンタのシリアルデータ受信信号
4	Request To Send	RTS	FROM PRINTER	READY/BUSYプロトコルにおいてプリンタの受信不可能状態の表示を行います。
5	Clear To Send	CTS	TO PRINTER	未使用
6	Data Set Ready	DSR	TO PRINTER	送信側が受信可能であることをプリンタへ知らせる信号。 プリンタはこの信号がSPACEであることを確認してデータを受信します。
7	Signal Ground	SG	–	信号用グラウンド
8	Carrier Detect	CD	TO PRINTER	未使用
11	Supervisory SendData	SSD	FROM PRINTER	READY/BUSYプロトコルにおいてプリンタの受信不可能状態の表示を行います。
12	–	–	–	未使用
13	–	–	–	未使用
14～17	–	–	–	未使用
20	Data Terminal Ready	DTR	FROM PRINTER	READY/BUSYプロトコルにおいてプリンタの受信不可能状態の表示を行います。
9～10 18～19 21～25	–	–	–	未使用

付録

プリンタの初期状態

電源投入時，ソフトウェアリセットコマンド受信または、インタフェースのINPUT PRIME信号または、USBインタフェース接続時SOFT-RESET要求受信により、プリンタは以下に示す初期状態になります。

※印はメニュー設定の項目に従います。

項目	初期状態
印字ヘッド位置	センタリング位置
MSBコントロール	解除
上位側コントロールコード指定	解除
印字方向	両方向印字
印字色	黒色のみ
ホリゾンタルタブ位置	左端より8文字毎に設定
ライトマージン位置	※　(MICROLINE 50HUは80文字)
レフトマージン位置	0桁目に設定
印字位置そろえ設定	左そろえに設定
1改行量	1/6インチ
連続紙フォーマットページ長	※
TOF位置	現在の印字位置をTOF位置にします。
ミシン目スキップ長	※
VFUタブ位置設定	設定位置なし
VFUチャネル選択	チャネル0を選択
ANK文字モード	10CPIモード。プロポーショナルおよびスーパスクリプト/サブスクリプトモードは解除
国際文字選択	日本語
ダウンロード文字セットの指定	解除
内蔵文字セットの選択	※
ANK文字の書体	※
漢字モード	※ (I-PRIME受信時は解除)

※印はメニュー設定の項目に従います。

項目	初期状態
ANK縮小印字	解除
ANK文字間スペース量	0ドット
ANKアンダライン印字	解除
ANK文字品位	※
ANK ／漢字印字モード	自動解除付横2倍拡張 横2倍拡張印字 縦2倍拡張印字 イタリック印字 強調印字 2度打ちモード 特殊装飾文字 } 解除
漢字全角文字間スペース量	左 : 0ドット、右 : 3ドット
半角文字間スペース量	左 : 0ドット、右 : 2ドット
半角文字間スペース量補正	解除
漢字アンダライン印字	解除
漢字高速印字モード	解除
漢字縦書き／横書き	横書き
半角縦書き組み文字	解除
ダウンロード文字	オールクリア（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
文字セットコピー	無し（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
外字	オールクリア（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
イメージ転送コマンド変換	変換なし
用紙モード（はがき, 往復はがき, A5, A6モード）	解除
CSF制御	CSFが実装され、用紙切り替えレバーが単票「TOP」の場合は、自動給紙モードになります。（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）

付録

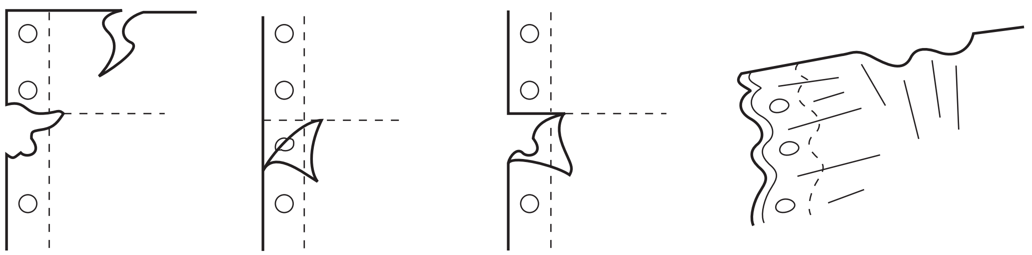
用紙規格および印字範囲

●用紙に関する注意

使用禁止の用紙

次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ，印字ずれ、また、最悪の場合はワイヤドットのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン，クリップ，ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの，波打っているもの，はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒



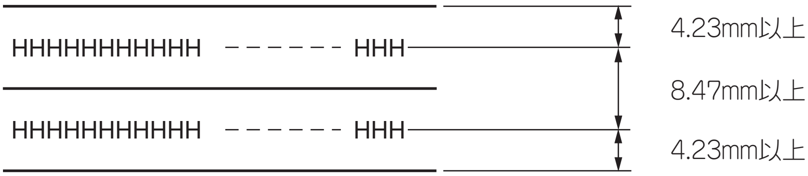
破れ　　はがれ　　折れ　　しわ

●プレプリント用紙

罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

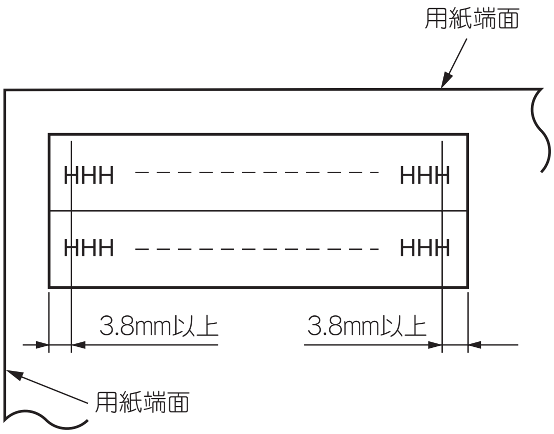
- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。

◆横罫線について



- 文字の行間隔は8.47mm（1/3インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも4.23mm以上とってください。

◆縦罫線について



- 縦罫線は文字中心から3.8mm以上とってください。

注　罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度0.1°以下にしてください。

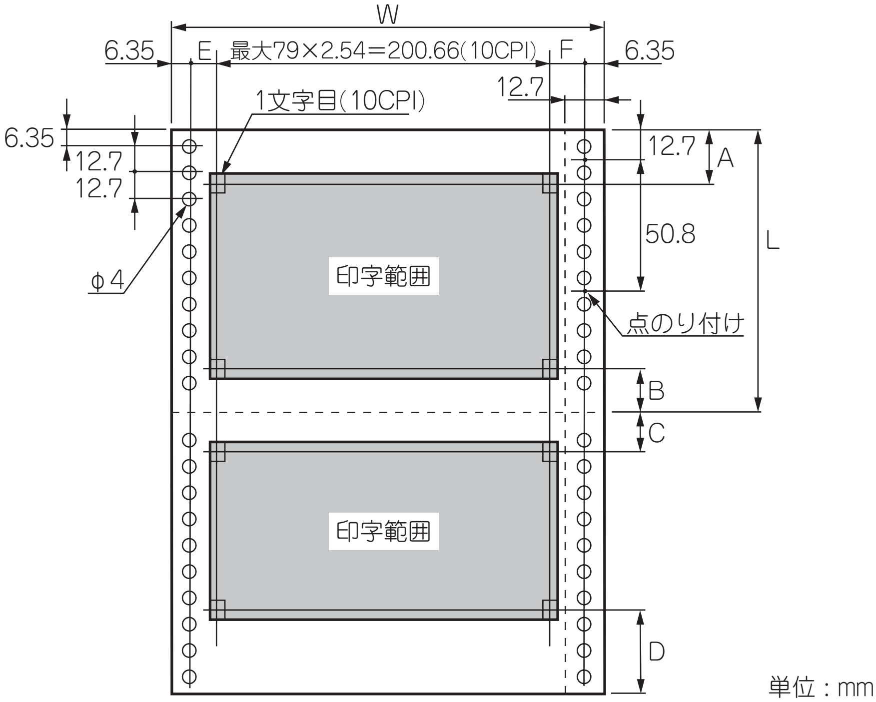
●用紙の保管条件（JIS X 6195による）

用紙は温度10～30℃，相対湿度30～70%の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

●連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

◆用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 50HU）

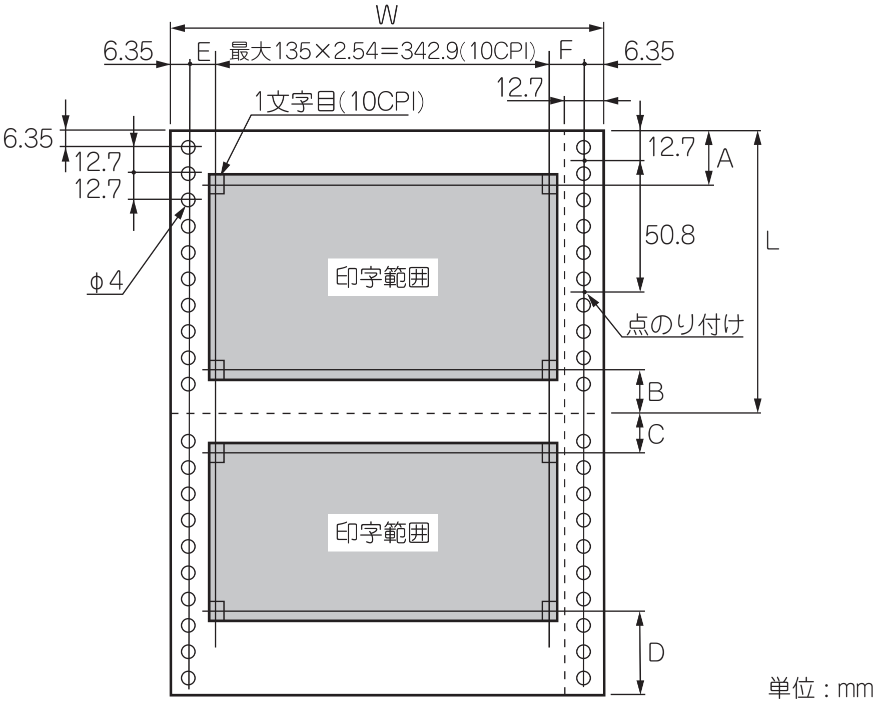


記号	名称	規格値
W	用紙幅	101.6〜254.0mm(4〜10インチ)
L	用紙長さ	76.2〜355.6mm(3〜14インチ) ただし、25.4mm(1インチ)の整数倍で、279.4mm(11インチ)を標準にします。
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。 ✎
B	印字可能範囲	6.35mm(1/4インチ) ✎
C	印字可能範囲	6.35mm(1/4インチ) ✎
D	用紙終了検出範囲	約50mm
E	1文字目印字位置	12.7〜19.0mm　用紙幅10インチのときは、19.0mm
F	印字禁止範囲	12.7mm　ただし、E値範囲内で80文字目までです。

✎ 印字精度保証は19.05mm(3/4インチ)以上です。

注
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔, コーナーカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。
- グラフィックやイメージ印刷を行うと、改行の乱れが出易くなります。
- ミシン目付傍に印字を行った場合、よごれやピン折れが発生する可能性があります。

◆用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 80HU）



記号	名称	規格値
W	用紙幅	101.6～406.4mm(4～16インチ)
L	用紙長さ	76.2～355.6mm(3～14インチ) ただし、25.4mm(1インチ)の整数倍で、279.4mm(11インチ)を標準にします。
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。 ✎
B	印字可能範囲	6.35mm(1/4インチ) ✎
C	印字可能範囲	6.35mm(1/4インチ) ✎
D	用紙終了検出範囲	約50mm
E	1文字目印字位置	12.7～25.4mm　用紙幅16インチのときは、25.4mm
F	印字禁止範囲	12.7mm　ただし、E値範囲内で136文字目までです。

✎ 印字精度保証は19.05mm(3/4インチ)以上です。

注

- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔, コーナーカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。
- グラフィックやイメージ印刷を行うと、改行の乱れが出易くなります。
- ミシン目付傍に印字を行った場合、よごれやピン折れが発生する可能性があります。

◆用紙連量

○単　紙

用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
用紙連量45～70kg（52～81g/m^2）の用紙が使用可能です。

○複写紙

用紙の種類は、感圧紙, 裏カーボン紙, インタリーブ紙です。
複写紙の用紙連量は、26～34kg（30～40g/m^2）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下です。
リアパス方式の複写枚数は、最大4枚（オリジナル＋3枚）です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大3枚（オリジナル＋2枚）で、最大用紙厚さは0.24mmです。
ボトムパス方式（ボトムトラクタ、プルトラクタ：オプション）の複写枚数は、最大5枚（オリジナル＋4枚）です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大4枚（オリジナル＋3枚）で、最大用紙厚さは0.36mmです。

参考
用紙連量は、単位面積（788×1091mm）の大きさに換算して、1000枚分の重量をkgで表わしたものです。

◆最大用紙厚さ

0.24mm（リアパス方式）
0.36mm（ボトムパス方式）（ボトムトラクタ、プルトラクタ：オプション）

◆ミシン目

- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。
  特に、用紙折り曲げ部は破れやすいので、注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質, 用紙連量, 複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

	複写枚数	カット部の長さ	アンカット部の長さ
横ミシン目	1～4枚	2～3mm	1mm
縦ミシン目	1～4枚	3mm	1mm

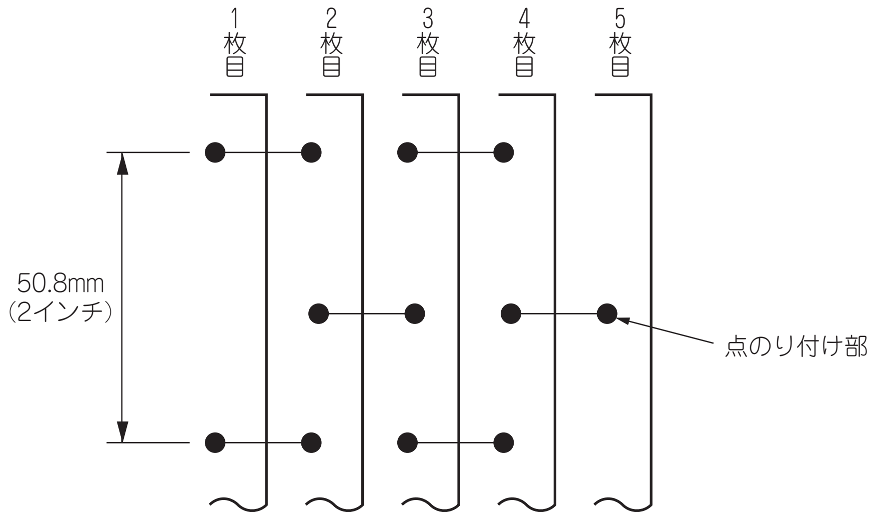
- 横ミシン目　用紙の両端1～2mmには、カット部を入れないでください。上下6.35mm（1/4インチ）以内は、印字しないでください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右6.35mm（1/4インチ）以内は印字しないでください。横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。

◆複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、または紙ホッチキスとします。
ただし、層間ずれ（1枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが4mm程度発生する場合があります）金属ホッチキスの使用は厳禁です。

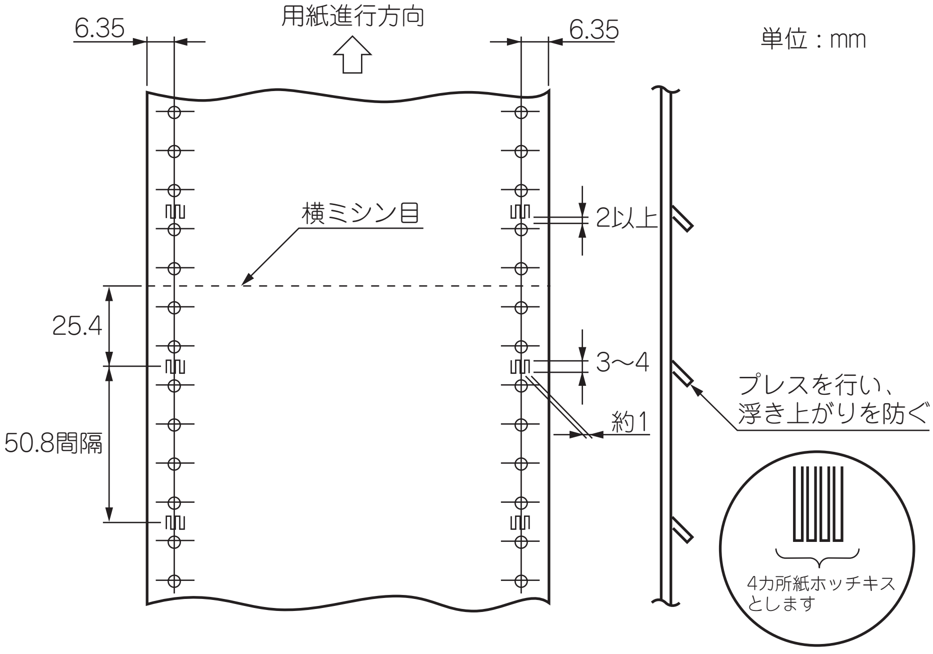
○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし、片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ3～φ5mmとします。
  点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。
  また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。



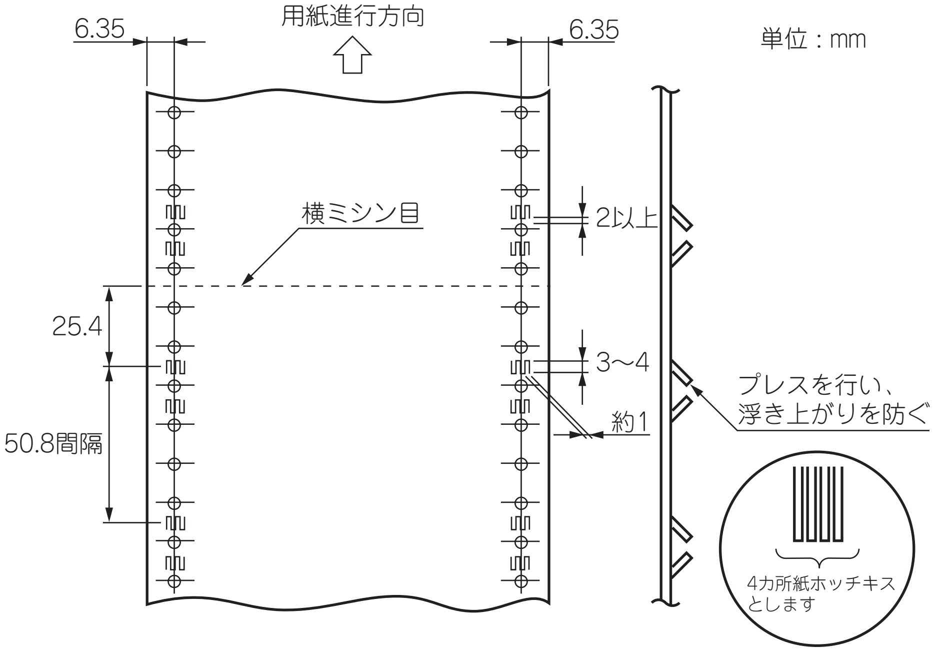
○紙ホッチキス

- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。



紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）

紙ホッチキス部拡大図



紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

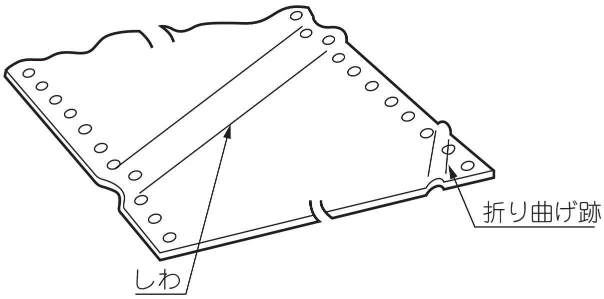
紙ホッチキス部拡大図

◆スプロケット孔

スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは0.4mm以下のものを使用してください。

◆しわ, 折り曲げ跡

用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。

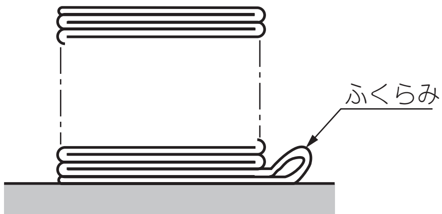


◆用紙先端, 下端のしわ, カール, 折れ, めくれ

用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。
カール, 折れ, 曲がりの規定は262ページを参照してください。

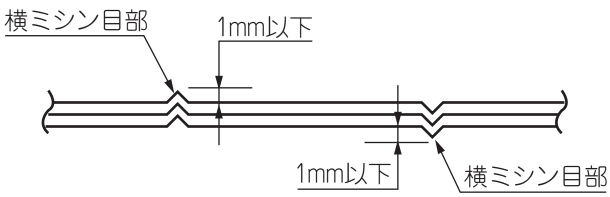
◆用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。
用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。



◆横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、用紙送り精度の乱れなど印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。
特に複写枚数が多くなると用紙送り精度が悪くなります。
盛り上がり高さは1mm以下になるようにしてください。



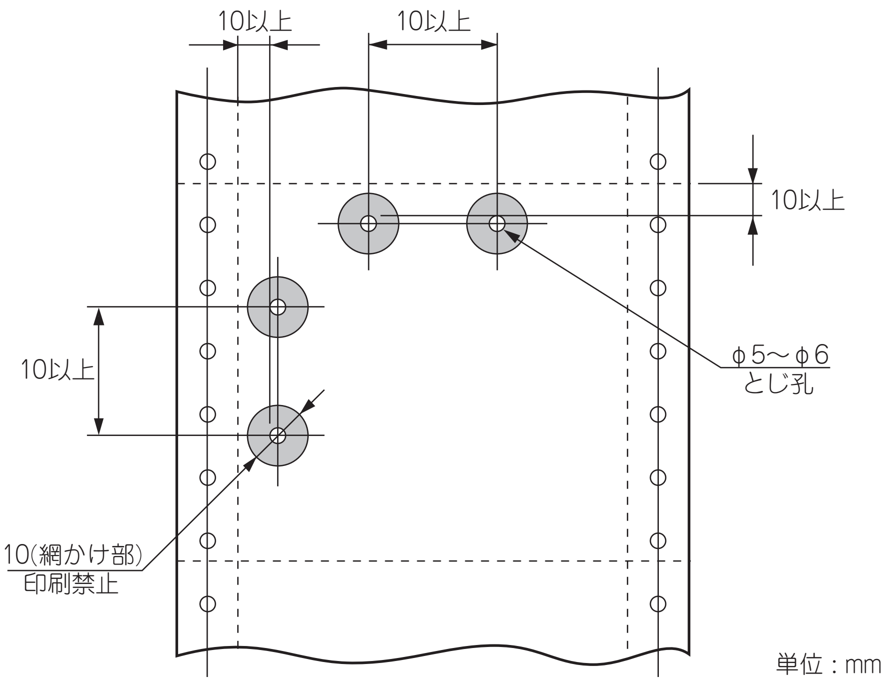
付録

◆とじ孔

注✓ とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

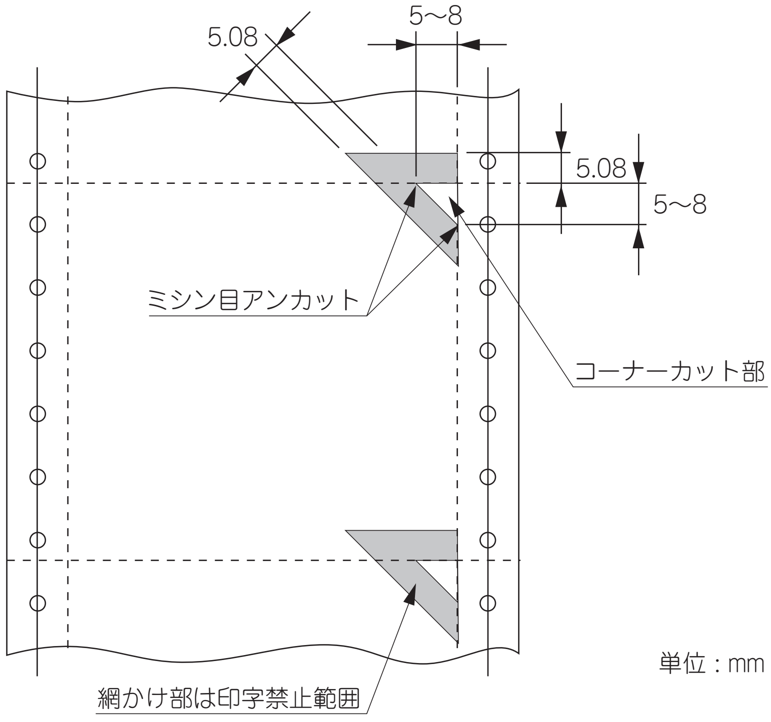


◆コーナーカット

注 コーナーカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナーカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

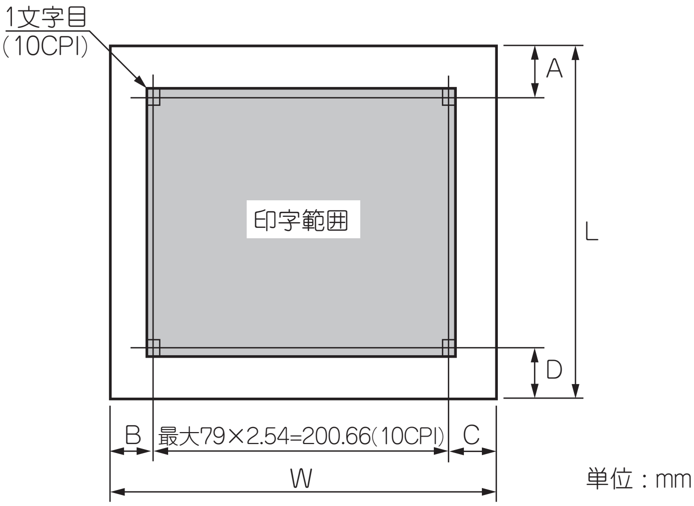
- コーナーカット部の下図網かけ部範囲内には印字しないでください。
- コーナーカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナーカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦／横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナーカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。
- コーナーカットの位置は、下図によります。



●単票

◆単紙

○用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 50HU）



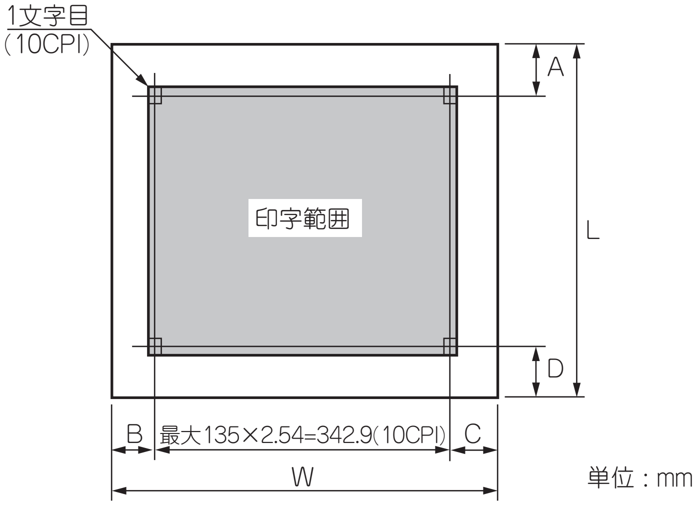
用紙サイズはB5, A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	148～257mm(5.8～10.1インチ) オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182～257mm(7.2～10.1インチ)
L	用紙長さ	105～364mm(4.1～14.3インチ) ✎ オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182～364mm(7.2～14.3インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上
B	1文字目印字位置	6.35mm以上 用紙幅242～257mmの場合　25.4mm固定
C	印字禁止範囲	6.35mm以上　ただし、B値範囲内で80文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm以上

✎ A4判の縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

注 用紙下端から25.4mmまでの印字範囲では改行の乱れが大きくなる場合があります。

○用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 80HU）



用紙サイズはB5, A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	148〜420mm(5.8〜16.5インチ) オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182〜364mm(7.2〜14.3インチ)
L	用紙長さ	105〜364mm(4.1〜14.3インチ) ✎ オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182〜364mm(7.2〜14.3インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上
B	1文字目印字位置	6.35mm以上 用紙幅420mmの場合　38.6mm固定
C	印字禁止範囲	6.35mm以上　ただし、B値範囲内で136文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm以上

✎ A4判の縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

注 用紙下端から25.4mmまでの印字範囲では改行の乱れが大きくなる場合があります。

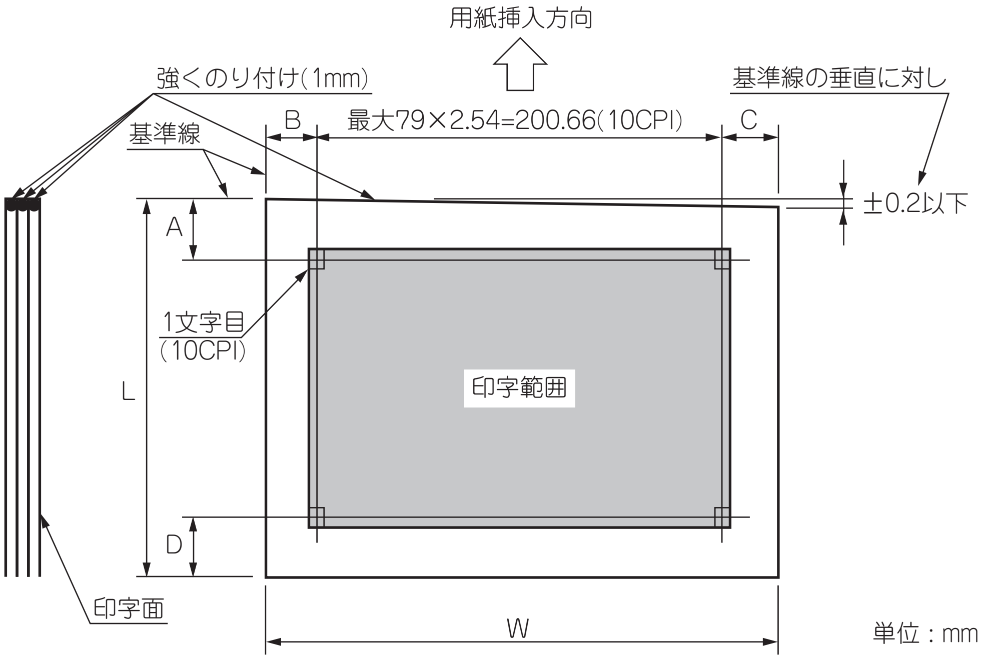
○用紙連量

用紙連量45〜70kg（52〜81g/m^2）の用紙が使用できます。
カットシートフィーダでは用紙連量55〜70kg（64〜81g/m^2）の用紙が使用できます。

注
- 用紙の縦横比は、1：2／3〜2とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 再生紙を使うと、吸入不良，用紙送り不良になる場合があります。
- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）とします。
- 用紙の平滑度は100秒（JIS P 8119）とします。

◆複写紙

○用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 50HU）

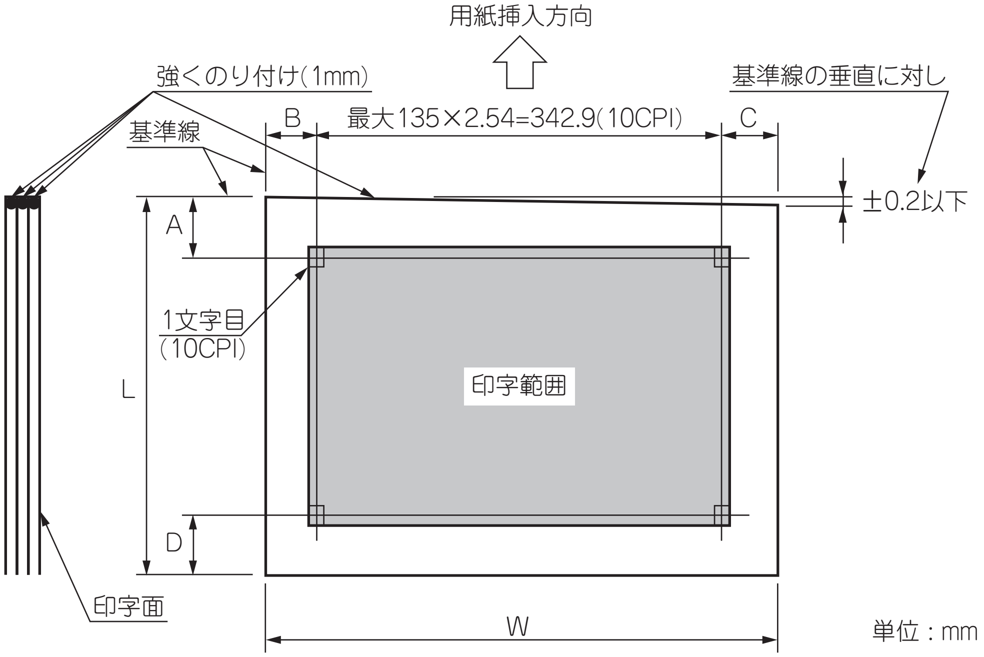


用紙サイズはB5, A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	148～257mm(5.8～10.1インチ)
L	用紙長さ	105～297mm(4.1～11インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上
B	1文字目印字位置	6.35mm以上 用紙幅242～257mmの場合　25.4mm固定
C	印字禁止範囲	6.35mm以上　ただし、B値範囲内で80文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm以上

注
- 用紙下端から25.4mmまでの印字範囲では改行の乱れが大きくなる場合があります。
- 複写紙は圧跡がつく場合があります。

○用紙サイズおよび印字範囲（MICROLINE 80HU）



用紙サイズはB5, A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	148～364mm(5.8～14.3インチ)
L	用紙長さ	105～297mm(4.1～11.7インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上
B	1文字目印字位置	6.35mm以上 用紙幅364mmの場合　38.6mm固定
C	印字禁止範囲	6.35mm以上　ただし、B値範囲内で136文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm以上

注

- 用紙下端から25.4mmまでの印字範囲では改行の乱れが大きくなる場合があります。
- 複写紙は圧跡がつく場合があります。

○用紙連量

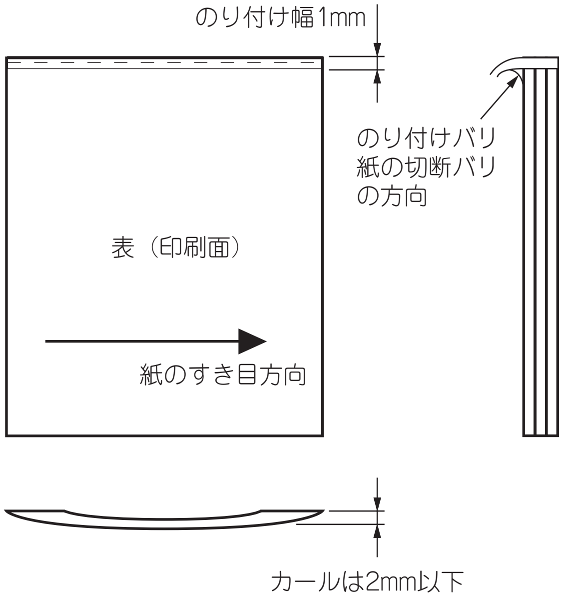
複写枚数は、最大4枚（オリジナル＋3枚）です。
複写紙は、用紙連量26～34kg（30～40g/m^2）裏カーボン紙、または感圧紙とします。また、全体の用紙厚さは0.24mmを超えないようにしてください。

注

- 用紙の縦横比は、1：2／3～2とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 複写紙はカットシートフィーダでは使用できません。
- 用紙の平滑度は100秒（JIS P 8119）以下とします。

◆複写紙の重ね合わせの固定方法

- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅1mmの線のり付けとします。（天のり）
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわやばりがあってはなりません。



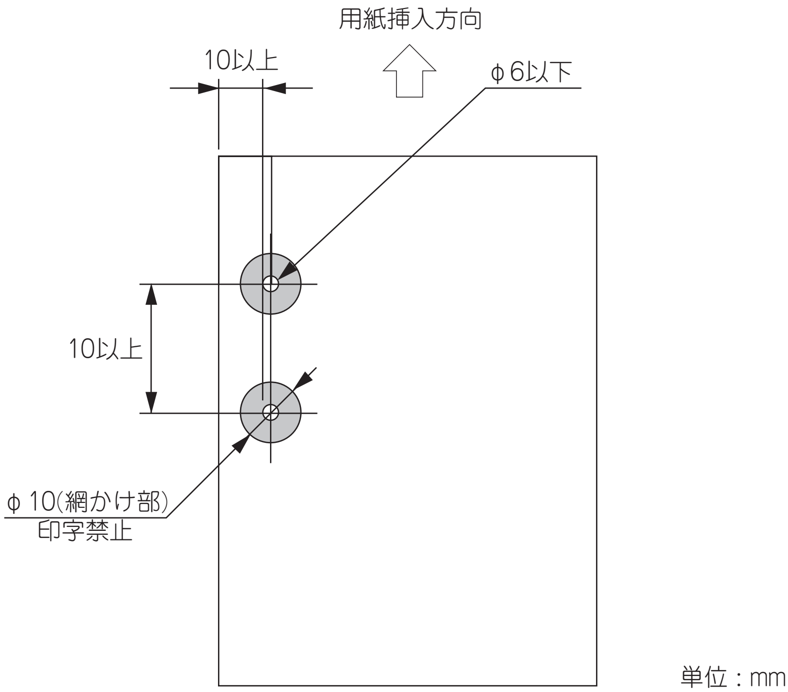
注
- すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
- のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
- カールを防ぐため、保管方法に注意してください。
カールは2mm以下とします。
- のり付け幅は基本的に1mmとしてください。
- とじ孔は印字領域内には開けないでください。

◆とじ孔

注✓ とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

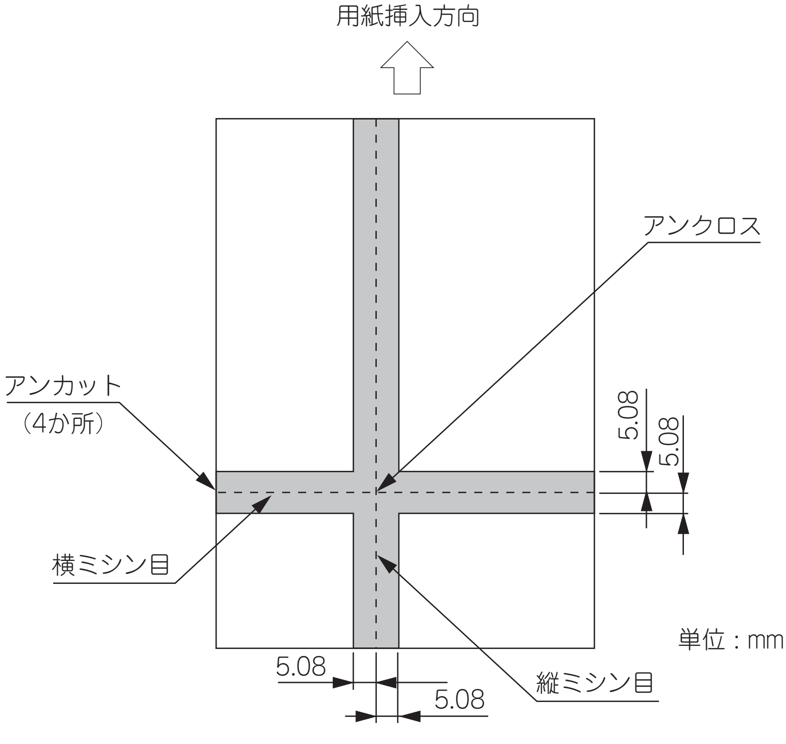


◆ミシン目

注 ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

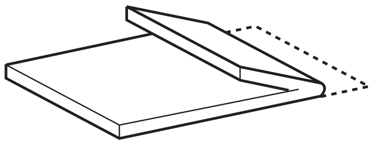
やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲5.08mm以内は印字しないでください。

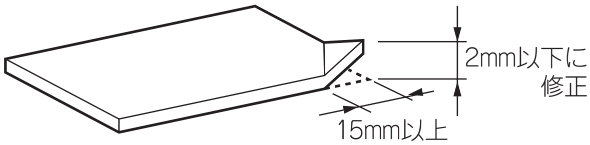


◆折れ

- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては2mm以下に修正してください。
  ただし、カットシートフィーダの場合は修正しても使用不可です。



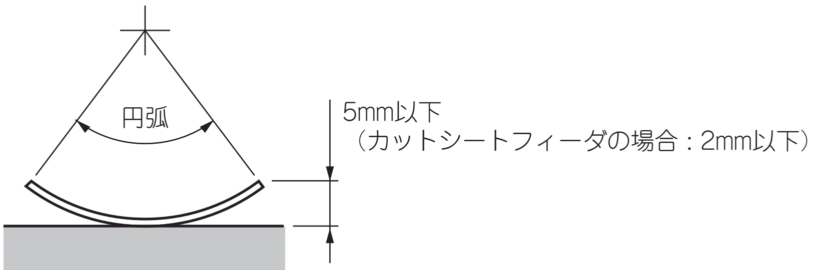
全幅に渡って折れたものは使用不可



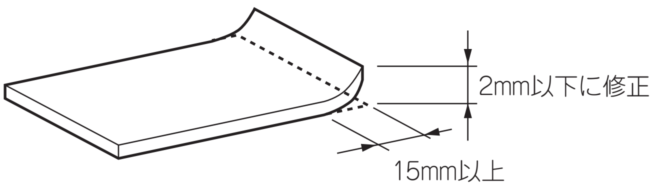
隅の折れ

◆カール, 曲がり

- 全面的なカールは5mm以下（メニュー設定でTOF位置または、オートロード位置を2.12mm(1/12")に設定する場合、紙づまりが発生するため2mm以下），カットシートフィーダの場合は2mm以下なら使用可です。（はがきの場合も2mm以下です）
- 用紙端から15mm以内で2mm以上の曲がりは使用不可です。



全面的なカール

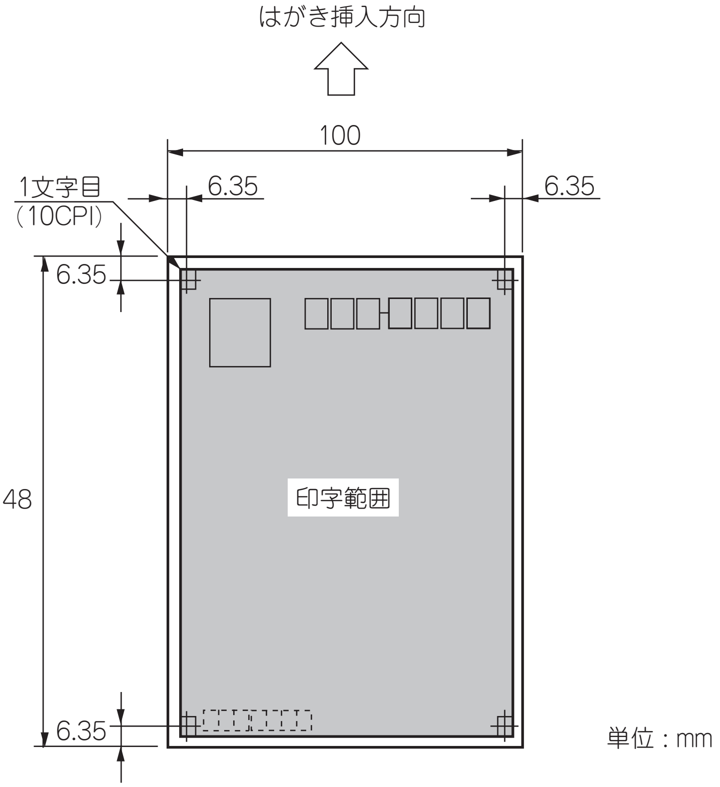


曲がり

●はがき

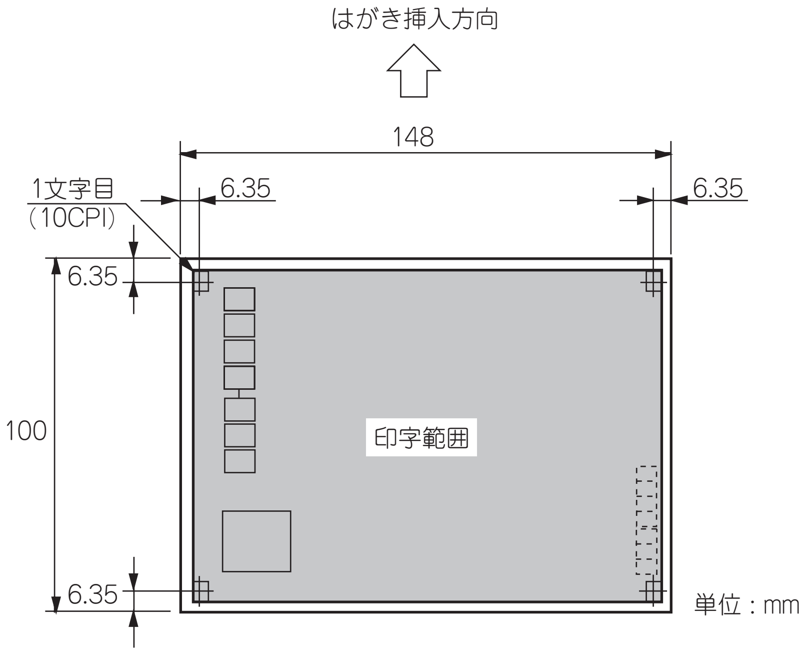
◆用紙サイズおよび印字範囲

○通常はがき縦挿入

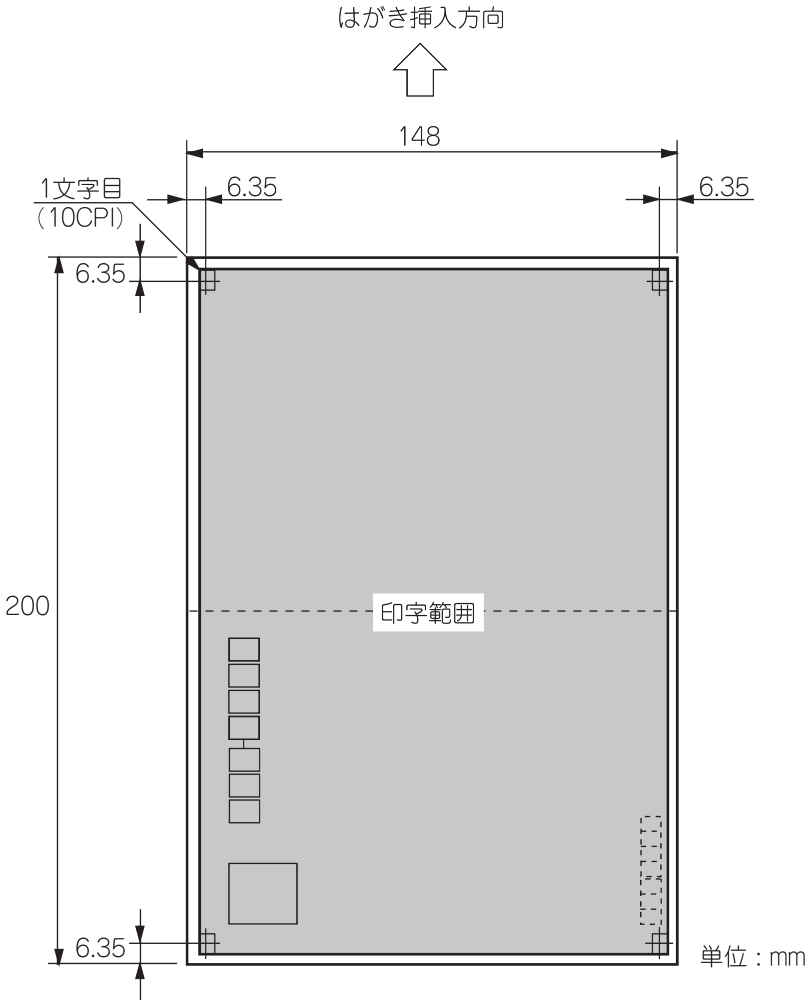


付録

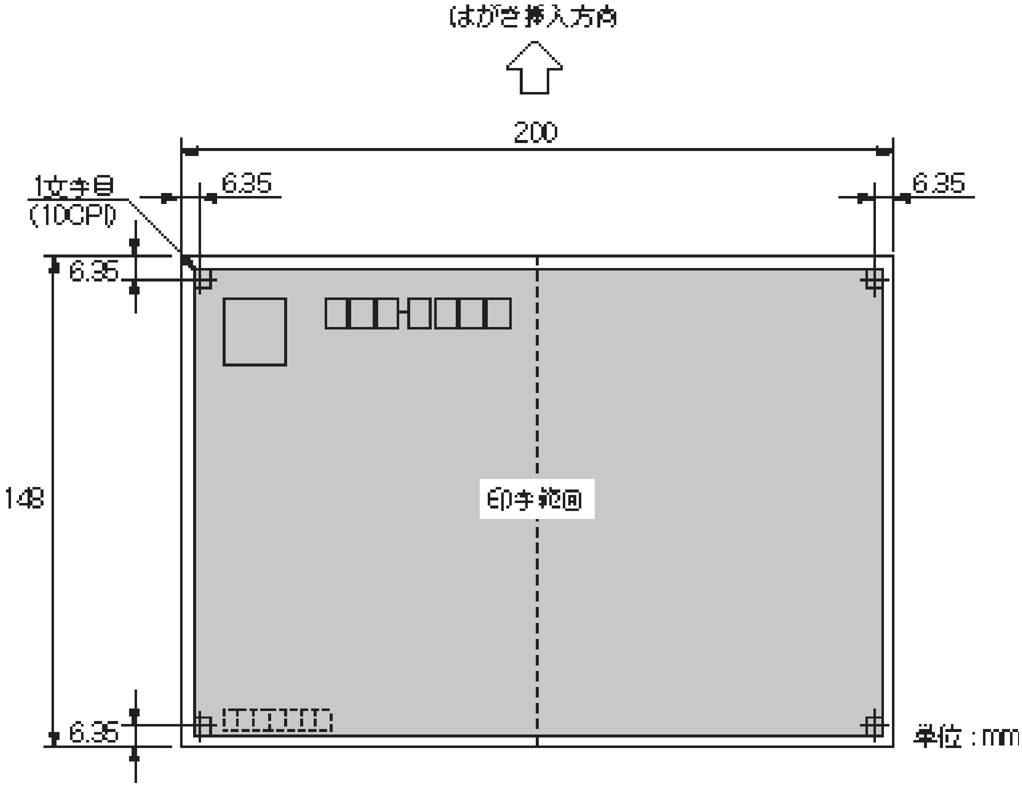
○通常はがき横挿入



○往復はがき縦挿入



○往復はがき横挿入



◆使用はがき

郵便はがき
　坪量　190g/m²(連量163kg相当)
　厚さ　0.23mm

注
- 折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
- はがきの反りは2mm以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。



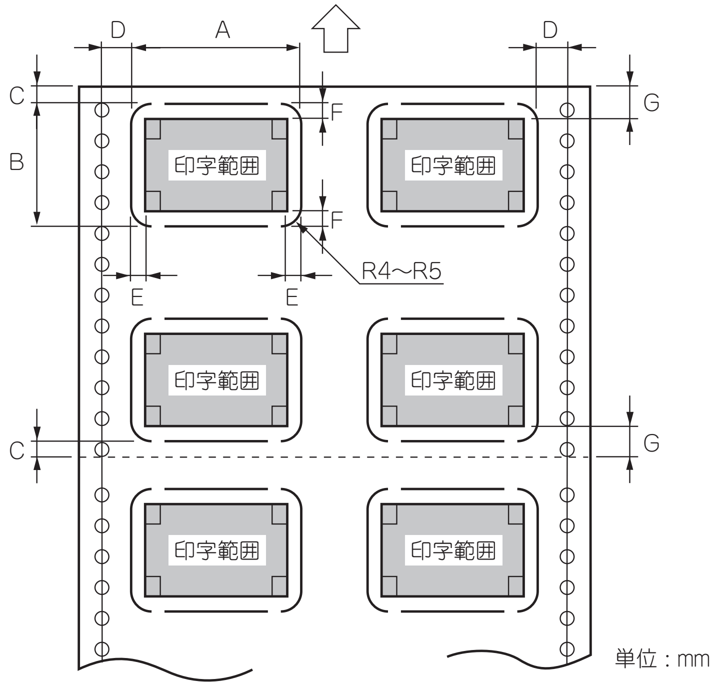
- 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
- 郵便番号枠などの印刷は除きます。
  プレプリントの印刷禁止領域は単票用紙に準じます。

●ラベル紙

注 ラベル紙を使用する場合は、ボトムトラクタの使用を奨励します。
ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。
リアトラクタを使用すると、ラベルが台紙より剥がれる場合があります。その際は、ボトムトラクタを使用するか、粘着力の強いラベル紙を使用してください。
ラベル紙によっては、逆改行時に、ラベルが台紙より剥がれる場合があります。逆改行は行わないでください。

◆用紙サイズおよび印字範囲

「連続紙」（246ページ）の規格に準じますが、下記にラベル紙固有の条件を示します。



記号	名称	規格値
A	ラベル幅	50mm以上
B	ラベル長さ	25mm以上
C	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上　12.7mm(1/2インチ)以上を推奨
D	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上
E	印字禁止範囲	3.81mm以上
F	印字禁止範囲	4mm以上
G	印字禁止範囲	10.58mm(5/12インチ)以上 印字精度保証は25.4mm(1インチ)以上

◆用紙連量

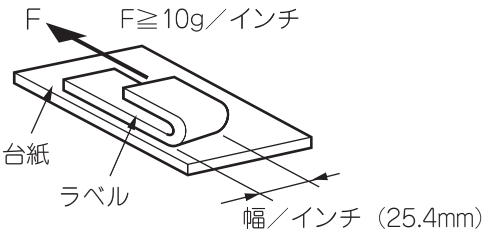
ラベルは上質紙で連量55kg、厚さ0.1mm以下。台紙ははくり紙で厚さ0.06〜0.08mm以下です。

◆最大用紙厚さ

0.2mm

◆粘着剤

- はくり強度10g/インチ以上。
- 直径27mmの円筒に巻き付けたとき､ラベルが台紙からはがれないこと。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。



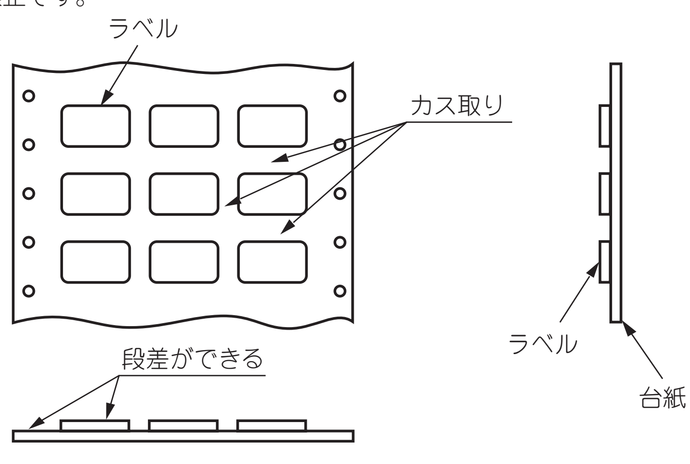
◆カット

- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端1〜2mmにはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に0.5〜1mm程度のアンカット部を設けてください。

付録

◆ラベルのカス取りについて

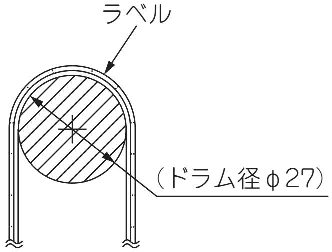
ラベルのカス取りは行わないでください。
〔ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと〕
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。



注

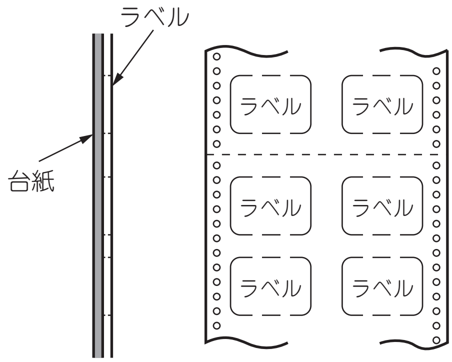
- ラベル紙と台紙の厚さは、合計0.2mm以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも0.1mm以下とします。
- 直径27mmの円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。
  ラベルの貼付強度
  次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

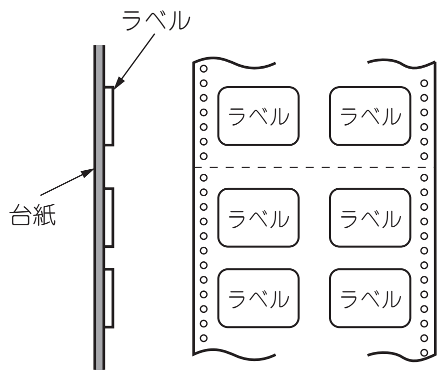


- かすとり（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

かすとりをしていないラベル紙

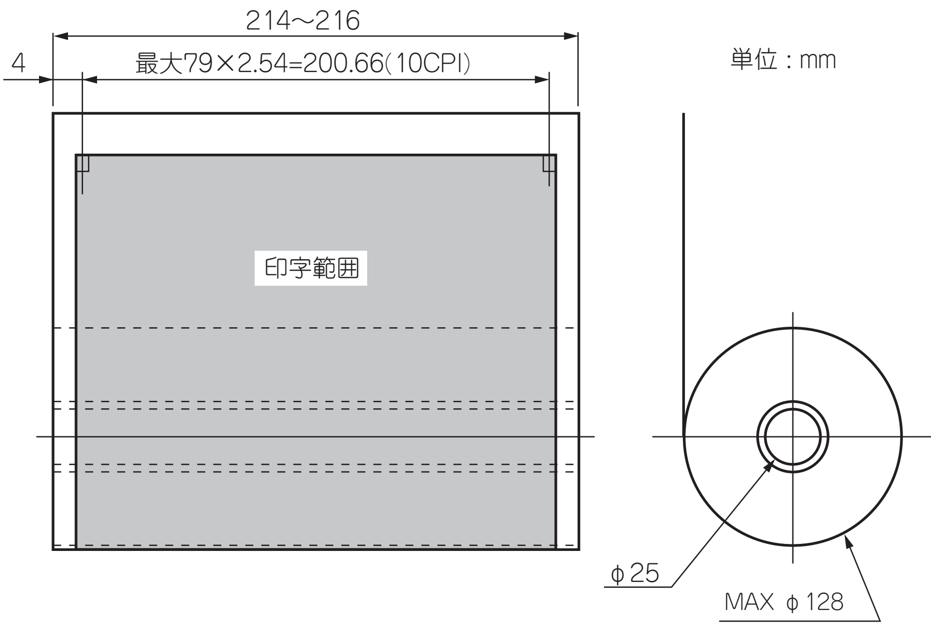


かすとりをしているラベル紙（使用しないでください）



●ロール紙

注 MICROLINE 50HUにオプションのロールペーパスタンドが必要です。（MICROLINE 50HU単体およびMICROLINE 80HUでは使用できません。）



◆仕様

（1）ロール紙外形寸法　　　MAX φ128mm
（2）巻き芯内径　φ25mm
（3）単紙は45kg〜55kg（52〜64g/m^2）
（4）複写紙は34kg以下の感圧紙で最大オリジナル＋1枚まで使用可能
　　複写紙は圧跡がつく場合があります。
（5）紙質は上質紙を基本とする。

●再生紙

再生紙は製造メーカや紙質により特性が異なりますので、ご使用に際しては以下の注意事項をご確認の上ご使用ください。

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。
- 再生紙は用紙の引張強度や剛性が弱いため、用紙ジャム率、用紙スキュー、重送率等が増加します。
- 再生紙は紙厚が厚くなる傾向がありますので、ホッパやカットシートフィーダへのセット枚数が減少します。

●印字規格

◆用紙の頭出し位置

自動給紙した時の用紙上端から1行目中心までの位置精度。単位：mm

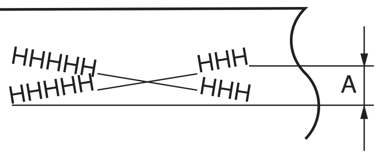


- 印字行の傾きは除く
- 用紙セットが正確であること

用　紙		A
連続紙	単紙（連量55Kg）	±1
	その他の用紙	±2
単票	単紙（連量55Kg）	±1
	その他の用紙	±2

◆印字行の傾き

単位：mm



用　紙	文字数	A
連続紙	136	1.0以下
単票	60	1.5以下
郵便はがき	36	1.5以下

◆改行精度

単位：mm

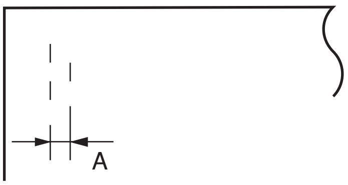


Bは40行間
（複写紙の場合、用紙先端より50mmは除く）

用　紙		A=4.23	B=165.1
連続紙	単紙	±0.5	±1.0
	複写紙	±0.8	―――
単票	単紙	±0.5	±2.0
郵便はがき		±0.5	―――

◆縦罫線のずれ

単位：mm



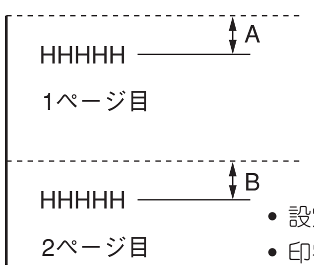
印刷方向	A
片方向	0.15以下
両方向	0.3以下

◆連続複写紙の層間ずれ

5枚複写紙の1枚目と5枚目の印字ずれは4mm以下
（ダブル紙ホッチキスの場合）

◆改頁精度

1ページ目基準として2ページ目以降の印字位置ずれ量は±3mm。



- 設定したページ長と用紙のページ長が一致していること
- 印字行の傾きは除く

Windowsプリンタドライバの印字範囲

Windowsプリンタドライバでは次に示す用紙サイズおよび印字範囲をサポートしています。

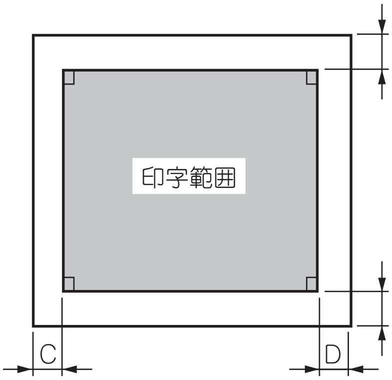
◆MICROLINE 50HU

単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
A4	210.00	297.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A5	148.00	210.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A5 横	210.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6	105.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6 横	148.00	105.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B4	257.00	364.00	4.37	4.94	4.94	48.90
B5	182.00	257.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B5 横	257.00	182.00	4.37	4.94	4.94	48.90
Letter	215.90	279.40	4.37	4.94	4.94	7.76
Legal	215.90	355.60	4.37	4.94	4.94	7.76
はがき	100.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき 横	148.00	100.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき	148.00	200.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき 横	200.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
10×11 ｲﾝﾁ	254.00	279.40	4.37	0.00	17.78	33.02
10×1 5/6 ｲﾝﾁ	254.00	46.57	4.37	0.00	17.78	33.02
10×2 1/5 ｲﾝﾁ	254.00	55.88	4.37	0.00	17.78	33.02
10×2 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	63.50	4.37	0.00	17.78	33.02
10×2 3/4 ｲﾝﾁ	254.00	69.85	4.37	0.00	17.78	33.02
10×3 ｲﾝﾁ	254.00	76.20	4.37	0.00	17.78	33.02
10×3 1/4 ｲﾝﾁ	254.00	82.55	4.37	0.00	17.78	33.02
10×3 1/3 ｲﾝﾁ	254.00	84.67	4.37	0.00	17.78	33.02
10×3 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	88.90	4.37	0.00	17.78	33.02
10×3 2/3 ｲﾝﾁ	254.00	93.13	4.37	0.00	17.78	33.02
10×4 ｲﾝﾁ	254.00	101.60	4.37	0.00	17.78	33.02
10×4 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	114.30	4.37	0.00	17.78	33.02
10×4 2/3 ｲﾝﾁ	254.00	118.53	4.37	0.00	17.78	33.02
10×5 ｲﾝﾁ	254.00	127.00	4.37	0.00	17.78	33.02
10×5 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	139.70	4.37	0.00	17.78	33.02
10×5 2/3 ｲﾝﾁ	254.00	143.93	4.37	0.00	17.78	33.02
10×6 ｲﾝﾁ	254.00	152.40	4.37	0.00	17.78	33.02
10×6 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	165.10	4.37	0.00	17.78	33.02
10×6 2/3 ｲﾝﾁ	254.00	169.33	4.37	0.00	17.78	33.02
10×7 ｲﾝﾁ	254.00	177.80	4.37	0.00	17.78	33.02
10×7 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	190.50	4.37	0.00	17.78	33.02
10×8 ｲﾝﾁ	254.00	203.20	4.37	0.00	17.78	33.02
10×8 1/4 ｲﾝﾁ	254.00	209.55	4.37	0.00	17.78	33.02
10×8 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	215.90	4.37	0.00	17.78	33.02
10×9 ｲﾝﾁ	254.00	228.60	4.37	0.00	17.78	33.02
10×10 ｲﾝﾁ	254.00	254.00	4.37	0.00	17.78	33.02
10×10 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	266.70	4.37	0.00	17.78	33.02
10×11 1/2 ｲﾝﾁ	254.00	292.10	4.37	0.00	17.78	33.02
10×11 2/3 ｲﾝﾁ	254.00	296.33	4.37	0.00	17.78	33.02
10×12 ｲﾝﾁ	254.00	304.80	4.37	0.00	17.78	33.02
10×13 ｲﾝﾁ	254.00	330.20	4.37	0.00	17.78	33.02
10×14 ｲﾝﾁ	254.00	355.60	4.37	0.00	17.78	33.02
ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ＊1	99.10	25.40	4.37	4.94	4.94	4.94

注

- ＊1の用紙はWindowsVista/Server2003/XP/2000/NT4.0にはありません。サーバのプロパティで作成してください。
- ユーザー定義サイズの寸法はデフォルト値です。用紙長25.40～365.80mm，用紙幅99.10～259.10mmの間で設定可能です。
- ユーザー定義サイズとサーバのプロパティでは、用紙サイズを自由に指定できますが、「用紙規格および印字範囲」（243ページ）の範囲内で使用してください。
- 用紙長検出のバラツキにより、ボトムマージンに誤差を生じる場合があります。各アプリケーションソフトウェアにおけるボトムマージン値の設定においては、9mm以上を推奨します。



◆MICROLINE 80HU

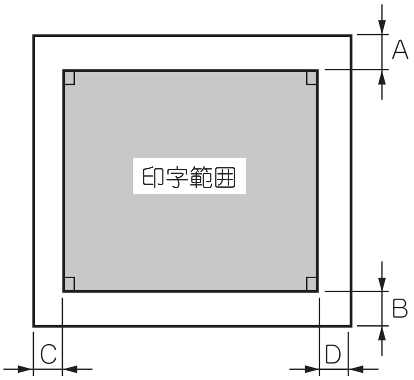
単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
A4	210.00	297.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A4 横	297.00	210.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A3	297.00	420.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A5	148.00	210.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A5 横	210.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6	105.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6 横	148.00	105.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B4	257.00	364.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B4 横	364.00	257.00	4.37	4.94	4.94	13.62
B5	182.00	257.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B5 横	257.00	182.00	4.37	4.94	4.94	4.94
Letter	215.90	279.40	4.37	4.94	4.94	4.94
Legal	215.90	355.60	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき	100.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき 横	148.00	100.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき	200.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき 横	148.00	200.00	4.37	4.94	4.94	4.94
10×11 ｲﾝﾁ	254.00	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
12×11 ｲﾝﾁ	304.80	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
15×11 ｲﾝﾁ	381.00	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
15×1 5/6 ｲﾝﾁ	381.00	46.57	4.37	0.00	17.78	17.78
15×2 1/5 ｲﾝﾁ	381.00	55.88	4.37	0.00	17.78	17.78
15×2 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	63.50	4.37	0.00	17.78	17.78
15×2 3/4 ｲﾝﾁ	381.00	69.85	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 ｲﾝﾁ	381.00	76.20	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 1/4 ｲﾝﾁ	381.00	82.55	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 1/3 ｲﾝﾁ	381.00	84.67	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	88.90	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 2/3 ｲﾝﾁ	381.00	93.13	4.37	0.00	17.78	17.78
15×4 ｲﾝﾁ	381.00	101.60	4.37	0.00	17.78	17.78
15×4 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	114.30	4.37	0.00	17.78	17.78
15×4 2/3 ｲﾝﾁ	381.00	118.53	4.37	0.00	17.78	17.78
15×5 ｲﾝﾁ	381.00	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
15×5 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	139.70	4.37	0.00	17.78	17.78
15×5 2/3 ｲﾝﾁ	381.00	143.93	4.37	0.00	17.78	17.78
15×6 ｲﾝﾁ	381.00	152.40	4.37	0.00	17.78	17.78
15×6 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	165.10	4.37	0.00	17.78	17.78
15×6 2/3 ｲﾝﾁ	381.00	169.33	4.37	0.00	17.78	17.78
15×7 ｲﾝﾁ	381.00	177.80	4.37	0.00	17.78	17.78
15×7 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	190.50	4.37	0.00	17.78	17.78
15×8 ｲﾝﾁ	381.00	203.20	4.37	0.00	17.78	17.78
15×8 1/4 ｲﾝﾁ	381.00	209.55	4.37	0.00	17.78	17.78
15×8 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	215.90	4.37	0.00	17.78	17.78
15×9 ｲﾝﾁ	381.00	228.60	4.37	0.00	17.78	17.78
15×10 ｲﾝﾁ	381.00	254.00	4.37	0.00	17.78	17.78
15×10 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	266.70	4.37	0.00	17.78	17.78
15×11 1/2 ｲﾝﾁ	381.00	292.10	4.37	0.00	17.78	17.78
15×11 2/3 ｲﾝﾁ	381.00	296.33	4.37	0.00	17.78	17.78
15×12 ｲﾝﾁ	381.00	304.80	4.37	0.00	17.78	17.78
15×13 ｲﾝﾁ	381.00	330.20	4.37	0.00	17.78	17.78
15×14 ｲﾝﾁ	381.00	355.60	4.37	0.00	17.78	17.78
ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ＊1	99.10	25.40	4.37	4.94	4.94	4.94

付録

注

- ＊1の用紙はWindowsVista/Server2003/XP/2000/NT4.0にはありません。サーバのプロパティで作成してください。
- ユーザー定義サイズの寸法はデフォルト値です。用紙長25.40～421.60mm，用紙幅99.10～421.60mmの間で設定可能です。
- ユーザー定義サイズとサーバのプロパティでは、用紙サイズを自由に指定できますが、「用紙規格および印字範囲」（243ページ）の範囲内で使用してください。
- 用紙長検出のバラツキにより、ボトムマージンに誤差を生じる場合があります。各アプリケーションソフトウェアにおけるボトムマージン値の設定においては、9mm以上を推奨します。



文字コード表、コントロールコマンド一覧表について

ANK文字コード表、漢字コード表、コントロールコマンド一覧表、拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

消耗品およびオプション品の紹介

これらの消耗品およびオプション品は、販売店にて、型名を指定の上お求めください。

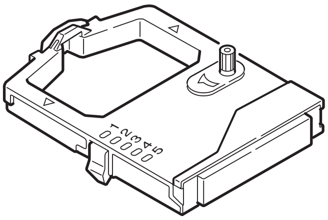
●消耗品

◆リボンカートリッジ

注 リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

リボンカートリッジの寿命は、約400万字（高速度ANK）です。ただし、包装を解いたり、長時間放置していると短くなります。また、印字が薄くなったり、ほつれたりした場合は、早めに交換してください。リボンカートリッジは製造年月1年以内に使用してください。

型名 : RN6-00-008（6個組）

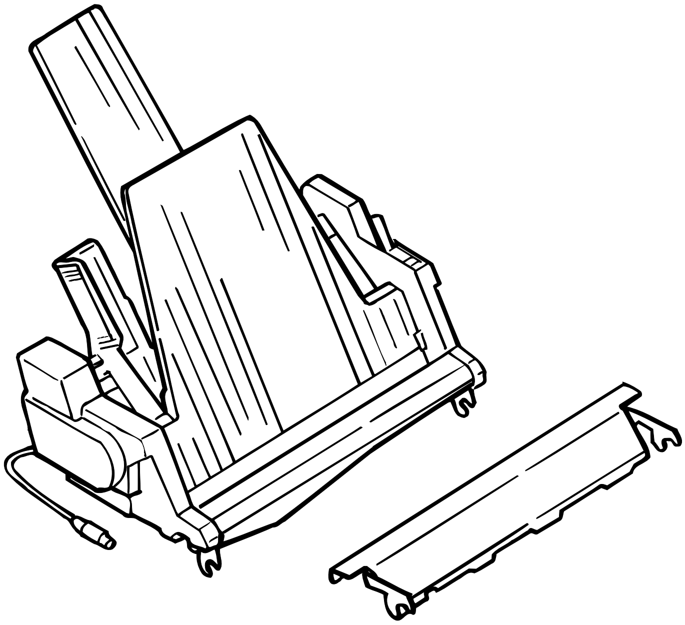


●オプション品

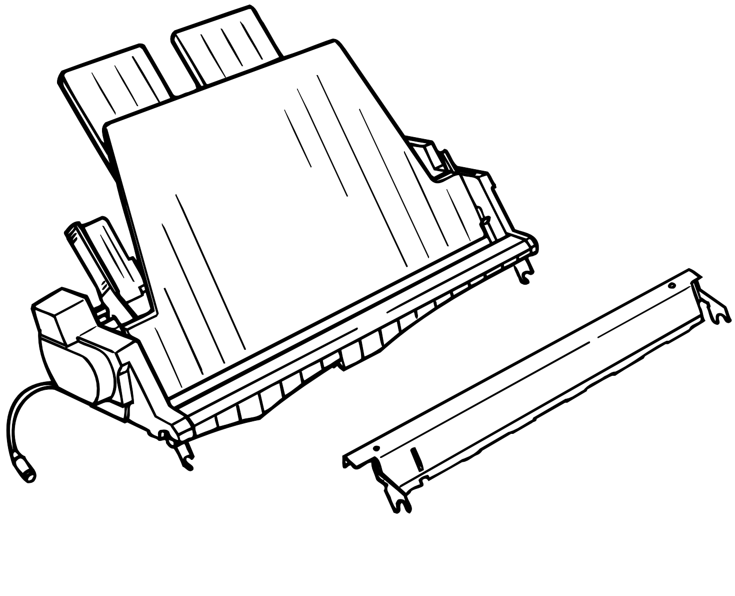
◆カットシートフィーダ（CSF）

単票, はがきを自動給紙します。

型名 : ML5340HCSF（MICROLINE 50HU）



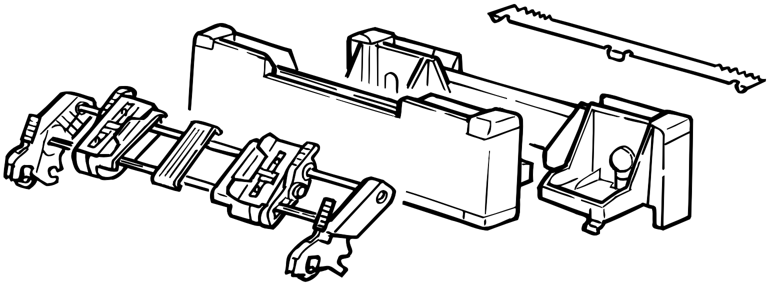
型名 : ML8340HCSF（MICROLINE 80HU）



◆ボトムトラクタ

連続紙をプリンタの下から給紙します。

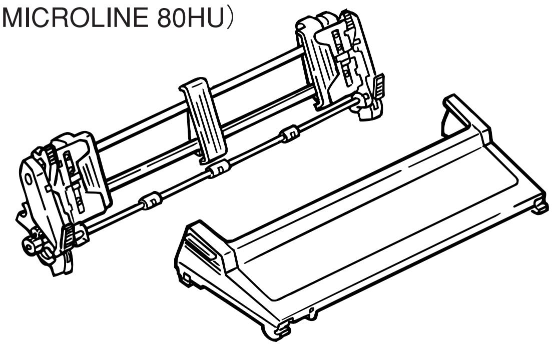
型名 : ML5340HBT（MICROLINE 50HU）
ML8340HBT（MICROLINE 80HU）



◆プルトラクタ

連続紙をプリンタの下方から引張方式で給紙します。

型名 : ML5340HPT（MICROLINE 50HU）
ML8340HPT（MICROLINE 80HU）

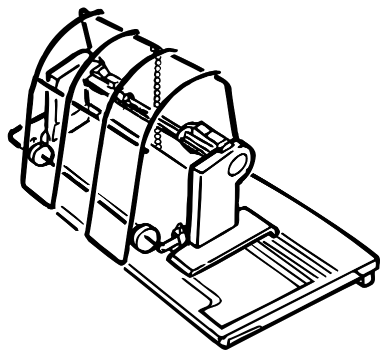


◆ロールペーパスタンド

ロール紙が使用できます。

注 MICROLINE 50HUのみ取り付け可能です。

型名 : ML5340HRPS（MICROLINE 50HU）

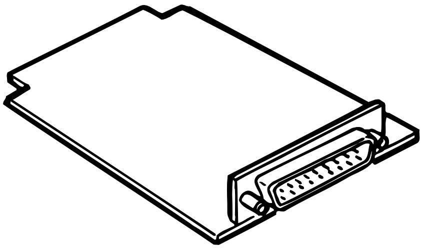


◆RS232Cボード

シリアルインタフェースに対応します。

注 パラレルインタフェースおよびUSBインタフェースと同時接続はできません。

型名：MLRS232C



ユーザサポートサービスについて

●保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

●最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

●プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど､プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。
なお、内容確認のため、録音させていただいております。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは03-5846-5921）

受付時間　9 : 00 ～20 : 00月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00土曜日
(但し　祝日、年末年始等を除く)

※　月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※　上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

(個人情報の取り扱いについて)

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a)当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号などの保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b)お客様情報を統計的に集計･分析し､個人を識別､特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c)予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供、アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d)裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿購入日: ＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　あり（　　　　　　　　　　　）

コンピュータ環境

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ MacOS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐ パラレル　☐ USB　☐ RS232C　☐ ネットワーク

☐ TCP/IP　☐ IPX/SPX　☐ Ethertalk　☐ NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーション

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷　：☐ 正常 ☐ 印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐ 正常 ☐ 印刷できない

●消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

●プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

●使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　:
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：＿＿＿＿＿＿＿＿
ご担当者名　　　　：＿＿＿＿＿＿＿＿
ご住所　　　　　　：＿＿＿＿＿＿＿＿
お電話番号　　　　：＿＿＿＿＿＿＿＿
回収ご希望日　　　：　　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　個□

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

索　引

索　引

【し】

【す】

【せ】

【た】

【つ】

【て】

【は】

【ふ】

【ほ】

【め】

【も】

【や】

【よ】

【ら】

【り】

【れ】

【ろ】

MICROLINE 80HU/50HU

ユーザーズマニュアル

発行日　2009年 5月　第10版

発行者　株式会社 沖データ

42360801EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）